

奈良市
市民意識調査結果報告書

令和6年3月

奈良市

目 次

第1章 調査実施の概要	1
1 調査の目的	1
2 調査について	1
3 回収状況	1
4 報告書の見方について	2
5 回答者の属性	3
第2章 調査実施の概要	13
1 奈良市での生活について	13
2 日ごろの生活について	25
3 市政について	39
4 奈良市への愛着や誇りについて	54
5 持続可能な社会について	58
6 地域と社会教育・大学について	65
7 地域の多様性と寛容性について	68
第3章 自由記述のまとめ	71
1 集計結果	71
第4章 資料編	73

第1章 調査実施の概要

1 調査の目的

市民の皆様にご自身の生活で感じていることや市政についてのご意見などをお尋ねし、これからの市政のあり方を考えていくにあたっての基礎資料とするため、奈良市民意識調査を実施しました。

2 調査について

- (1) 調査地域 奈良市全域
- (2) 調査対象 奈良市内在住の18歳以上の男女各1,500人 計3,000人
- (3) 標本数 3,000人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から層化無作為抽出
- (5) 調査方法 配布：郵送、回収：郵送及びインターネット回答
- (6) 調査期間 令和5年11月15日（水）～12月15日（金）
（ただし期間後に到着した調査票も12月22日到着分まで集計対象とした）

3 回収状況

	有効回答数（人）	有効回収率（％）
合計	1,271	42.4
郵送	947	31.6
インターネット	324	10.8

4 報告書の見方について

- (1) グラフの「n」は質問に対する回答者数を表しています。
- (2) 調査結果の数値については小数点第2位を四捨五入しているため、内訳を合計しても 100% にならない場合があります。
- (3) 表において、回答の割合が最も高い項目については背景を青地（例：40.0）、次いで2番目に高い項目については背景を緑（例：30.0）、3番目に高い項目について背景を黄色（例：20.0）で表示しています。
- (4) 地図グラフでは、居住区（中学校区）別で見た回答者数・割合を表示しています。
※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。
- (5) 単純無作為抽出を用いた場合の標本誤差（サンプル誤差）は、信頼度を 95%としたとき、次の式によって得られ、標本誤差の幅は、比率算出の基数(n)、及び回答比率（P）によって異なります。

<標本誤差の計算式>

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P \times (1-P)}{n}}$$

N = 母集団数

n = 回答件数(比率算出の基数)

P = 回答比率

<標本誤差早見表>

回答比率（P） 基数（n）	10%または 90%前後	20%または 80%前後	30%または 70%前後	40%または 60%前後	50%前後
1,271 人	±1.65	±2.19	±2.51	±2.69	±2.74
1,000 人	±1.86	±2.48	±2.84	±3.03	±3.09
500 人	±2.63	±3.50	±4.01	±4.29	±4.38
100 人	±5.88	±7.84	±8.98	±9.60	±9.80

※母集団は奈良市全体の満 18 歳以上人口 302,817 人である（令和 5 年 10 月 1 日）

<標本誤差の見方>

例えば、「ある設問の回答者数が 1,271 であり、その設問中の回答比率が 60%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は最高でも 2.69 以内（57.31%～62.69%）である」とみることができる。

ただし、信頼度が 95%であるので、そのように判断することは 95%の確率で正しいことになる。

5 回答者の属性

(1) 性別・年齢別

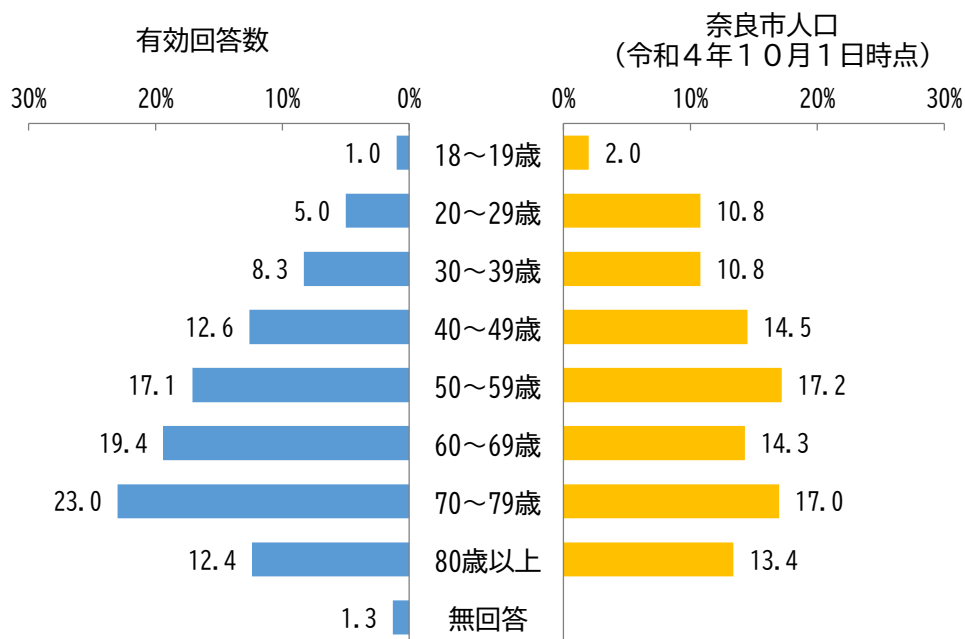
①性別・年齢別

	合計	男性	女性	その他・答えたくない・無回答
合計	1,271 (100.0 %)	540 (100.0 %)	682 (100.0 %)	49 (100.0 %)
18～19歳	13 (1.0 %)	6 (1.1 %)	6 (0.9 %)	1 (2.0 %)
20～29歳	63 (5.0 %)	25 (4.6 %)	35 (5.1 %)	3 (6.1 %)
30～39歳	106 (8.3 %)	43 (8.0 %)	61 (8.9 %)	2 (4.1 %)
40～49歳	160 (12.6 %)	63 (11.7 %)	95 (13.9 %)	2 (4.1 %)
50～59歳	217 (17.1 %)	91 (16.9 %)	119 (17.4 %)	7 (14.3 %)
60～69歳	246 (19.4 %)	107 (19.8 %)	137 (20.1 %)	2 (4.1 %)
70～79歳	292 (23.0 %)	135 (25.0 %)	146 (21.4 %)	11 (22.4 %)
80歳以上	158 (12.4 %)	69 (12.8 %)	83 (12.2 %)	6 (12.2 %)
無回答	16 (1.3 %)	1 (0.2 %)	- (- %)	15 (30.6 %)

②回答方法別構成割合

	合計	郵送	インターネット
全体	1,271	947 (74.5 %)	324 (25.5 %)
18～19歳	13	6 (46.2 %)	7 (53.8 %)
20～29歳	63	33 (52.4 %)	30 (47.6 %)
30～39歳	106	51 (48.1 %)	55 (51.9 %)
40～49歳	160	87 (54.4 %)	73 (45.6 %)
50～59歳	217	138 (63.6 %)	79 (36.4 %)
60～69歳	246	190 (77.2 %)	56 (22.8 %)
70～79歳	292	272 (93.2 %)	20 (6.8 %)
80歳以上	158	154 (97.5 %)	4 (2.5 %)
無回答	16	16 (100.0 %)	0 (- %)
男性	540	367 (68.0 %)	173 (32.0 %)
18～19歳	6	1 (16.7 %)	5 (83.3 %)
20～29歳	25	13 (52.0 %)	12 (48.0 %)
30～39歳	43	22 (51.2 %)	21 (48.8 %)
40～49歳	63	30 (47.6 %)	33 (52.4 %)
50～59歳	91	43 (47.3 %)	48 (52.7 %)
60～69歳	107	70 (65.4 %)	37 (34.6 %)
70～79歳	135	119 (88.1 %)	16 (11.9 %)
80歳以上	69	68 (98.6 %)	1 (1.4 %)
無回答	1	1 (100.0 %)	0 (- %)
女性	682	536 (78.6 %)	146 (21.4 %)
18～19歳	6	5 (83.3 %)	1 (16.7 %)
20～29歳	35	18 (51.4 %)	17 (48.6 %)
30～39歳	61	29 (47.5 %)	32 (52.5 %)
40～49歳	95	55 (57.9 %)	40 (42.1 %)
50～59歳	119	88 (73.9 %)	31 (26.1 %)
60～69歳	137	119 (86.9 %)	18 (13.1 %)
70～79歳	146	142 (97.3 %)	4 (2.7 %)
80歳以上	83	80 (96.4 %)	3 (3.6 %)
無回答	-	0 (- %)	0 (- %)
その他・答えたくない・無回答	49	44 (89.8 %)	5 (10.2 %)
18～19歳	1	0 (- %)	1 (100.0 %)
20～29歳	3	2 (66.7 %)	1 (33.3 %)
30～39歳	2	0 (- %)	2 (100.0 %)
40～49歳	2	2 (100.0 %)	0 (- %)
50～59歳	7	7 (100.0 %)	0 (- %)
60～69歳	2	1 (50.0 %)	1 (50.0 %)
70～79歳	11	11 (100.0 %)	0 (- %)
80歳以上	6	6 (100.0 %)	0 (- %)
無回答	15	15 (100.0 %)	0 (- %)

③有効回答数と奈良市人口の構成割合の比較



(2) ライフステージ

クロス集計にあたり、子どもの有無（F5）、子供の状況（F5-1）を組み合わせ、回答者を5のライフステージに分類した。

属性		回答数（人）	割合（%）
全体		1,271	100.0
1	子どもなし	302	23.8
子どもあり 計		938	73.8
2	末子が小学校入学前または小学生	149	11.7
3	末子が中学生または高校生	68	5.4
4	末子が専門学生または大学生	63	5.0
5	末子が学校教育終了またはその他	658	51.8
その他・不詳		31	2.4

(3) 家族構成 (F3)

上段：割合 (%) 下段：人数 (人)	全体	ひとり暮らし	配偶者・パートナーのみ	親と子 (2世代)	祖父母と親と子 (3世代)	その他	無回答
合計	100.0% (1271)	12.6% (160)	33.5% (426)	45.1% (573)	4.8% (61)	2.3% (29)	1.7% (22)
男性	100.0% (540)	10.6% (57)	39.8% (215)	42.2% (228)	4.6% (25)	2.4% (13)	0.4% (2)
女性	100.0% (682)	13.9% (95)	29.5% (201)	48.2% (329)	5.3% (36)	2.2% (15)	0.9% (6)
その他	100.0% (1)	100.0% (1)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
答えたくない	100.0% (17)	23.5% (4)	11.8% (2)	58.8% (10)	- (-)	5.9% (1)	- (-)
無回答	100.0% (31)	9.7% (3)	25.8% (8)	19.4% (6)	- (-)	- (-)	45.2% (14)

(4) 配偶者の有無 (F4)

上段：割合 (%) 下段：人数 (人)	全体	パ(既 ト配婚 ナ偶者 ー有)	既婚 (離死別)	未婚	無回答
合計	100.0% (1271)	69.8% (887)	12.6% (160)	15.9% (202)	1.7% (22)
男性	100.0% (540)	76.7% (414)	6.7% (36)	16.5% (89)	0.2% (1)
女性	100.0% (682)	66.0% (450)	17.9% (122)	15.1% (103)	1.0% (7)
その他	100.0% (1)	- (-)	- (-)	100.0% (1)	- (-)
答えたくない	100.0% (17)	47.1% (8)	5.9% (1)	47.1% (8)	- (-)
無回答	100.0% (31)	48.4% (15)	3.2% (1)	3.2% (1)	45.2% (14)

(5) 子どもの有無 (F5)

上段：割合 (%) 下段：人数 (人)	全 体	い る	い な い	無 回 答
合計	100.0% (1271)	74.9% (952)	23.8% (302)	1.3% (17)
男性	100.0% (540)	75.0% (405)	24.8% (134)	0.2% (1)
女性	100.0% (682)	76.8% (524)	22.9% (156)	0.3% (2)
その他	100.0% (1)	- (-)	100.0% (1)	- (-)
答えたくない	100.0% (17)	47.1% (8)	52.9% (9)	- (-)
無回答	100.0% (31)	48.4% (15)	6.5% (2)	45.2% (14)

(6) 子どもの状況 (F5-1) ※F5で「いる」と回答した場合のみ

上段：割合 (%) 下段：人数 (人)	全 体	小 学 校 入 学 前	小 学 校 在 学 中	中 学 校 在 学 中	高 校 在 学 中	専 門 各 種 学 校 在 学 中	大 学 短 大 ・ 大 学 中	同 子 学 校 居 ど も が 未 婚 了 ・ ・
合計	100.0% (952)	9.0% (86)	9.2% (88)	6.0% (57)	6.0% (57)	0.7% (7)	9.9% (94)	20.7% (197)
男性	100.0% (405)	8.1% (33)	8.4% (34)	4.7% (19)	7.4% (30)	1.0% (4)	11.1% (45)	21.7% (88)
女性	100.0% (524)	9.7% (51)	9.9% (52)	6.7% (35)	4.8% (25)	0.6% (3)	9.0% (47)	19.7% (103)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
答えたくない	100.0% (8)	12.5% (1)	12.5% (1)	25.0% (2)	12.5% (1)	- (-)	12.5% (1)	37.5% (3)
無回答	100.0% (15)	6.7% (1)	6.7% (1)	6.7% (1)	6.7% (1)	- (-)	6.7% (1)	20.0% (3)

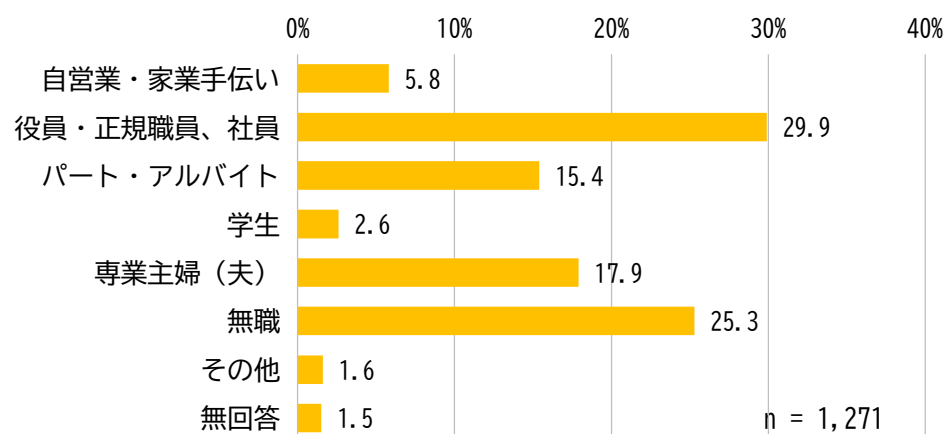
上段：割合 (%) 下段：人数 (人)	別 子 学 居 ど も が 育 未 婚 了 ・ ・	同 子 学 居 ど も が 育 既 婚 了 ・ ・	別 子 学 居 ど も が 育 既 婚 了 ・ ・	そ の 他	無 回 答
合計	16.5% (157)	6.6% (63)	47.4% (451)	2.1% (20)	1.5% (14)
男性	19.0% (77)	5.4% (22)	47.4% (192)	1.5% (6)	1.0% (4)
女性	15.3% (80)	7.6% (40)	47.7% (250)	2.7% (14)	1.3% (7)
その他	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)	- (-)
答えたくない	- (-)	- (-)	37.5% (3)	- (-)	- (-)
無回答	- (-)	6.7% (1)	40.0% (6)	- (-)	20.0% (3)

(7) 65 歳以上の同居家族の有無 (F6)

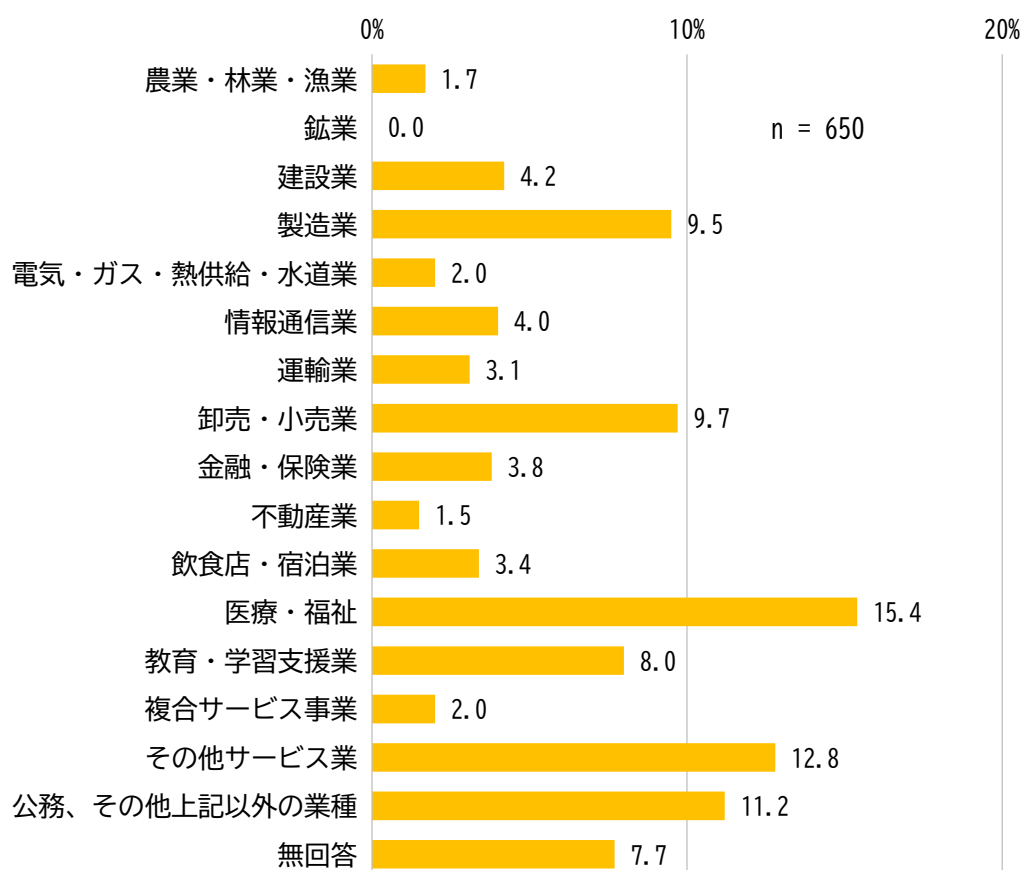
上段：割合 (%) 下段：人数 (人)	全 体	い る	い な い	無 回 答
合計	100.0% (1271)	52.3% (665)	45.5% (578)	2.2% (28)
男性	100.0% (540)	53.3% (288)	45.9% (248)	0.7% (4)
女性	100.0% (682)	52.2% (356)	46.5% (317)	1.3% (9)
その他	100.0% (1)	- (-)	100.0% (1)	- (-)
答えたくない	100.0% (17)	47.1% (8)	52.9% (9)	- (-)
無回答	100.0% (31)	41.9% (13)	9.7% (3)	48.4% (15)

(8) 職業と業種

①職業 (F7)

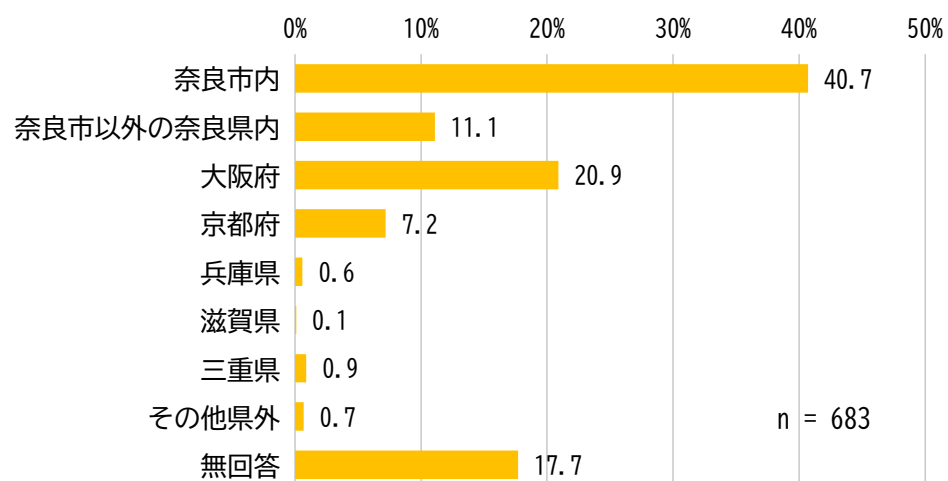


②業種 (F7-1)

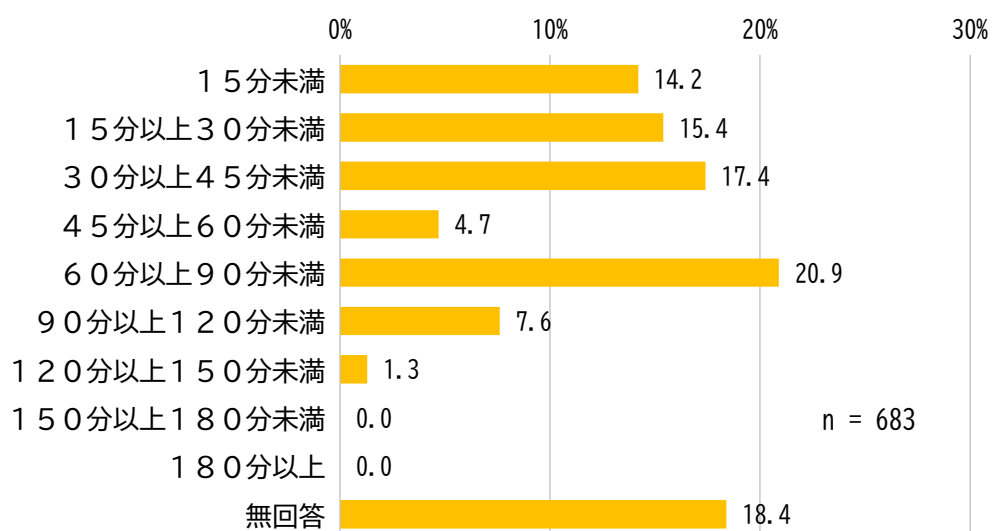


(9) 通勤・通学先と時間 (F7-2)

①通勤・通学先



②片道の移動時間

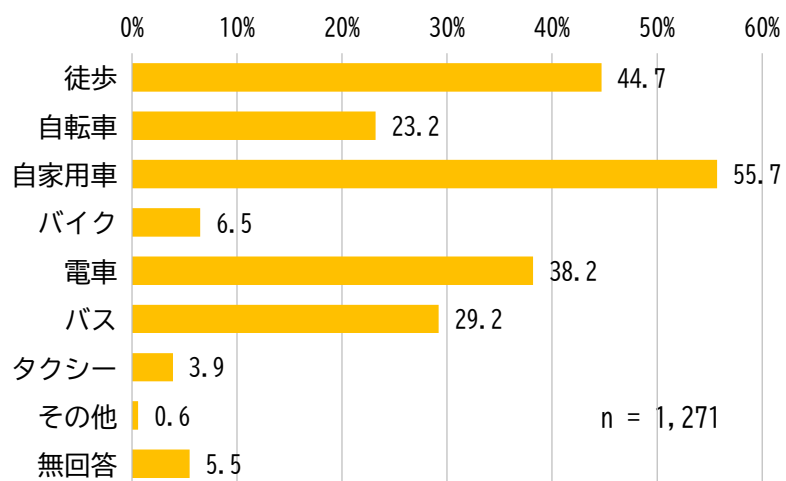


③業種（通勤先別）

人数（人） 割合（％）	奈良市内	奈良市以外 の	大阪府	京都府	その他県外	無回答	合計
全体	270人 (100.0%)	72人 (100.0%)	129人 (100.0%)	43人 (100.0%)	16人 (100.0%)	120人 (100.0%)	650人 (100.0%)
農業・林業・漁業	(3.0%)	(1.4%)	(0.8%)	(-)	(-)	(0.8%)	11人 (1.7%)
鉱業	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	- (-)
建設業	(4.1%)	(4.2%)	(6.2%)	(-)	(6.3%)	(3.3%)	27人 (4.2%)
製造業	(3.0%)	(19.4%)	(15.5%)	(14.0%)	(43.8%)	(5.8%)	62人 (9.5%)
電気・ガス・熱供給・水道業	(2.2%)	(-)	(2.3%)	(-)	(6.3%)	(2.5%)	13人 (2.0%)
情報通信業	(1.9%)	(1.4%)	(10.9%)	(7.0%)	(-)	(2.5%)	26人 (4.0%)
運輸業	(2.2%)	(2.8%)	(2.3%)	(9.3%)	(-)	(4.2%)	20人 (3.1%)
卸売・小売業	(7.8%)	(8.3%)	(14.0%)	(14.0%)	(18.8%)	(7.5%)	63人 (9.7%)
金融・保険業	(2.6%)	(2.8%)	(10.1%)	(7.0%)	(-)	(-)	25人 (3.8%)
不動産業	(3.3%)	(-)	(0.8%)	(-)	(-)	(-)	10人 (1.5%)
飲食店・宿泊業	(5.6%)	(1.4%)	(-)	(7.0%)	(-)	(2.5%)	22人 (3.4%)
医療・福祉	(24.4%)	(15.3%)	(5.4%)	(7.0%)	(-)	(10.8%)	100人 (15.4%)
教育・学習支援業	(9.3%)	(15.3%)	(6.2%)	(2.3%)	(6.3%)	(5.0%)	52人 (8.0%)
複合サービス事業	(1.9%)	(4.2%)	(0.8%)	(2.3%)	(-)	(2.5%)	13人 (2.0%)
その他サービス業	(14.8%)	(6.9%)	(10.9%)	(16.3%)	(12.5%)	(12.5%)	83人 (12.8%)
公務、その他上記以外の業種	(11.1%)	(13.9%)	(10.9%)	(9.3%)	(6.3%)	(11.7%)	73人 (11.2%)
無回答	(3.0%)	(2.8%)	(3.1%)	(4.7%)	(-)	(28.3%)	50人 (7.7%)

※ ■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

(10) 移動手段 (F8)



(11) 居住地域（中学校区）（F9）

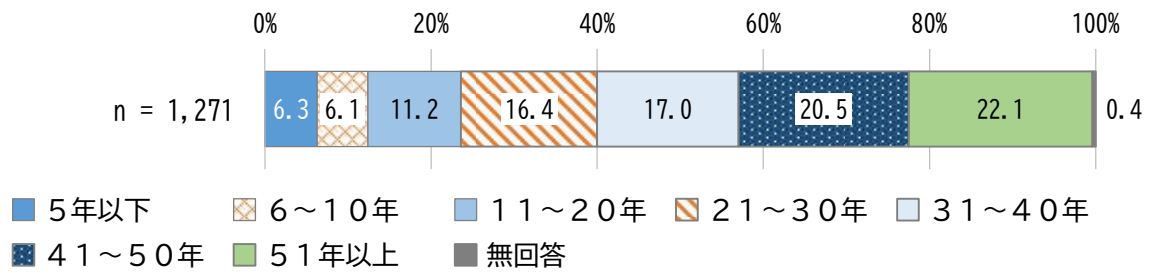
上段：割合（％） 下段：人数（人）	合 計	男 性	女 性	そ 他	答 え た く ない	無 回 答
全体	100.0% (1271)	100.0% (540)	100.0% (682)	100.0% (1)	100.0% (17)	100.0% (31)
春日	5.9% (75)	5.9% (32)	5.7% (39)	- (-)	11.8% (2)	6.5% (2)
三笠	10.1% (128)	11.1% (60)	9.7% (66)	- (-)	11.8% (2)	- (-)
若草	5.6% (71)	4.4% (24)	6.7% (46)	- (-)	5.9% (1)	- (-)
伏見	10.1% (128)	9.4% (51)	10.7% (73)	100.0% (1)	11.8% (2)	3.2% (1)
富雄	6.9% (88)	7.2% (39)	7.0% (48)	- (-)	5.9% (1)	- (-)
都南	5.4% (68)	6.1% (33)	5.1% (35)	- (-)	- (-)	- (-)
田原	0.6% (7)	0.7% (4)	0.3% (2)	- (-)	- (-)	3.2% (1)
興東館柳生	1.1% (14)	0.9% (5)	1.3% (9)	- (-)	- (-)	- (-)
登美ヶ丘	5.9% (75)	6.5% (35)	5.9% (40)	- (-)	- (-)	- (-)
ならやま（旧平城西）	3.1% (40)	3.1% (17)	3.1% (21)	- (-)	11.8% (2)	- (-)
二名	4.5% (57)	4.6% (25)	4.7% (32)	- (-)	- (-)	- (-)
京西	5.9% (75)	6.5% (35)	5.4% (37)	- (-)	11.8% (2)	3.2% (1)
富雄南	6.9% (88)	6.5% (35)	7.6% (52)	- (-)	- (-)	3.2% (1)
平城	4.2% (54)	5.2% (28)	3.5% (24)	- (-)	11.8% (2)	- (-)
飛鳥	3.3% (42)	2.6% (14)	4.1% (28)	- (-)	- (-)	- (-)
登美ヶ丘北	2.7% (34)	2.6% (14)	2.9% (20)	- (-)	- (-)	- (-)
都跡	3.5% (45)	4.3% (23)	3.1% (21)	- (-)	- (-)	3.2% (1)
平城東	4.6% (59)	4.8% (26)	4.1% (28)	- (-)	11.8% (2)	9.7% (3)
月ヶ瀬	0.5% (6)	0.6% (3)	0.4% (3)	- (-)	- (-)	- (-)
都祁	1.7% (22)	2.6% (14)	1.2% (8)	- (-)	- (-)	- (-)
富雄第三	1.4% (18)	1.5% (8)	1.5% (10)	- (-)	- (-)	- (-)
無回答	6.1% (77)	2.8% (15)	5.9% (40)	- (-)	5.9% (1)	67.7% (21)

第2章 調査実施の概要

1 奈良市での生活について

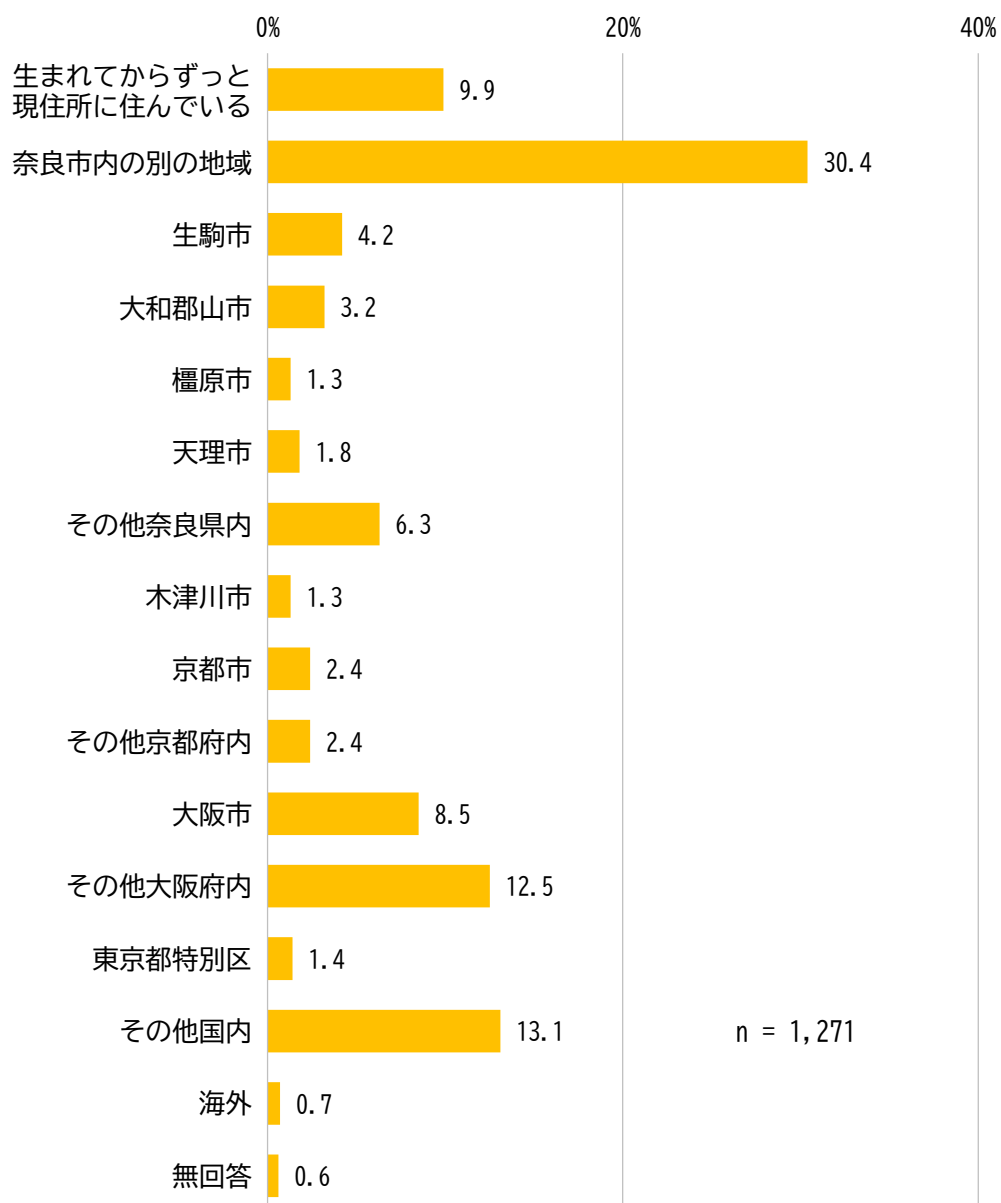
問1 あなたは、奈良市に住んで通算で何年になりますか。(○は1つ)

奈良市の居住年数について、「51年以上」が22.1%と最も高く、31年以上の方が59.6%と約6割を占めています。



問2 あなたが現住所の直前に住んでいたのはどちらでしたか。(〇は1つ)

現住所の直前に住んでいたところについて、「奈良市内の別の地域」が30.4%と最も高く、次いで「その他国内」が13.1%、「その他大阪府内」が12.5%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

年齢別では、20～29歳では「生まれてからずっと現住所に住んでいる」と「奈良市内の別の地域」が同率で最も高く、その他の年代では「奈良市内の別の地域」が最も高くなっています。

		現住所に住んでからずっと	奈良市内の別の地域	生駒市	大和郡山市	橿原市	天理市	その他奈良県内	木津川市	京都市	その他京都府内	大阪市	その他大阪府内	東京都特別区	その他国内	海外	無回答
全体	(n=1,271)	9.9	30.4	4.2	3.2	1.3	1.8	6.3	1.3	2.4	2.4	8.5	12.5	1.4	13.1	0.7	0.6
年齢 (10歳区分)	18～19歳 (n=13)	69.2	7.7	-	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15.4	-	-
	20～29歳 (n=63)	31.7	31.7	4.8	1.6	1.6	1.6	6.3	-	1.6	-	-	3.2	1.6	12.7	1.6	-
	30～39歳 (n=106)	10.4	36.8	6.6	2.8	1.9	-	4.7	-	4.7	1.9	8.5	8.5	0.9	10.4	1.9	-
	40～49歳 (n=160)	5.6	30.0	6.9	2.5	1.9	1.3	5.0	2.5	1.9	5.6	6.9	9.4	3.8	14.4	1.3	1.3
	50～59歳 (n=217)	10.6	28.1	2.8	3.7	1.4	2.8	4.1	1.4	4.6	2.3	8.3	12.4	0.5	17.1	-	-
	60～69歳 (n=246)	7.3	33.7	4.9	2.8	1.2	1.6	7.7	2.8	1.2	2.0	6.1	13.0	1.6	11.8	1.6	0.4
	70～79歳 (n=292)	8.6	29.5	4.5	3.8	0.3	2.7	7.9	1.0	0.7	1.7	12.7	14.4	0.7	11.0	-	0.7
	80歳以上 (n=158)	6.3	27.8	0.6	3.2	1.9	1.3	7.0	-	2.5	1.9	11.4	18.4	1.9	14.6	-	1.3

※■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

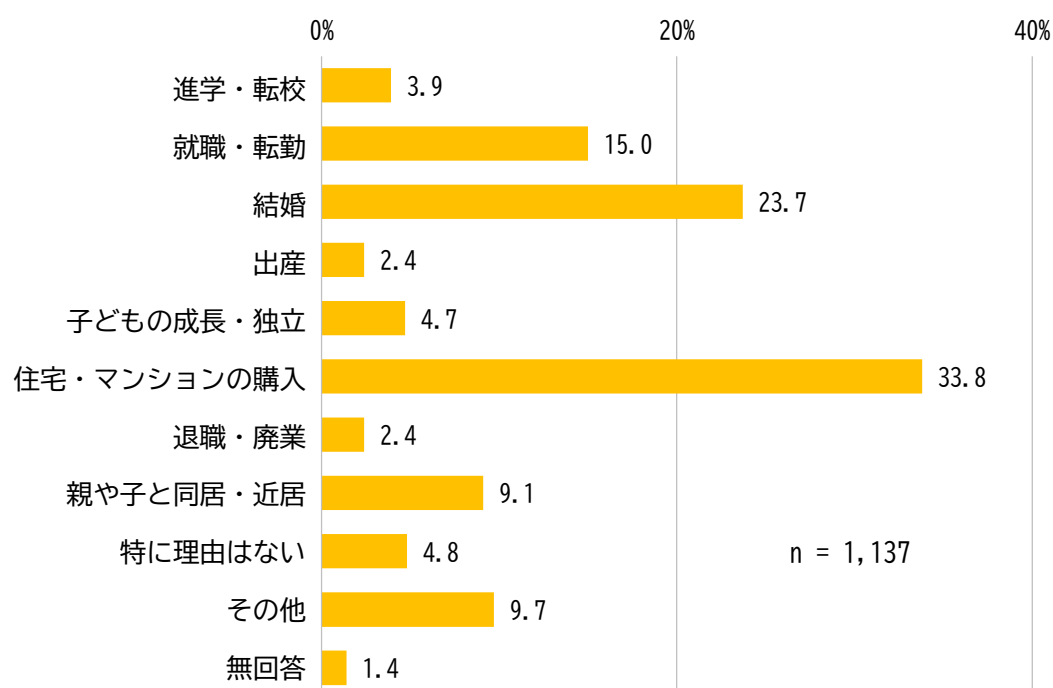
単位：％

※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

問2－1 問2で「2」～「15」を選択した方のみにお聞きします。

① 転居のきっかけは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

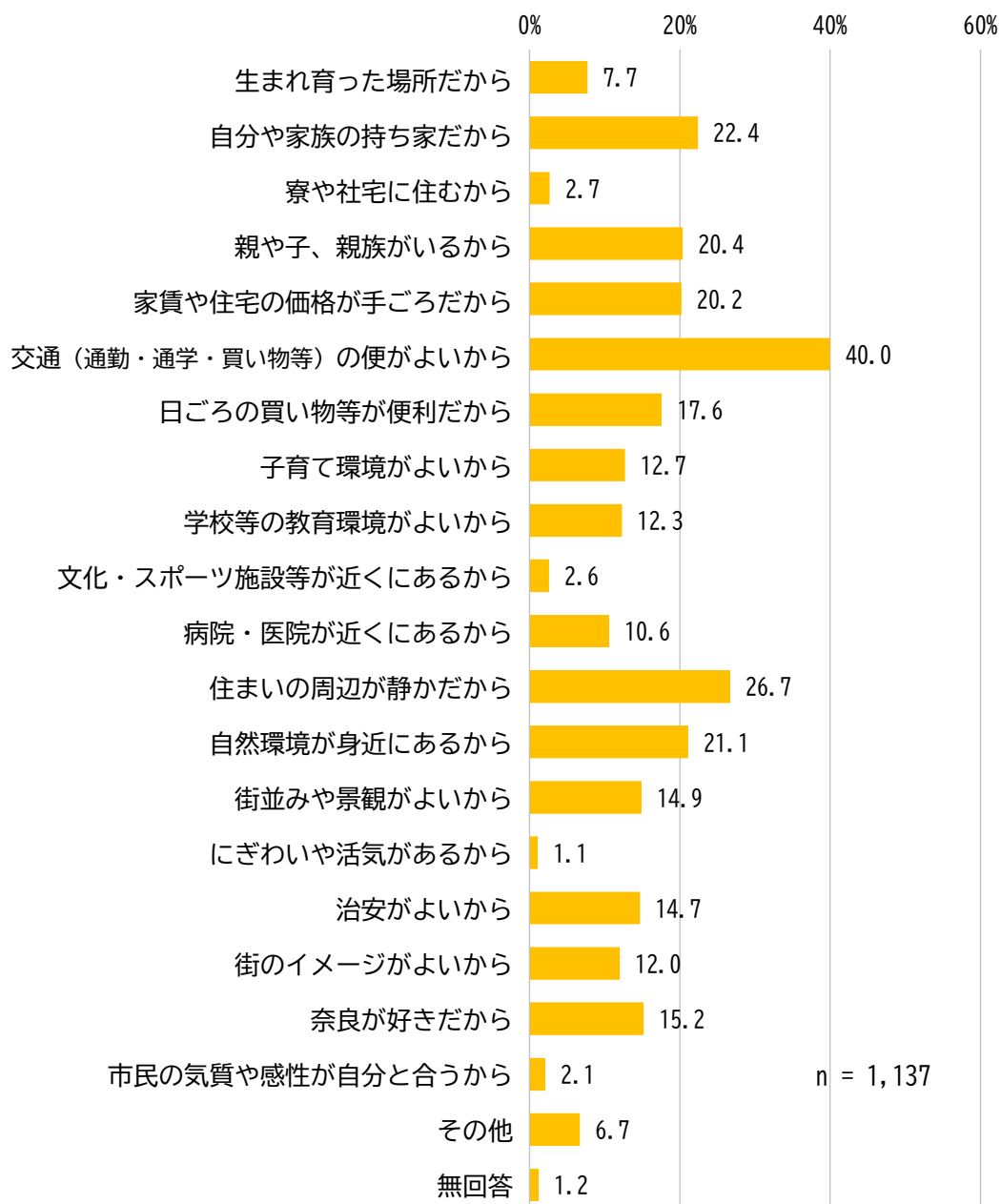
転居のきっかけについて、「住宅・マンションの購入」が33.8%と最も高く、次いで「結婚」が23.7%となっています。



問2-1 問2で「2」～「15」を選択した方のみにお聞きします。

② 現住所を転居先にした理由は何か。(あてはまるものすべてに○)

現住所を転居先にした理由について、「交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから」が40.0%と最も高く、次いで「住まいの周辺が静かだから」が26.7%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

年齢別では、「交通（通勤・通学・買い物等）の便がよいから」が30～79歳で最も高く、18～29歳では2番目、80歳以上では3番目に高くなっています。20～29歳では「自分や家族の持ち家だから」、80歳以上では「住まいの周辺が静かだから」が最も高くなっています。

		生まれ育った場所だから																				その他		無回答																	
		自分や家族の持ち家だから		寮や社宅に住むから		親や子、親族がいるから		家賃や住宅の価格が手ごろだから		交通（通勤・通学・買い物等）の便がよいから		日ごろの買い物等が便利だから		子育て環境がよいから		学校等の教育環境がよいから		文化・スポーツ施設等が近くにあるから		病院・医院が近くにあるから		住まいの周辺が静かだから		自然環境が身近にあるから		街並みや景観がよいから		にぎわいや活気があるから		治安がよいから		街のイメージがよいから		奈良が好きだから		市民の気質や感性が自分と合うから		その他		無回答	
全体		(n=1,137)		7.7	22.4	2.7	20.4	20.2	40.0	17.6	12.7	12.3	2.6	10.6	26.7	21.1	14.9	1.1	14.7	12.0	15.2	2.1	6.7	1.2																	
年齢 （10歳区分）	18～19歳	(n=4)		-	-	25.0	-	-	25.0	-	-	50.0	-	-	-	-	-	-	-	-	25.0	-	25.0	-																	
	20～29歳	(n=43)		4.7	39.5	11.6	23.3	11.6	27.9	2.3	4.7	7.0	-	-	9.3	2.3	2.3	-	2.3	-	4.7	2.3	9.3	-																	
	30～39歳	(n=95)		8.4	14.7	3.2	20.0	34.7	56.8	21.1	10.5	10.5	1.1	4.2	17.9	9.5	8.4	1.1	21.1	8.4	14.7	4.2	8.4	-																	
	40～49歳	(n=149)		14.1	23.5	3.4	28.9	19.5	34.9	16.1	8.7	11.4	4.0	4.7	18.8	11.4	12.1	0.7	14.1	10.1	14.8	4.0	8.1	0.7																	
	50～59歳	(n=194)		13.4	22.7	2.6	29.9	16.5	43.8	16.5	12.9	8.8	0.5	9.3	17.5	12.4	11.9	1.0	12.9	10.3	11.3	0.5	4.1	-																	
	60～69歳	(n=227)		4.8	23.3	2.2	20.3	20.7	34.4	14.5	11.5	11.9	1.8	7.0	27.8	20.3	11.5	1.3	13.2	12.8	9.3	0.9	7.5	2.2																	
	70～79歳	(n=265)		5.7	23.0	2.3	12.8	20.4	41.5	22.6	14.0	14.0	4.2	16.2	35.1	30.2	22.3	1.9	16.2	13.2	18.5	1.9	6.0	1.1																	
	80歳以上	(n=146)		2.7	19.9	0.7	13.0	18.5	41.1	19.2	19.2	17.8	4.1	21.2	43.2	41.8	21.9	0.7	18.5	18.5	28.8	3.4	6.8	2.7																	

※■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

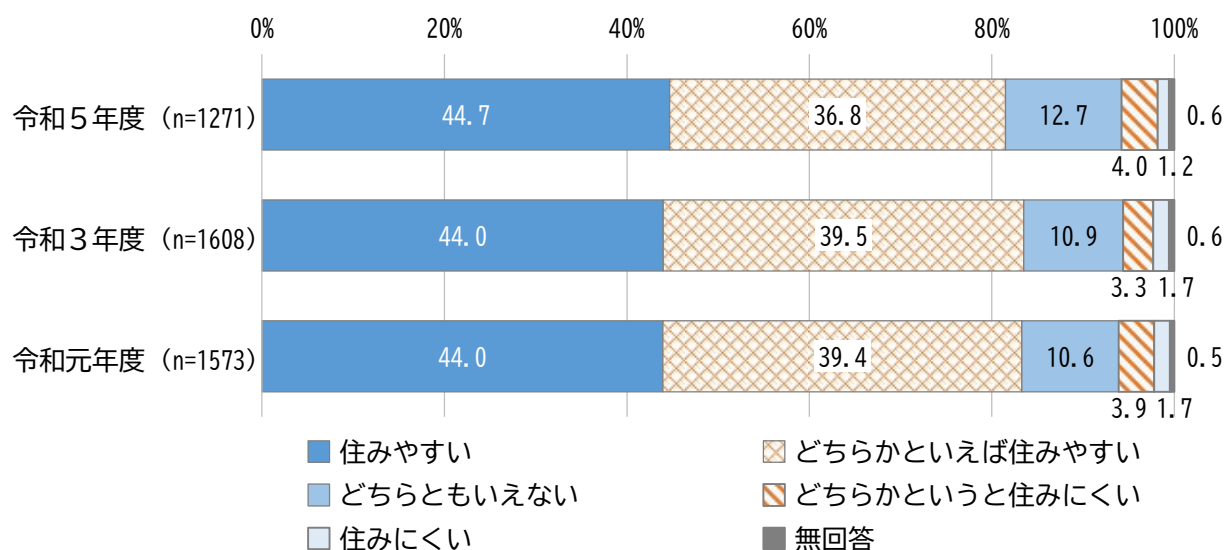
単位：％

※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

問3 あなたが住んでいる地域は住みやすいと思いますか。(〇は1つ)

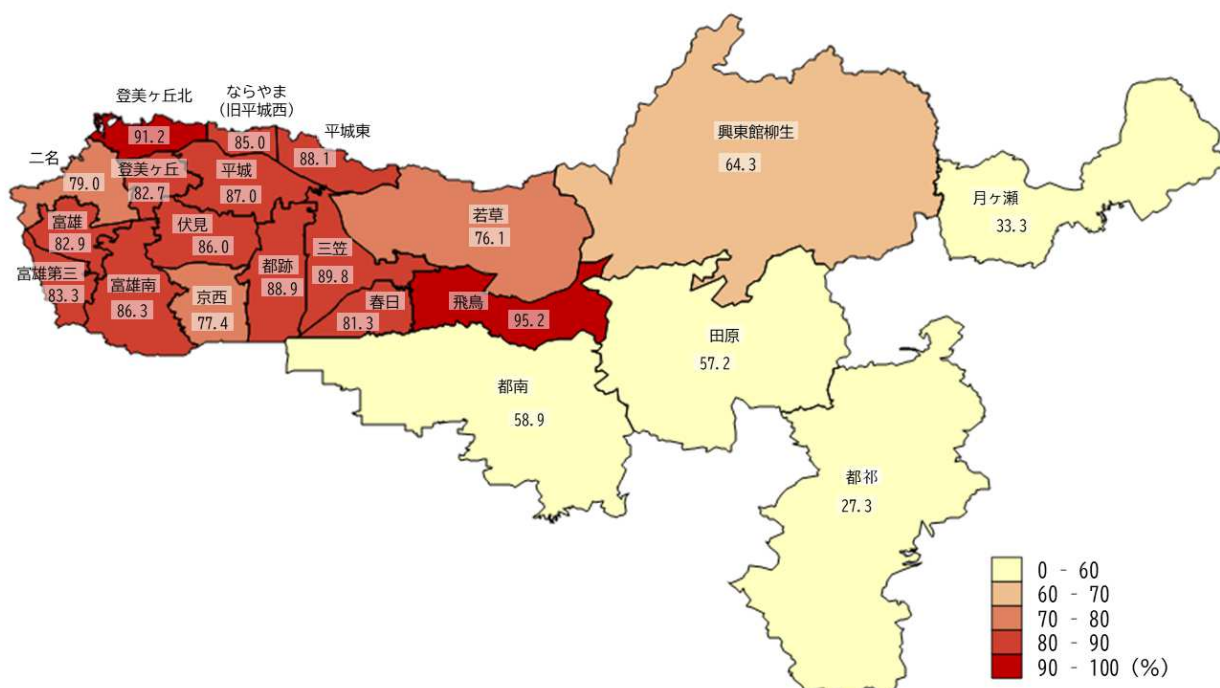
住んでいる地域が住みやすいかについて、「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計が81.5%となっています。

過去の調査と比較すると、「住みやすい」はほとんど変わりませんが、「どちらかというに住みやすい」は令和元年度・令和3年度に比べてやや減少しています。



【居住地域（中学校区）別】

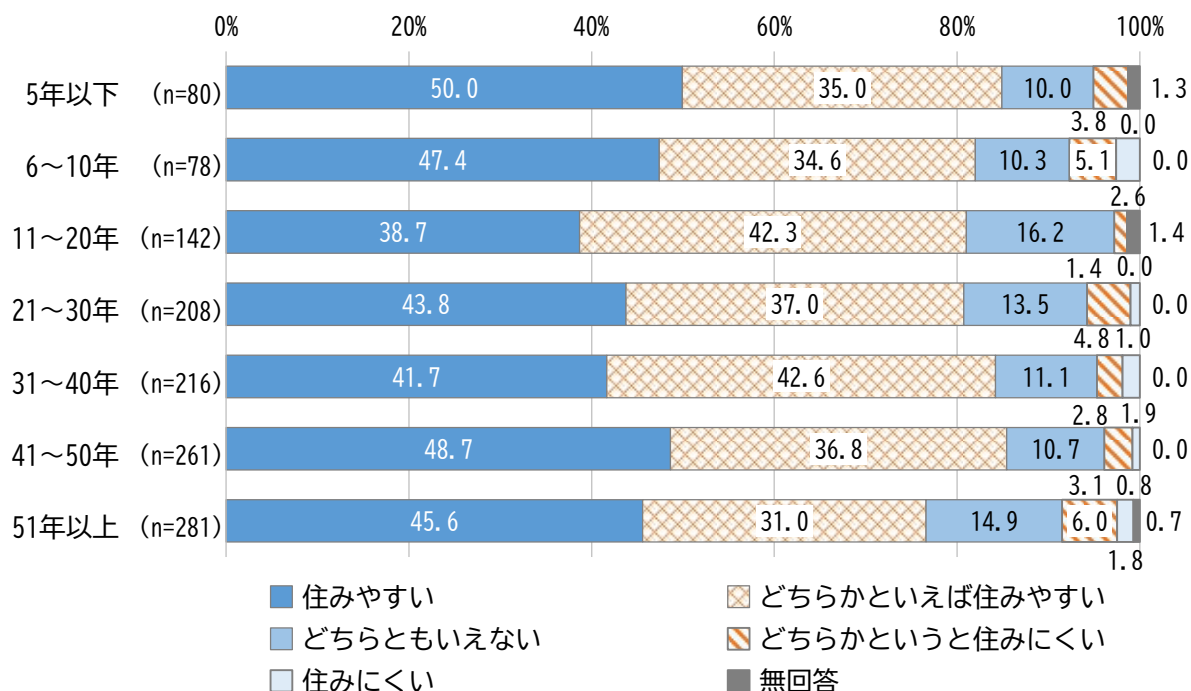
下図は居住地域別の「住みやすい」+「どちらかというに住みやすい」と回答した割合です。飛鳥が95.2%と最も高くなっており、次いで登美ヶ丘北と三笠で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

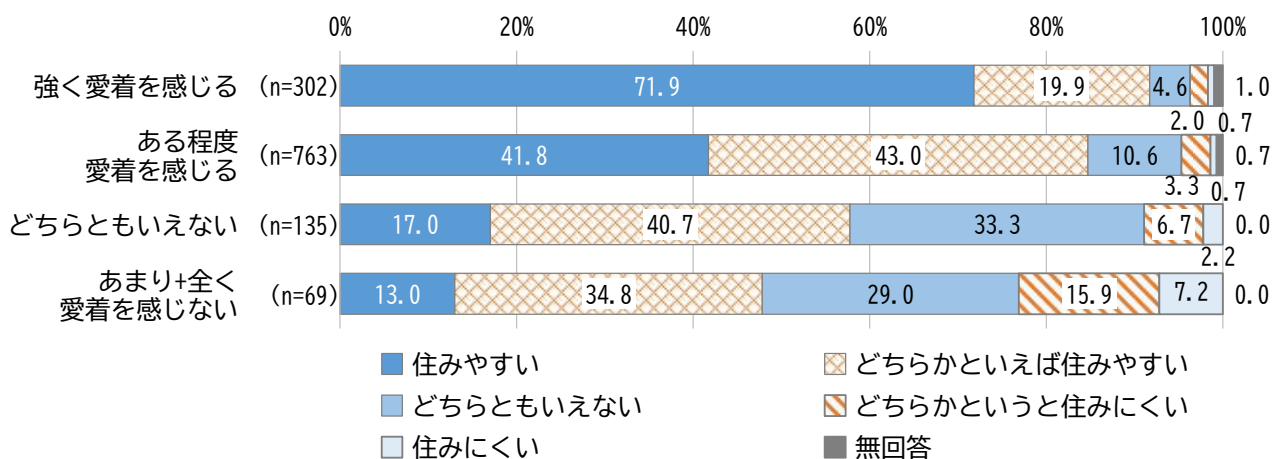
【居住年数別】

居住年数別では、「住みやすい」が5年以下で50.0%と最も高くなっており、11～20年で38.7%と最も低くなっています。



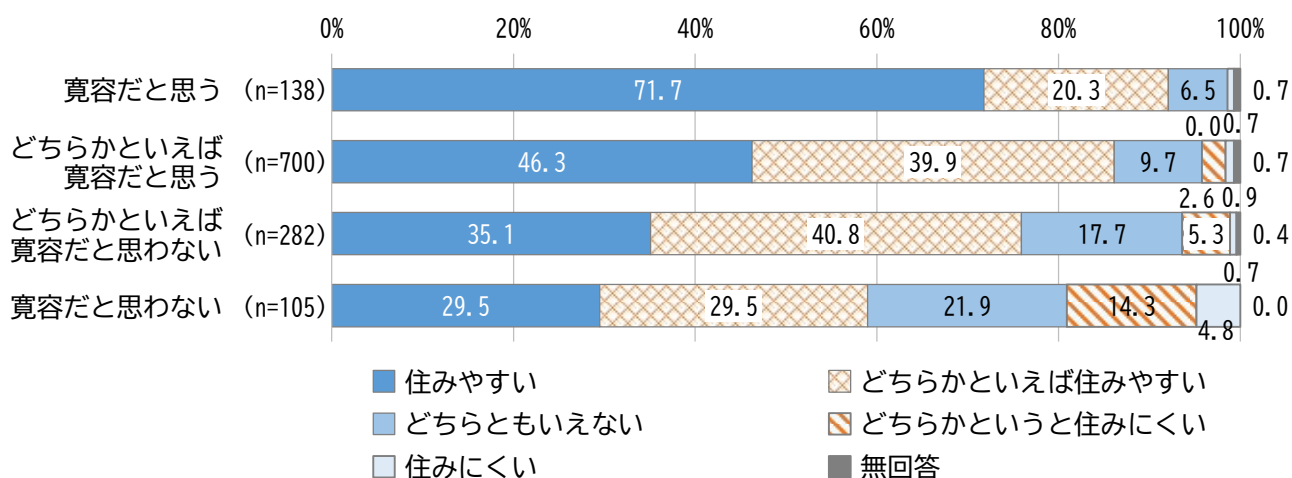
【奈良市への愛着別】

奈良市への愛着別では、愛着を感じる層ほど「住みやすい」が高くなっており、強く愛着を感じるで71.9%、あまり+全く愛着を感じないで13.0%となっています。



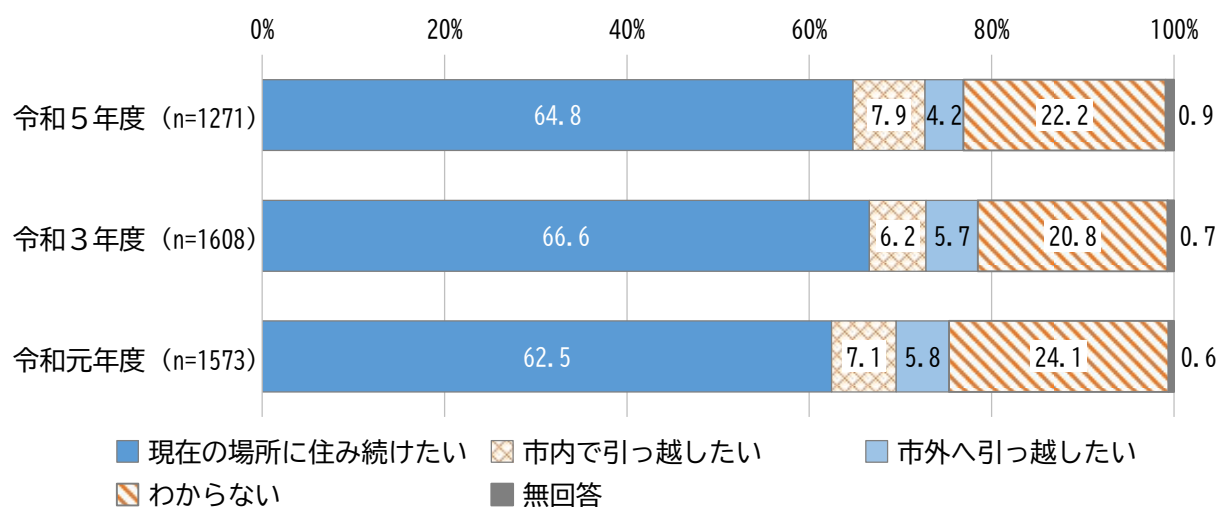
【地域の寛容さ別】

地域の寛容さ（他者の様々な違いについて）別では、寛容だと思う層ほど「住みやすい」が高くなっており、寛容だと思うで 71.7%、寛容だと思わないで 29.5%となっています。



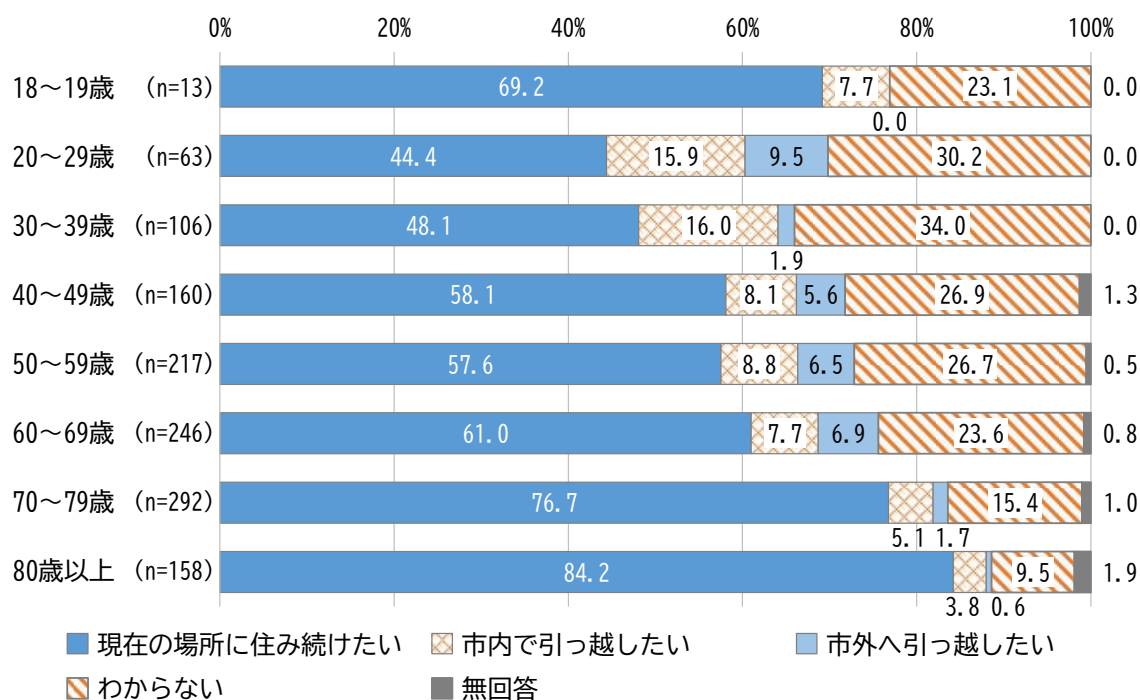
問4 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

これからも住み続けたいかについて、「現在の場所に住み続けたい」が 64.8%と最も高くなっていますが、令和3年度調査と比べるとやや減少しています。



【年齢（10歳区分）別】

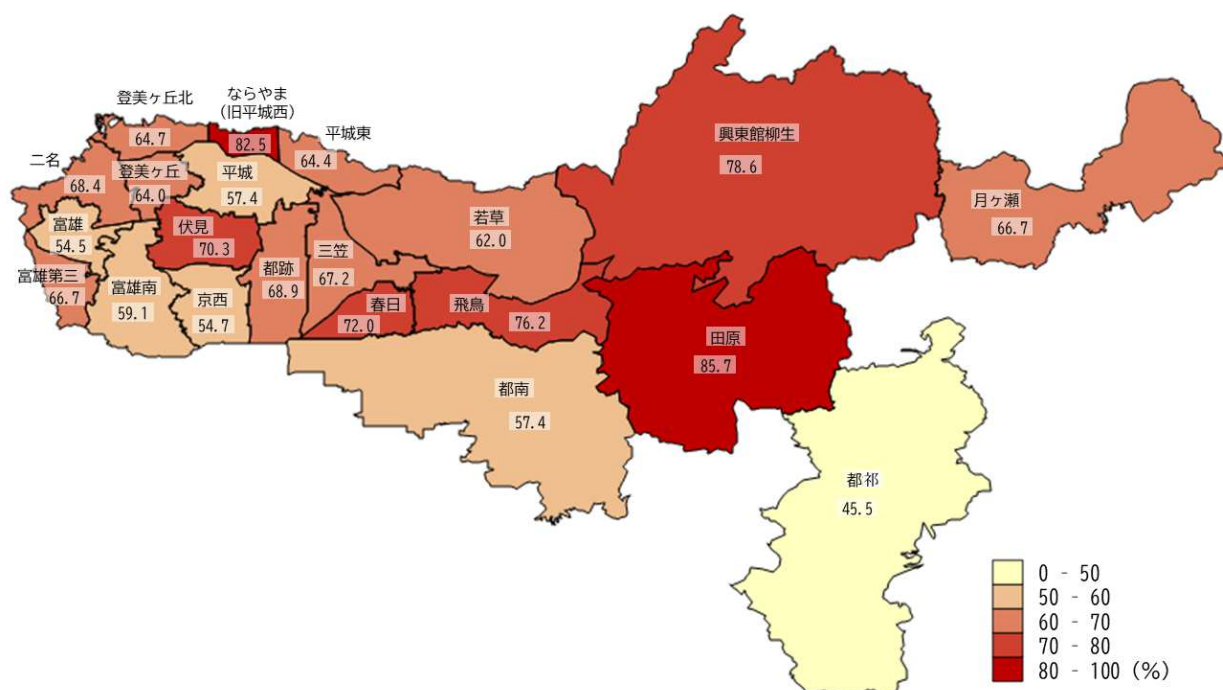
年齢別では、概ね年齢が上がるほど、「現在の場所に住み続けたい」が高くなっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

【居住地域（中学校区）別】

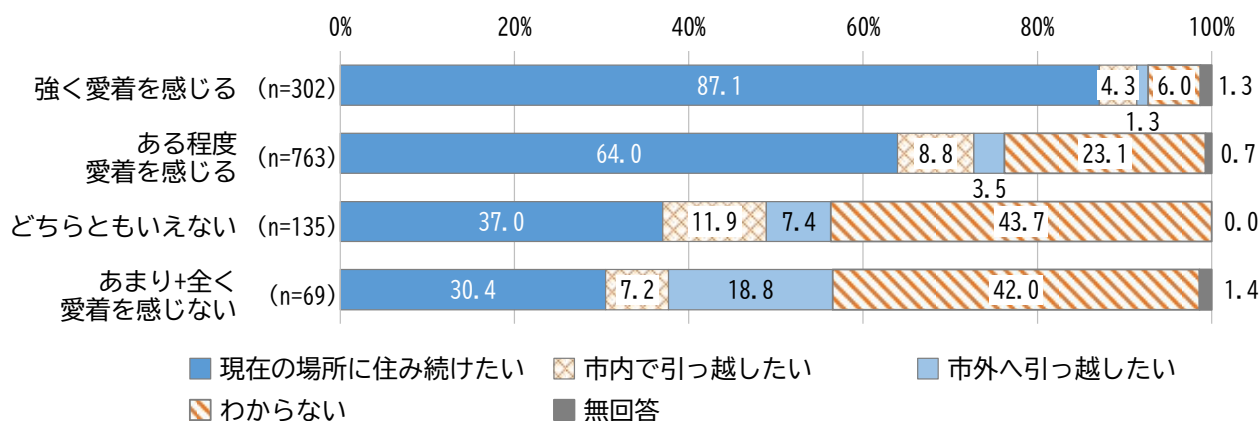
下図は居住地域別の「現在の場所に住み続けたい」と回答した割合です。田原が85.7%と最も高くなっており、次いでならやま（旧平城西）と興東館柳生で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

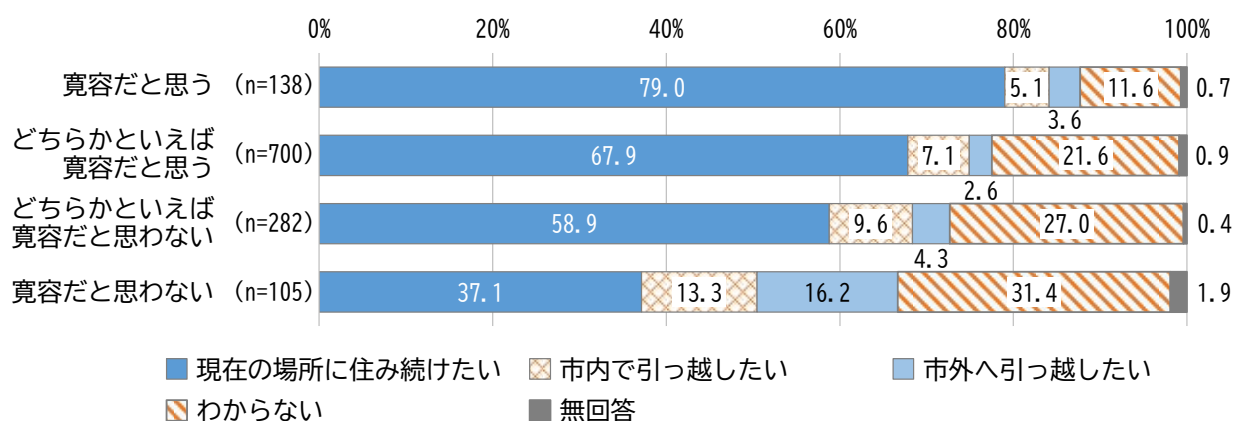
【奈良市への愛着別】

奈良市への愛着別では、愛着を感じる層ほど「現在の場所に住み続けたい」が高くなっており、強く愛着を感じるで 87.1%、あまり+全く愛着を感じないで 30.4%となっています。



【地域の寛容さ別】

地域の寛容さ別では、寛容だと思う層ほど「現在の場所に住み続けたい」が高くなっており、寛容だと思うで 79.0%、寛容だと思わないで 37.1%となっています。

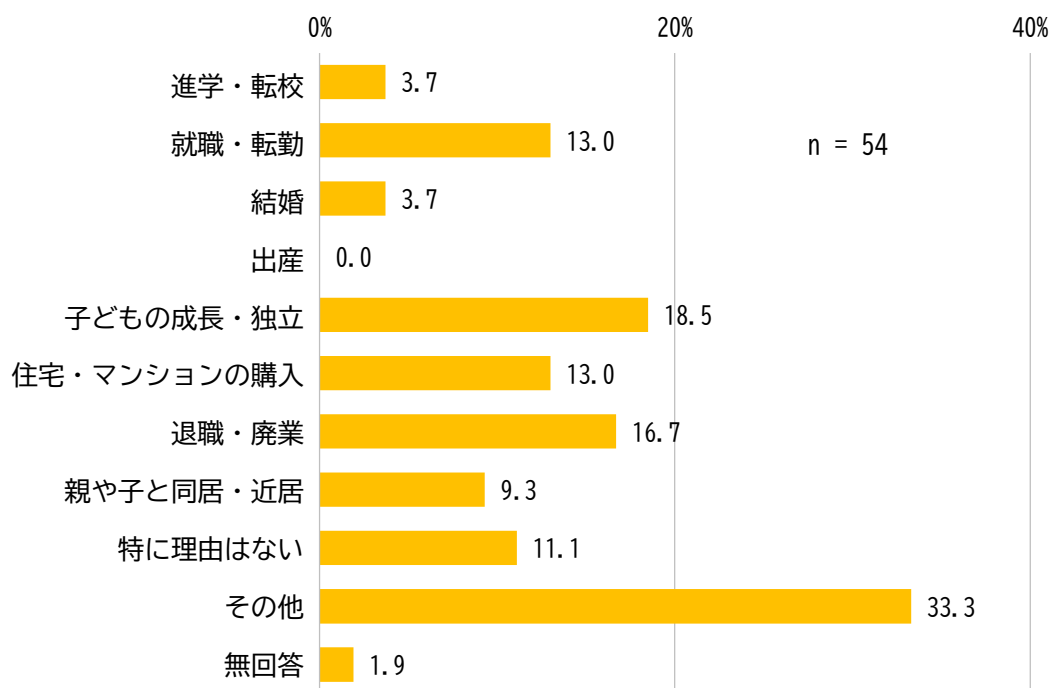


問4－1 問4で「3. 市外へ引っ越したい」を選択した方のみにお聞きします。

① 市外へ引越する場合、そのきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

市外へ引越する場合のきっかけについて、「その他」が33.3%と最も高く、次いで「子どもの成長・独立」が18.5%、「退職・廃業」が16.7%となっています。

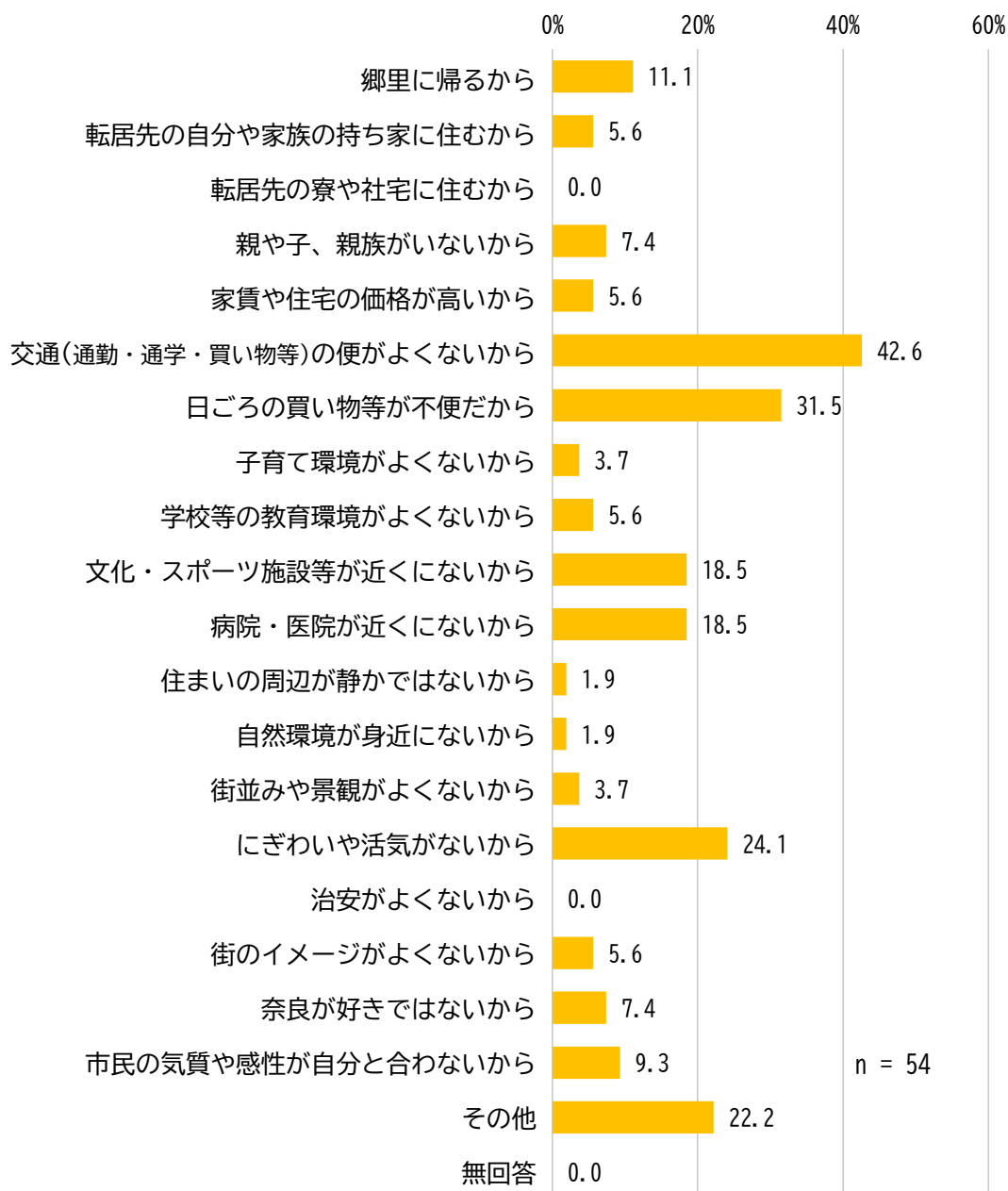
その他(18件)の具体内容は、「便利な場所に住みたい」「通勤時間を短縮するため」など、生活や交通の利便性を求める意見がみられた。



問4－1 問4で「3. 市外へ引っ越したい」を選択した方のみにお聞きします。

② 転居先として奈良市を選ばない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

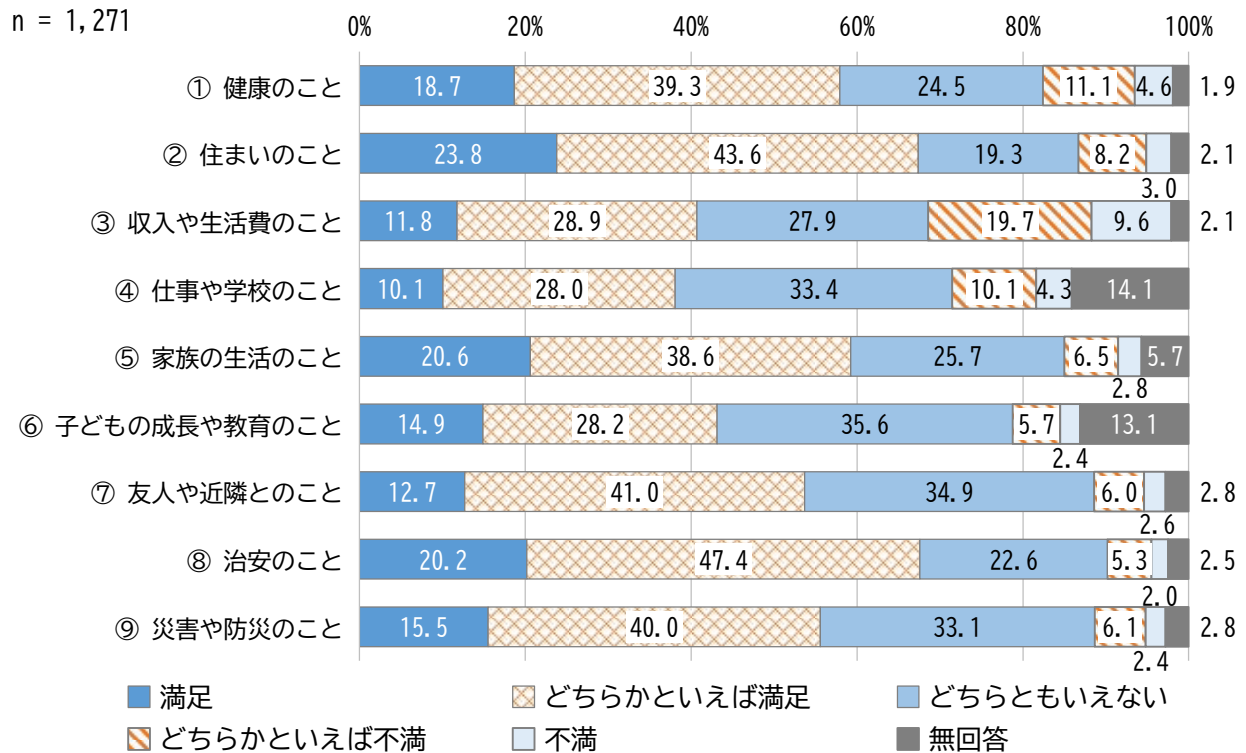
転居先として奈良市を選ばない理由について、「交通（通勤・通学・買い物等）の便が良くないから」が42.6%と最も高く、次いで「日ごろの買い物等が不便だから」が31.5%となっています。



2 日ごろの生活について

問5 あなたは、次の項目について、今の生活に満足していますか。(○はそれぞれ1つずつ)

今の生活の満足度について、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は、「⑧治安のこと」が67.6%と最も高く、次いで「②住まいのこと」が67.4%となっています。一方、「④仕事や学校のこと」が38.1%で最も低くなっています。



【居住地域（中学校区）別】

下表は居住地域別の「満足」＋「どちらかといえば満足」と回答した割合です。「①健康のこと」「②住まいのこと」「⑤家族の生活のこと」「⑥子どもの成長や教育のこと」「⑨災害や防災のこと」はならやま（旧平城西）で最も高く、「⑦友人や近隣のこと」「⑧治安のこと」は登美ヶ丘、「③収入や生活費のこと」「④仕事や学校のこと」は興東館柳生で最も高くなっています。

		① 健康のこと	② 住まいのこと	③ 収入や生活費のこと	④ 仕事や学校のこと	⑤ 家族の生活のこと	⑥ 子どもの成長や教育のこと	⑦ 友人や近隣のこと	⑧ 治安のこと	⑨ 災害や防災のこと
全体 (n=1,271)		58.0	67.4	40.7	38.1	59.2	43.1	53.7	67.6	55.5
居住地域（中学校区）	春日 (n=75)	58.7	57.3	33.3	42.7	60.0	29.3	50.7	65.4	50.7
	三笠 (n=128)	58.6	70.3	39.1	40.6	55.4	35.1	46.9	63.3	55.4
	若草 (n=71)	56.3	64.8	33.8	36.6	49.3	33.8	47.9	70.4	60.6
	伏見 (n=128)	59.4	72.7	40.7	41.4	65.7	42.2	58.6	70.3	53.9
	富雄 (n=88)	56.8	63.6	38.6	34.1	54.5	42.1	54.5	67.1	54.5
	都南 (n=68)	48.6	52.9	33.8	30.8	51.5	32.3	39.7	50.0	44.1
	田原 (n=7)	42.9	57.2	28.6	14.3	42.9	42.9	28.6	28.6	14.3
	興東館柳生 (n=14)	64.3	78.6	42.9	57.2	42.9	35.7	57.2	71.5	64.3
	登美ヶ丘 (n=75)	61.4	65.4	40.0	30.7	64.0	44.0	60.0	77.3	56.0
	ならやま（旧平城西） (n=40)	65.0	82.5	42.5	40.0	75.0	45.0	47.5	75.0	67.5
	二名 (n=57)	57.9	65.0	47.3	50.8	64.9	63.2	57.9	72.0	63.2
	京西 (n=75)	58.6	70.6	38.7	38.7	60.0	38.7	58.6	57.3	45.3
	富雄南 (n=88)	61.4	71.6	52.3	44.3	71.6	54.6	57.9	72.7	62.5
	平城 (n=54)	59.3	62.9	42.6	31.5	53.7	42.6	42.6	70.4	50.0
	飛鳥 (n=42)	50.0	61.9	33.3	38.1	57.1	47.6	52.4	64.3	59.5
	登美ヶ丘北 (n=34)	55.8	70.6	52.9	38.2	70.6	58.8	61.7	70.5	55.8
	都跡 (n=45)	60.0	71.1	42.2	42.2	57.8	57.8	55.6	68.9	68.9
	平城東 (n=59)	56.0	76.3	44.1	37.3	62.7	54.3	61.0	79.6	67.8
	月ヶ瀬 (n=6)	50.0	66.6	50.0	16.7	33.4	16.7	33.4	33.3	33.3
	都祁 (n=22)	40.9	59.1	22.7	27.2	45.5	45.4	54.5	72.7	50.0
	富雄第三 (n=18)	77.8	83.3	44.5	38.9	55.5	44.4	66.7	77.7	66.7

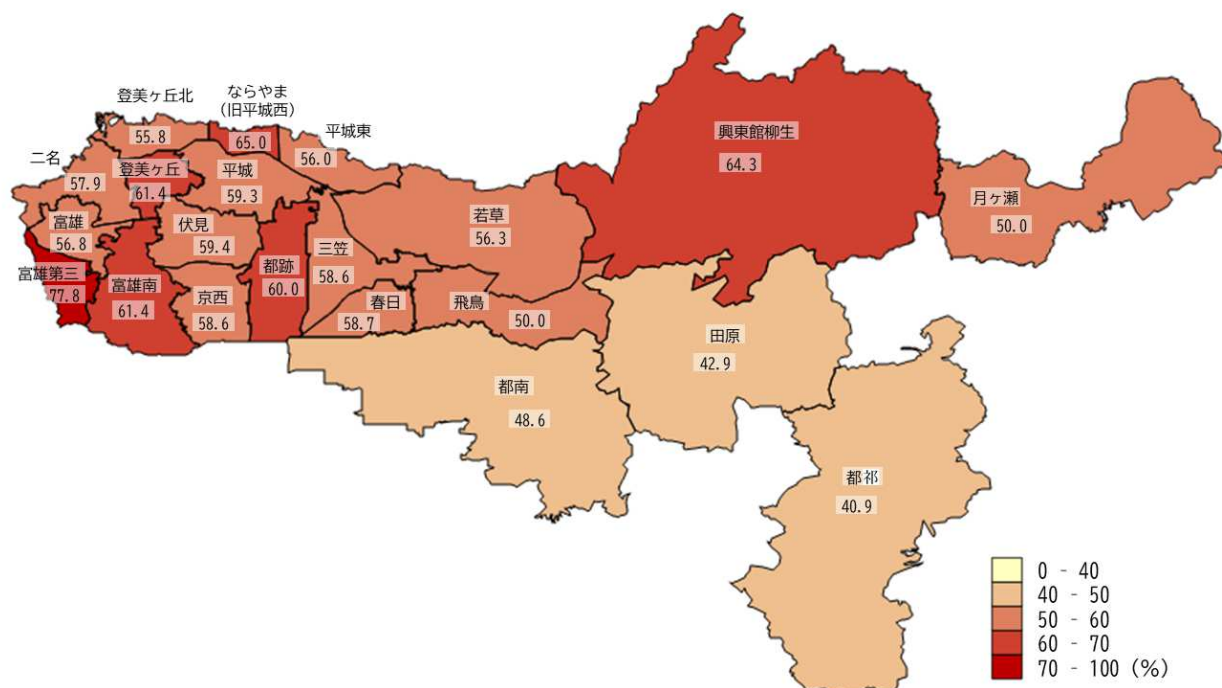
※■は回答の割合が最も高い地域、■は2番目に高い地域、■は3番目に高い地域

※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

【居住地域（中学校区）別】

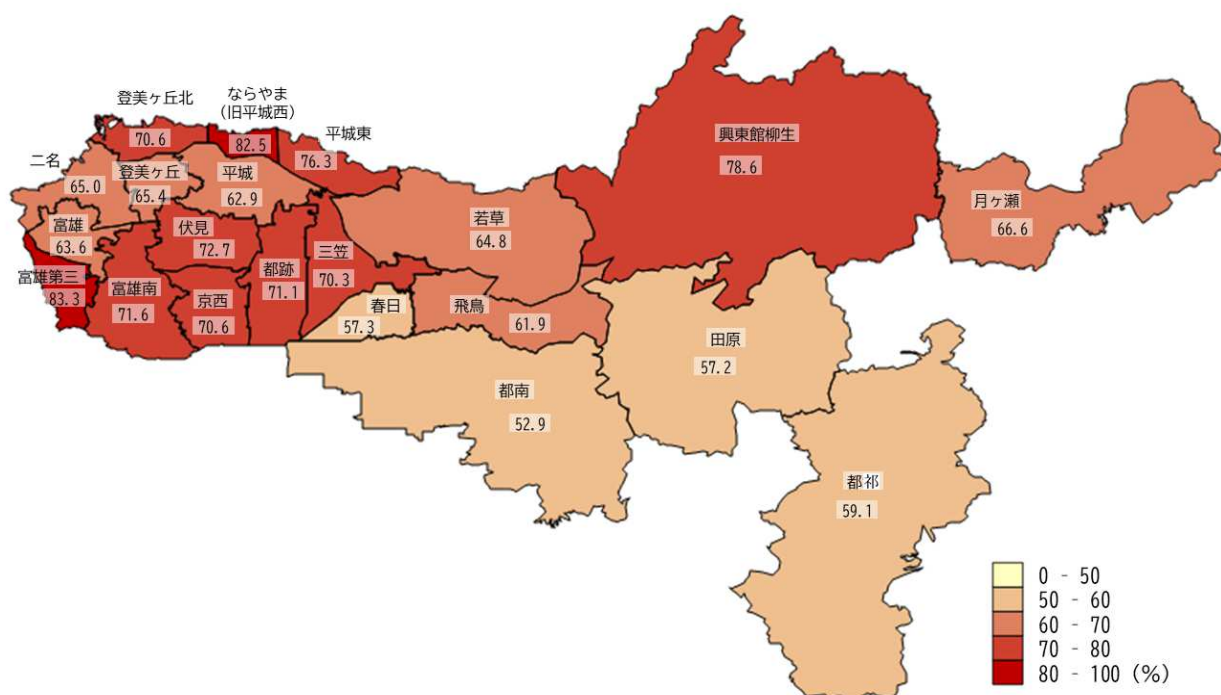
① 健康のこと

下図は居住地域別の「満足」+「どちらかといえば満足」と回答した割合です。富雄第三が77.8%と最も高くなっており、次いでならやま（旧平城西）と興東館柳生で高くなっています。



② 住まいのこと

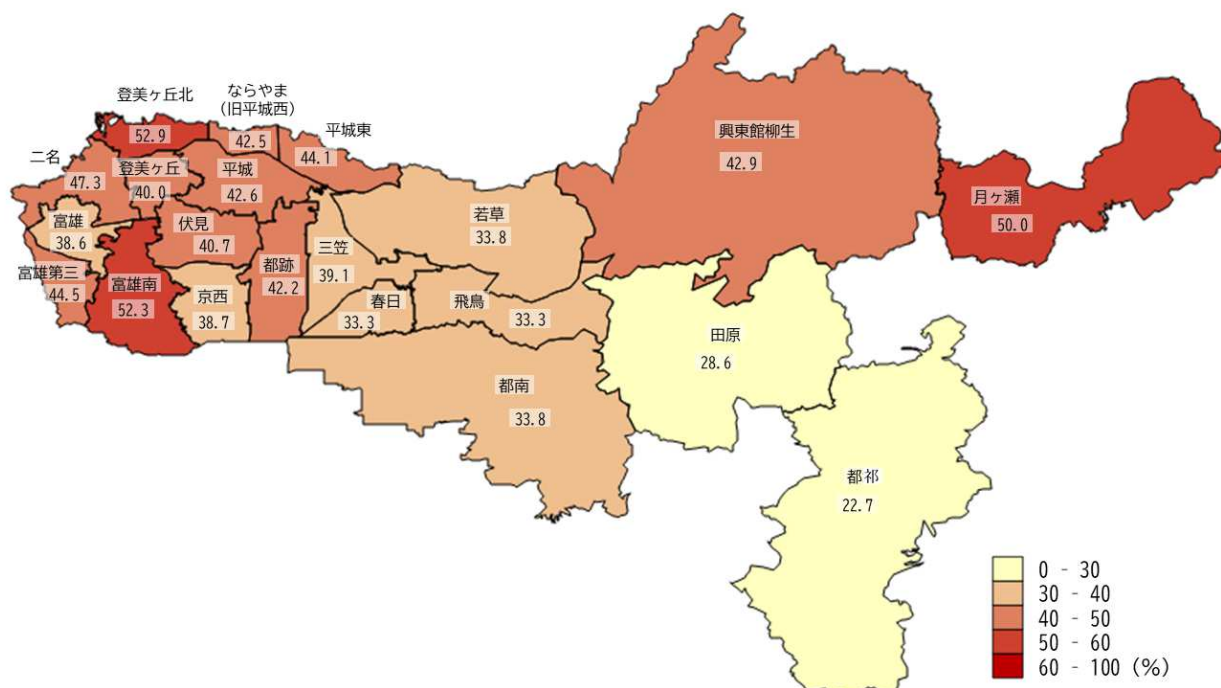
下図は居住地域別の「満足」+「どちらかといえば満足」と回答した割合です。富雄第三が83.3%と最も高くなっており、次いでならやま（旧平城西）と興東館柳生で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

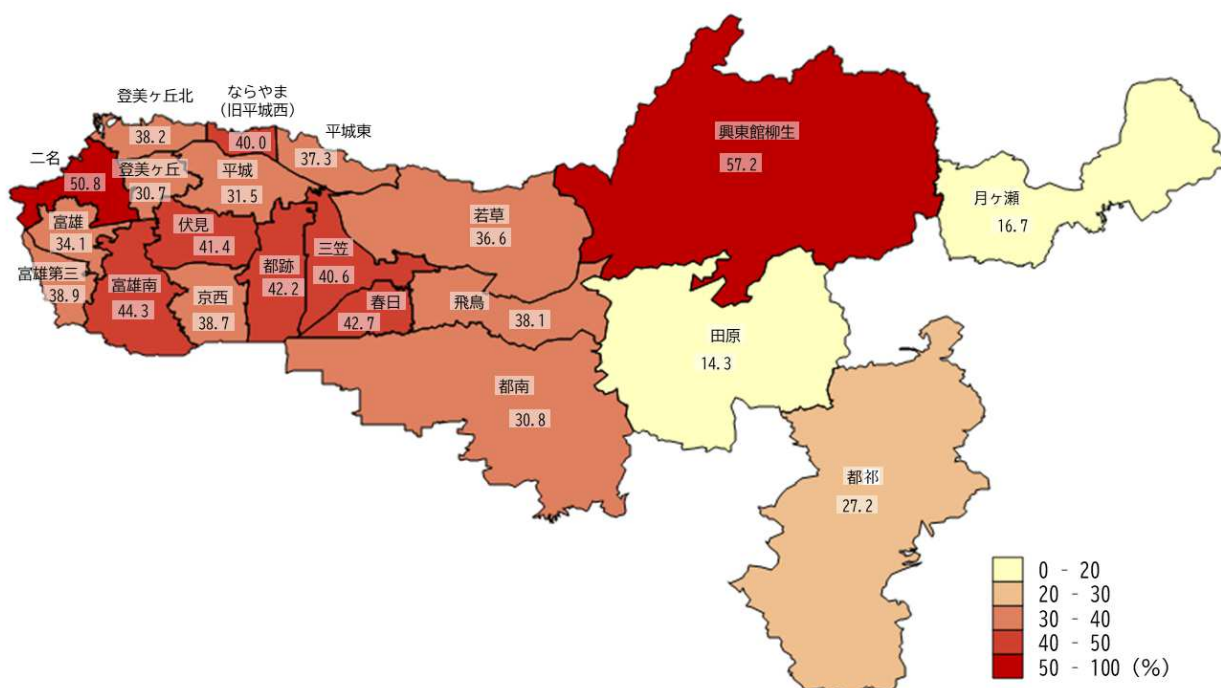
③収入や生活費のこと

下図は居住地域別の「満足」＋「どちらかといえば満足」と回答した割合です。登美ヶ丘北が52.9%と最も高くなっており、次いで富雄南と月ヶ瀬で高くなっています。



④仕事や学校のこと

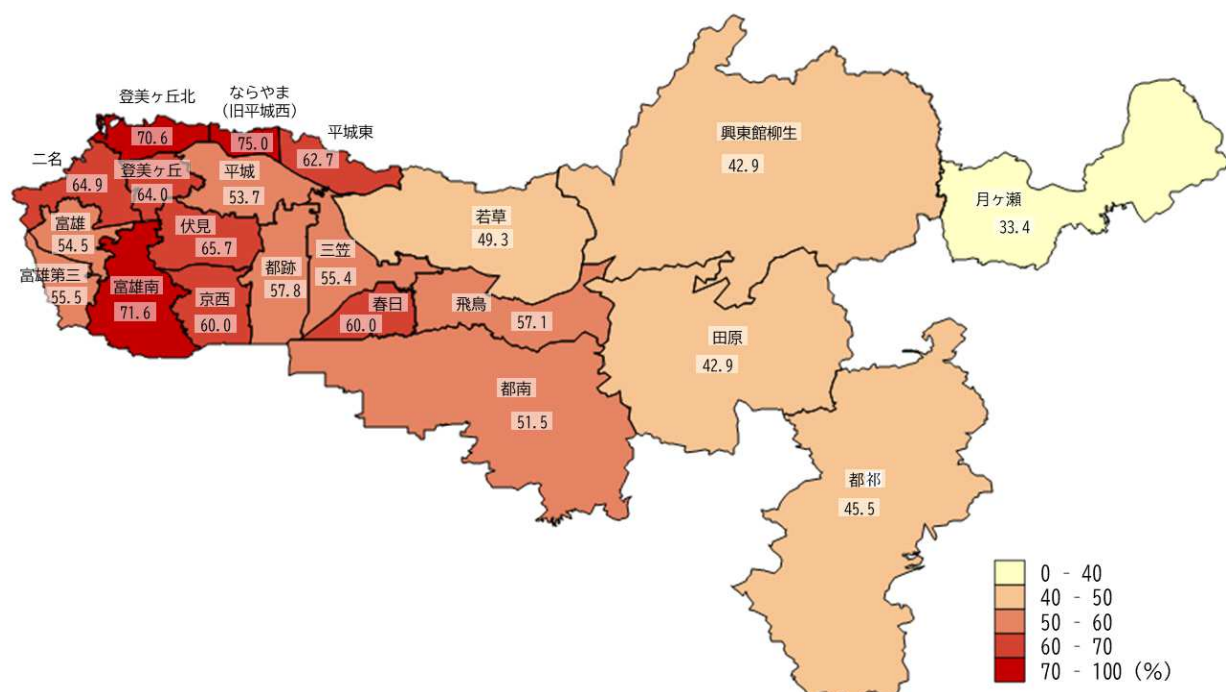
下図は居住地域別の「満足」＋「どちらかといえば満足」と回答した割合です。興東館柳生が57.2%と最も高くなっており、次いで二名と富雄南で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

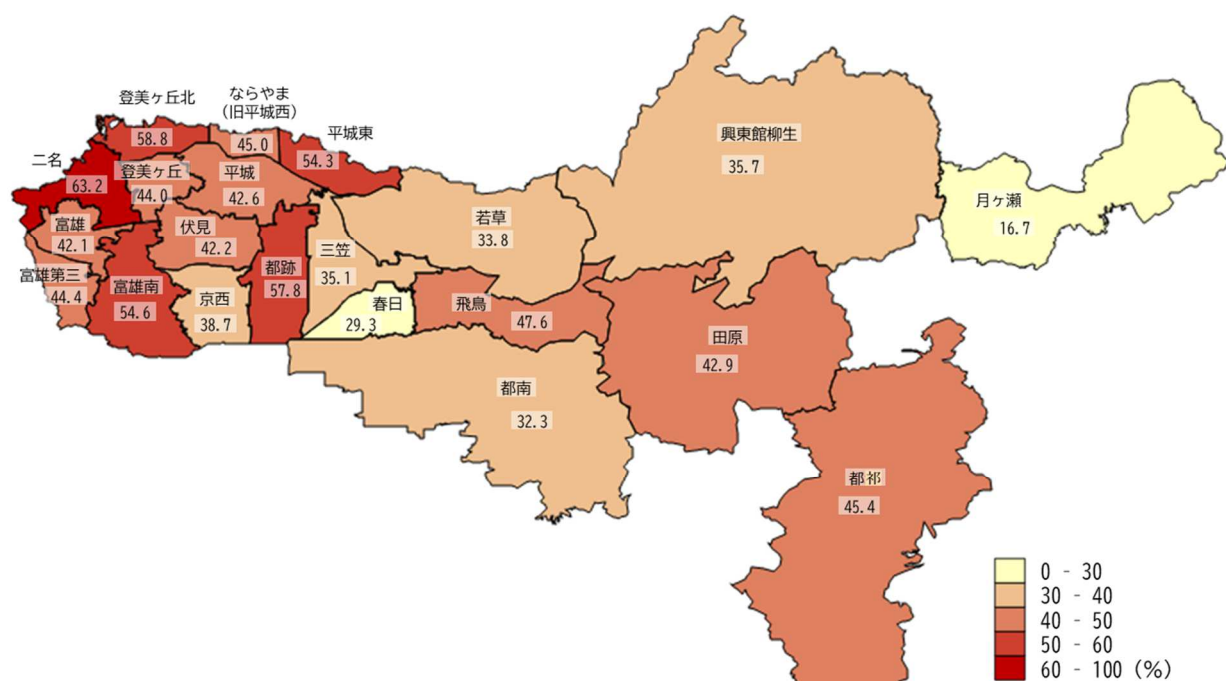
⑤家族の生活のこと

下図は居住地域別の「満足」＋「どちらかといえば満足」と回答した割合です。ならやま（旧平城西）が75.0%と最も高くなっており、次いで富雄南と登美ヶ丘北で高くなっています。



⑥子どもの成長や教育のこと

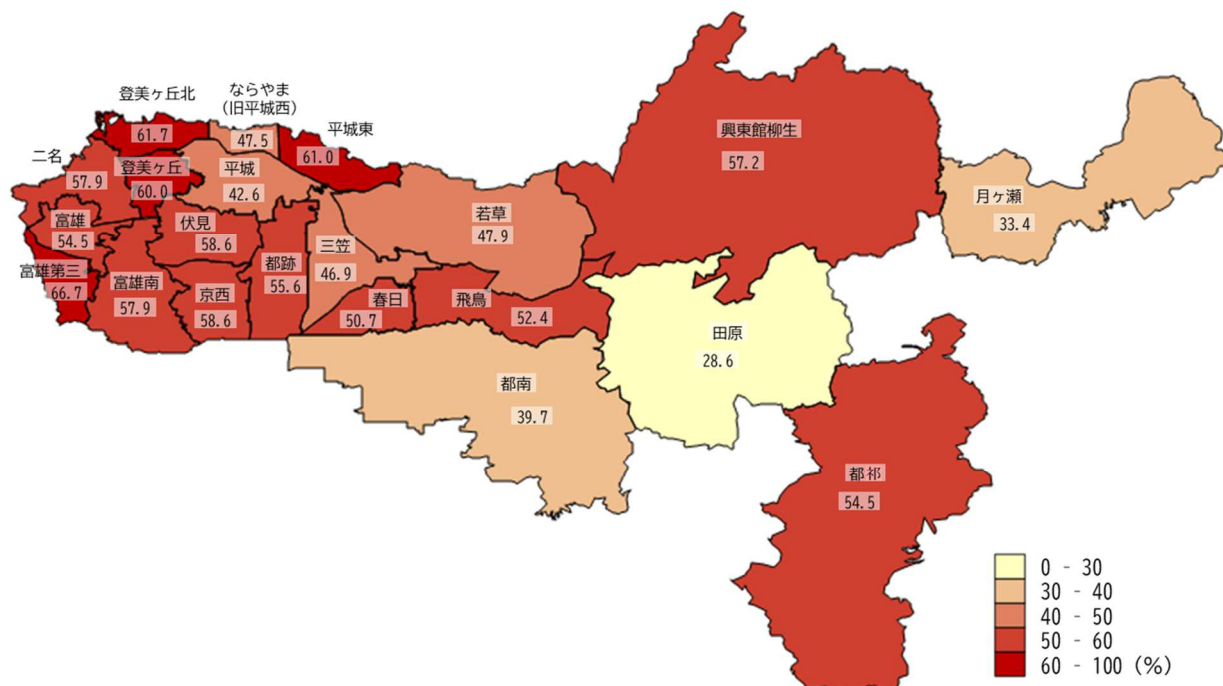
下図は居住地域別の「満足」＋「どちらかといえば満足」と回答した割合です。二名が63.2%と最も高くなっており、次いで登美ヶ丘北と都跡で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

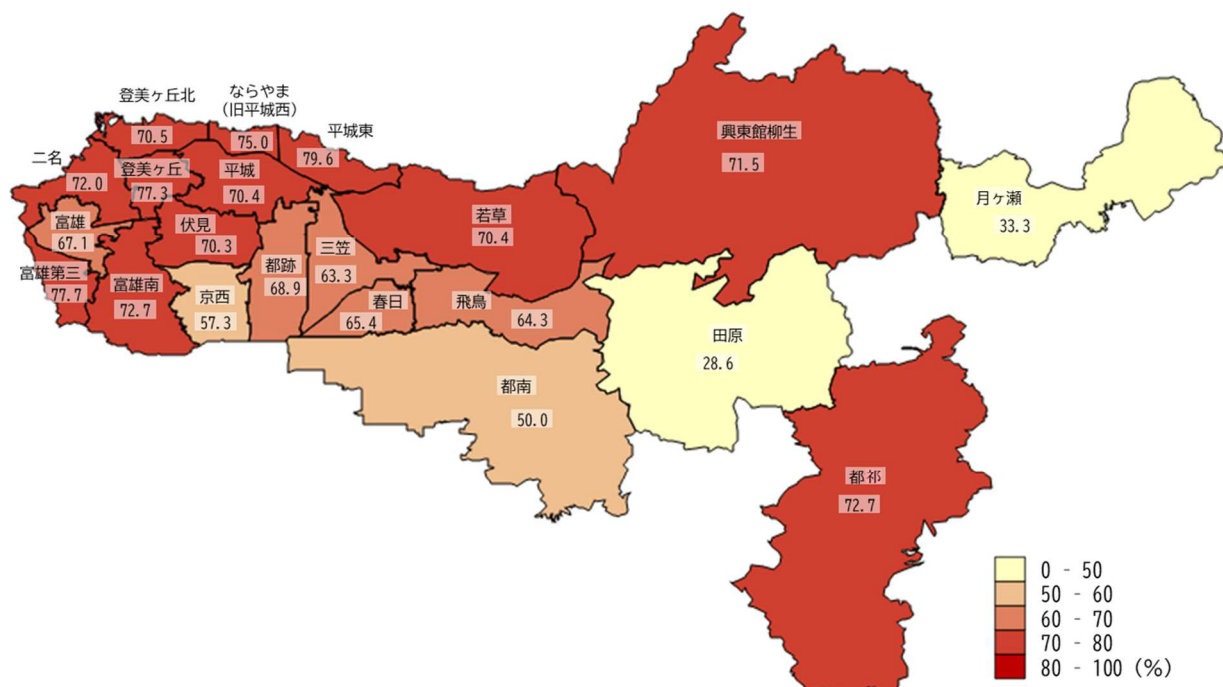
⑦友人や近隣とのこと

下図は居住地域別の「満足」+「どちらかといえば満足」と回答した割合です。富雄第三が 66.7%と最も高くなっており、次いで登美ヶ丘北と平城東で高くなっています。



⑧治安のこと

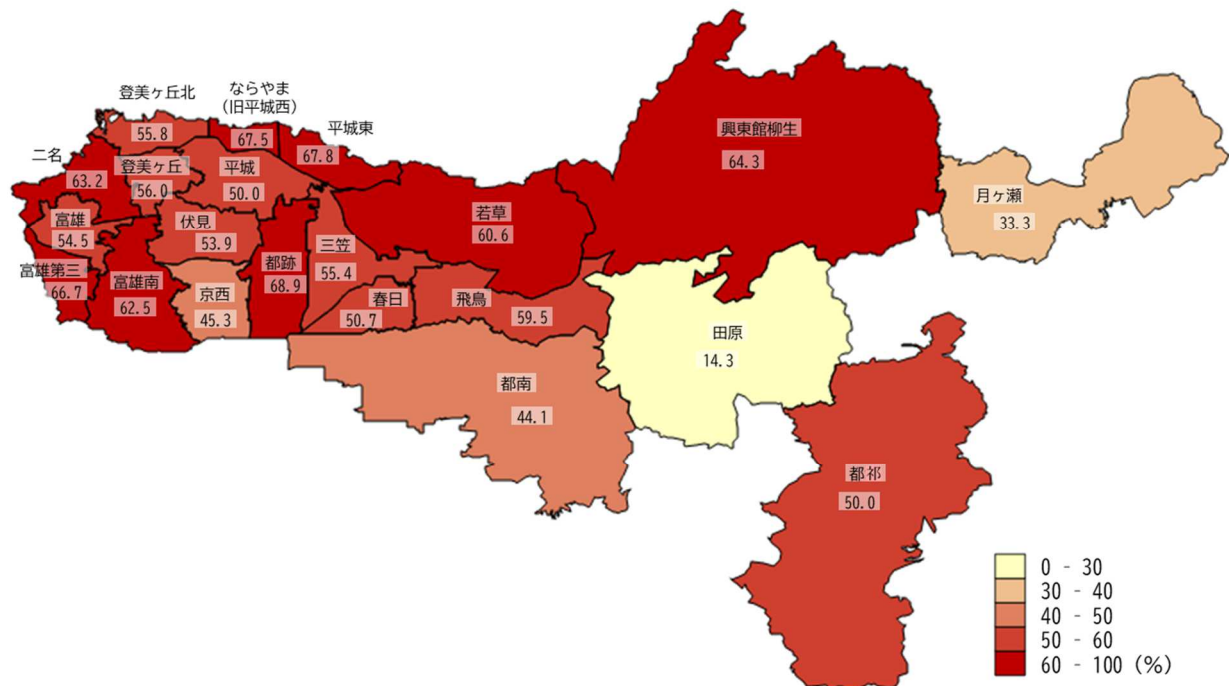
下図は居住地域別の「満足」+「どちらかといえば満足」と回答した割合です。平城東が 79.6%と最も高くなっており、次いで富雄第三と登美ヶ丘で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

⑨災害や防災のこと

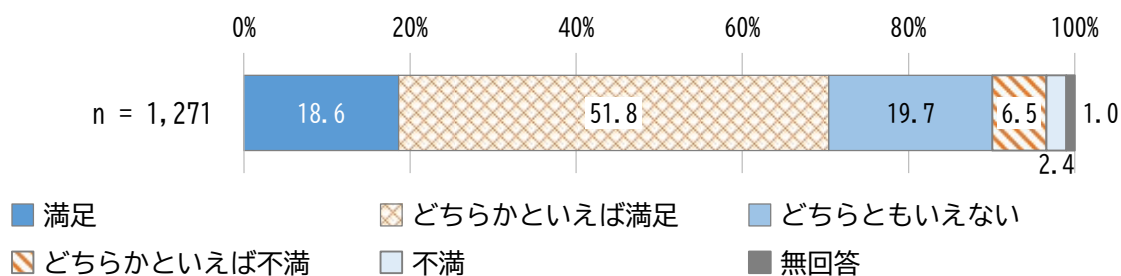
下図は居住地域別の「満足」＋「どちらかといえば満足」と回答した割合です。都跡が 68.9%と最も高くなっており、次いで平城東とならやま（旧平城西）で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

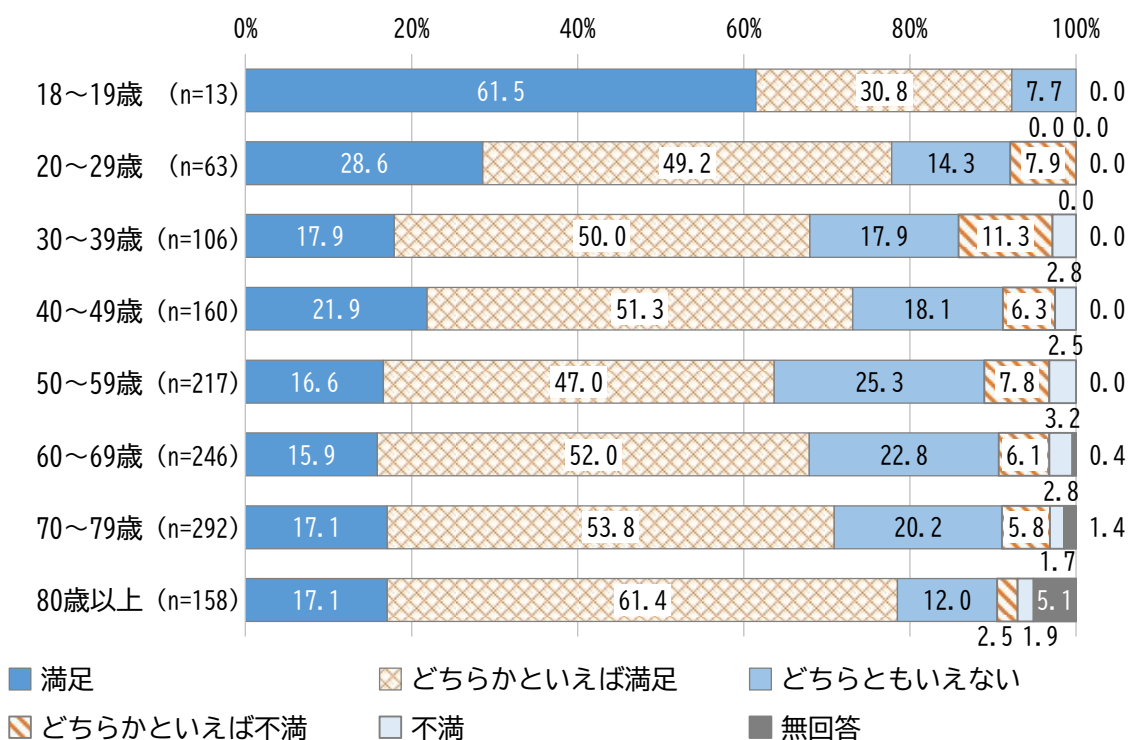
問6 あなたは、今の生活全般に満足していますか。(〇は1つ)

今の生活に満足しているかについて、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が70.4%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

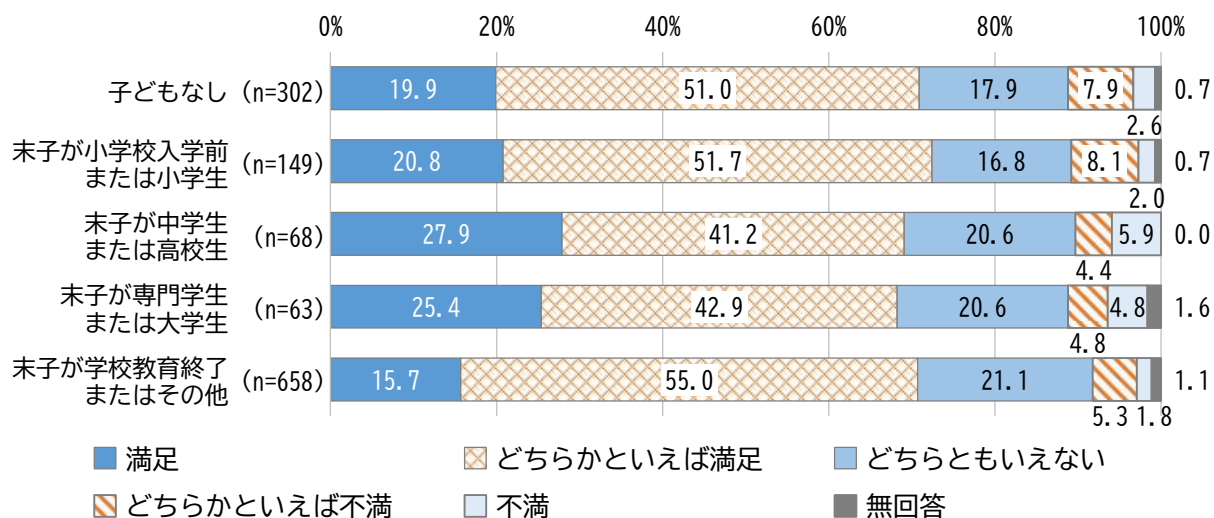
年齢別では、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は、いずれの年齢でも6～7割台ですが、80歳以上で78.5%と最も高く、50～59歳で63.6%と最も低くなっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

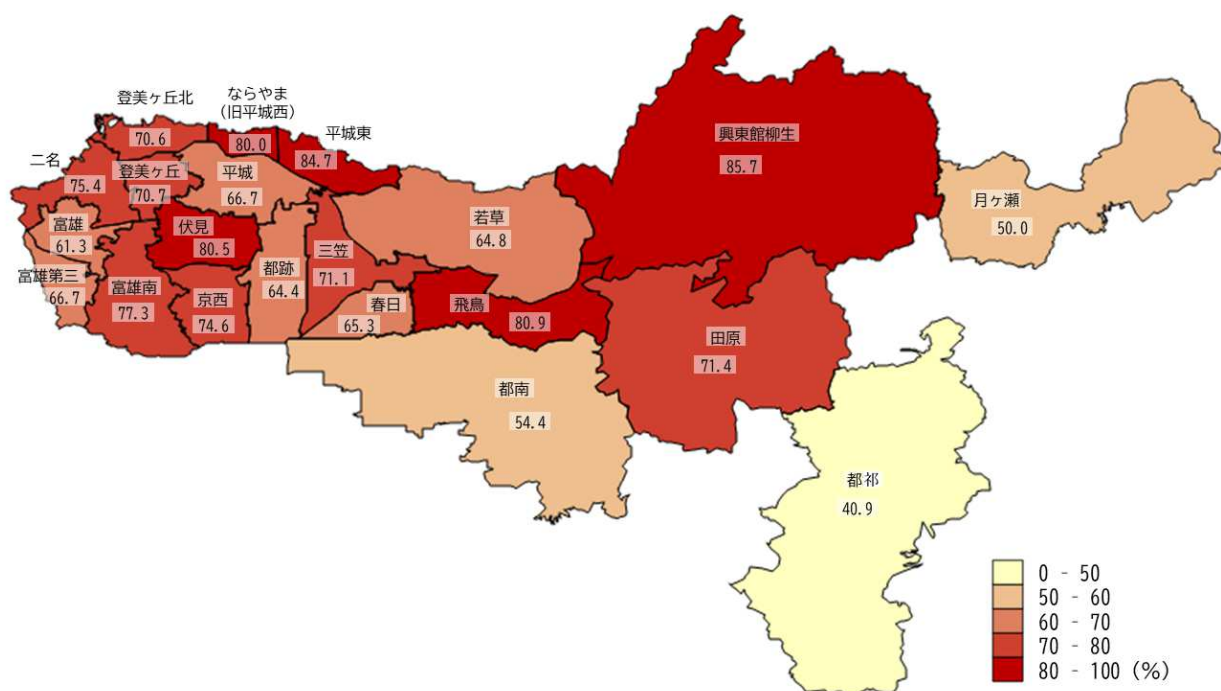
【ライフステージ別】

ライフステージ別では、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は、いずれも7割前後となっていますが、「満足」は末子が中学生または高校生で27.9%と最も高くなっています。



【居住地域（中学校区）別】

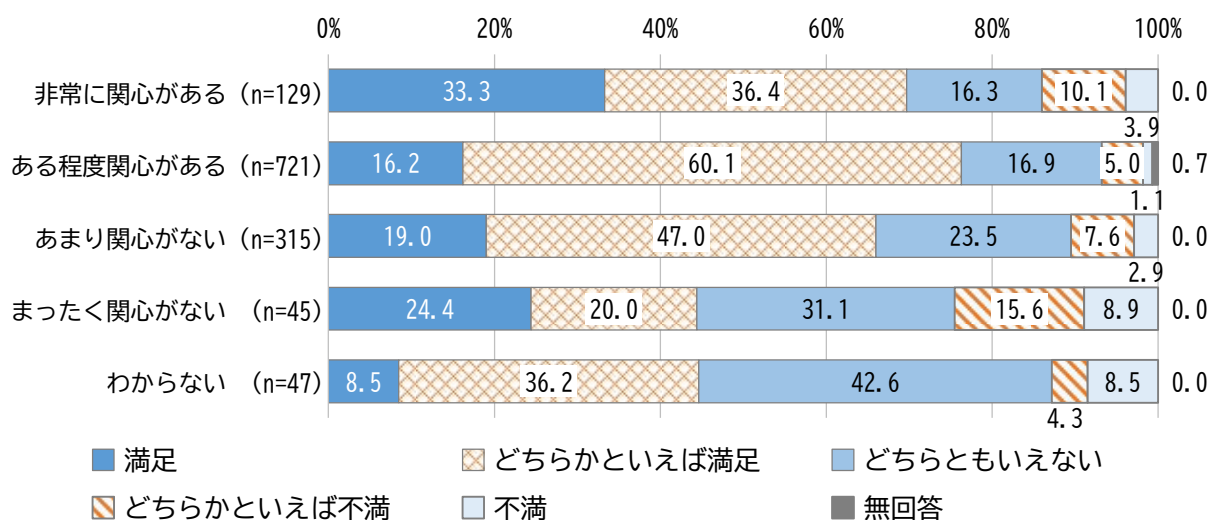
下図は居住地域別の「満足」＋「どちらかといえば満足」と回答した割合です。興東館柳生が85.7%と最も高くなっており、次いで平城東と飛鳥で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

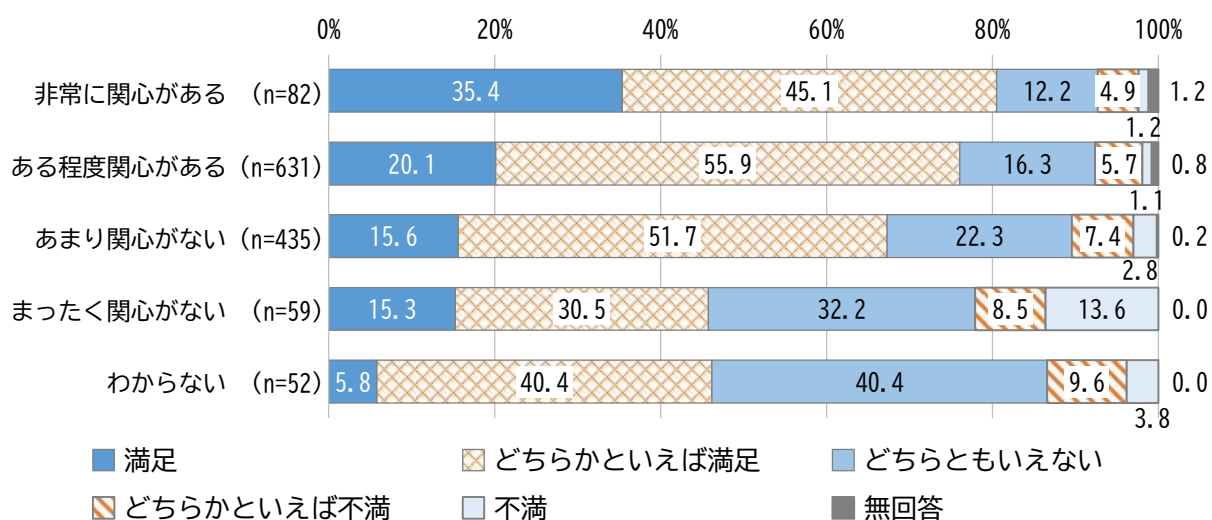
【市政への関心別】

市政への関心別では、「満足」と「どちらかといえば満足」の合計は、ある程度関心があるで76.3%と最も高くなっており、まったく関心がないで44.4%と最も低くなっています。



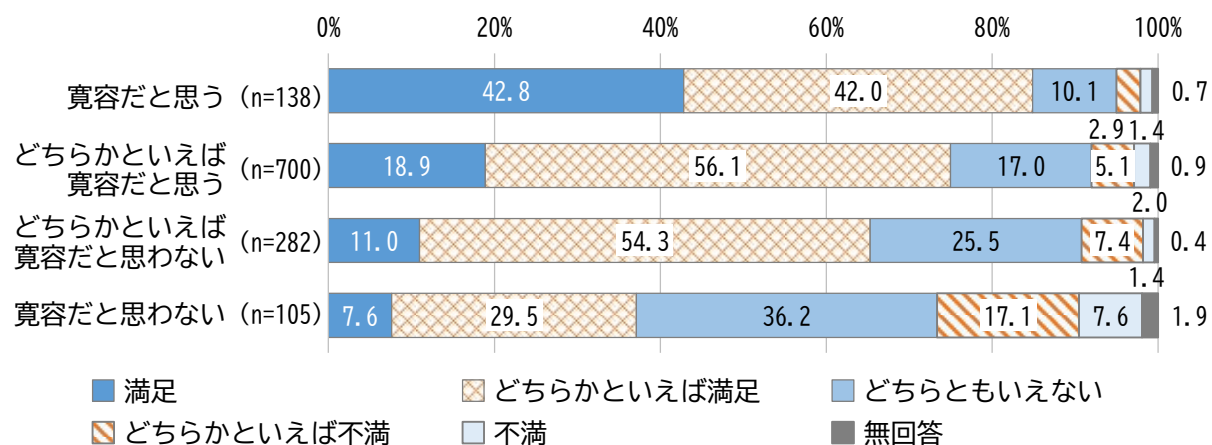
【まちづくりの取組への関心別】

まちづくりの取組への関心別では、関心がある層ほど「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が高くなっており、非常に関心があるで80.5%、まったく関心がないで45.8%となっています。



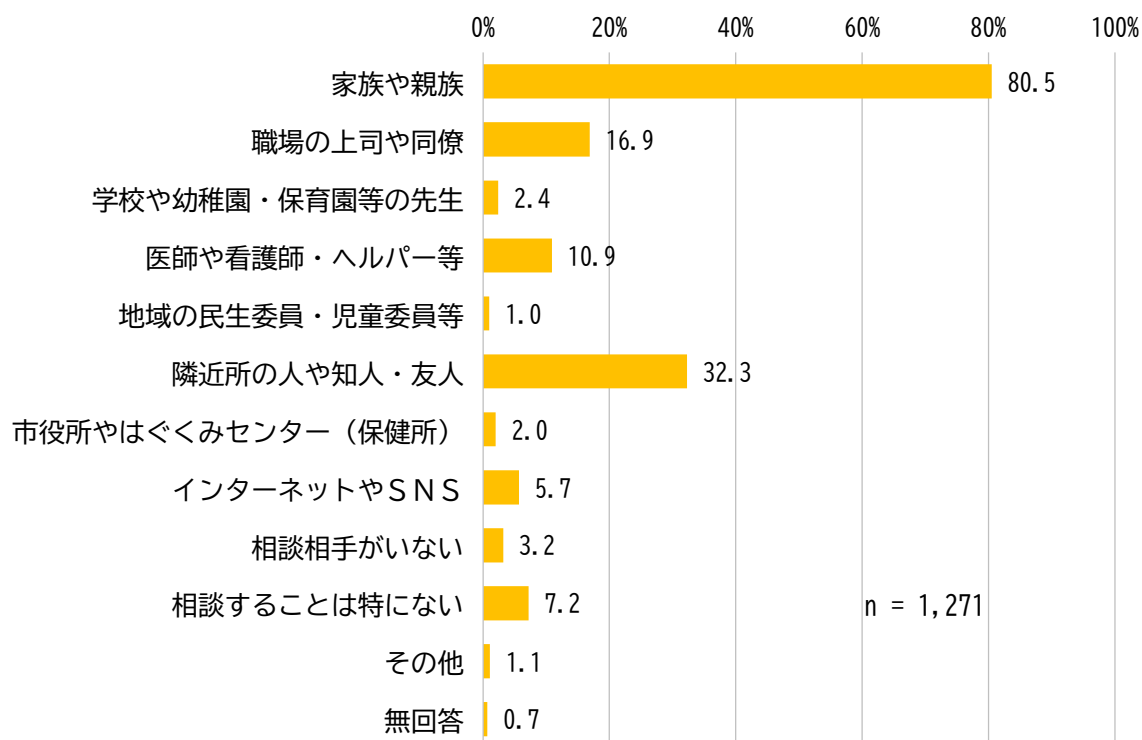
【地域の寛容さ別】

地域の寛容さ別では、寛容だと思う層ほど「満足」と「どちらかといえば満足」の合計が高くなっており、寛容だと思うで84.8%、寛容だと思わないで37.1%となっています。



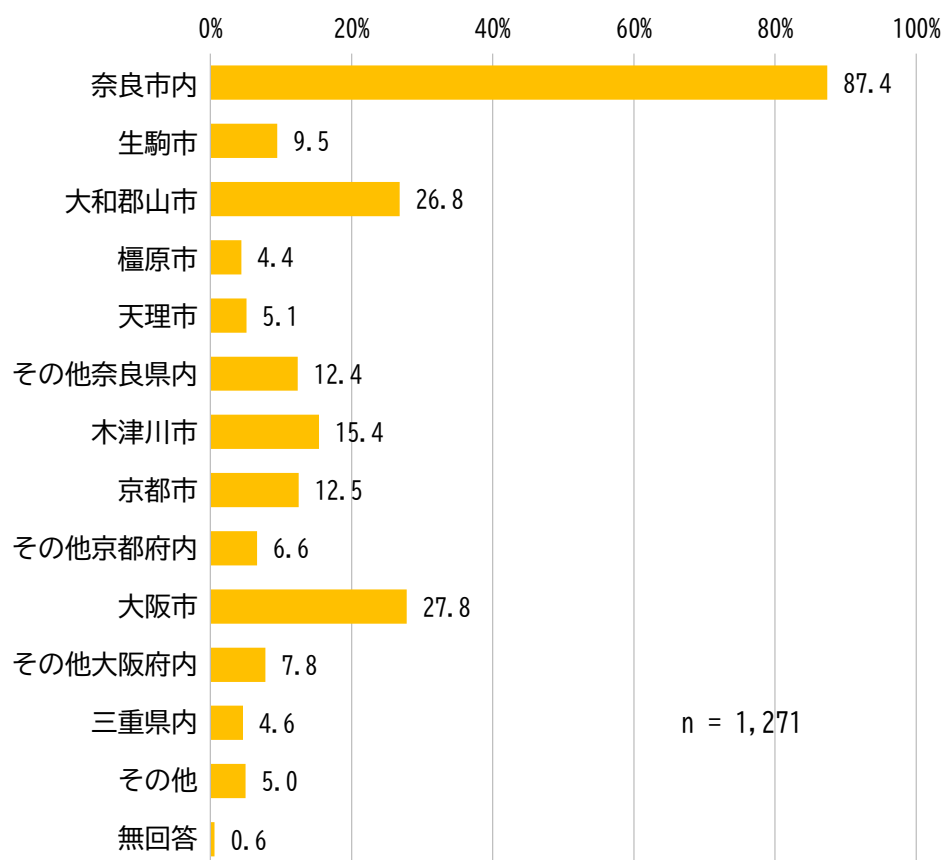
問7 あなたは、相談ごとがあるとき、どなたに相談していますか。
(あてはまるものすべてに○)

相談ごとがあるときの相談相手について、「家族や親族」が80.5%と最も高く、次いで「隣近所の人や知人・友人」が32.3%となっています。



問8 あなたが休日の余暇（買い物やレジャー等）を過ごすのに普段よく行く場所はどこあたりですか。（あてはまるものすべてに○）

休日の余暇を過ごすのにふだんよく行く場所について、「奈良市内」が87.4%と最も高く、次いで「大阪市」が27.8%、「大和郡山市」が26.8%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

年齢別では、いずれの年齢でも「奈良市内」が最も高く、次いで、20～29歳と60～69歳、80歳以上では「大阪市」、30～59歳では「大和郡山市」、70～79歳では「大阪市」と「大和郡山市」が同率となっています。

20～29歳では、「奈良市内」が最も高くなっていますが、71.4%と他の年齢に比べて低めで、「大阪市」が54.0%と半数を超えています。

		奈良市内	生駒市	大和郡山市	橿原市	天理市	その他奈良県内	木津川市	京都市	その他京都府内	大阪市	その他大阪府内	三重県内	その他	無回答
全体	(n=1,271)	87.4	9.5	26.8	4.4	5.1	12.4	15.4	12.5	6.6	27.8	7.8	4.6	5.0	0.6
年齢 (10歳区分)	18～19歳	(n=13)	69.2	-	53.8	15.4	7.7	-	15.4	-	46.2	23.1	7.7	-	-
	20～29歳	(n=63)	71.4	9.5	34.9	12.7	1.6	6.3	6.3	23.8	9.5	54.0	19.0	4.8	1.6
	30～39歳	(n=106)	84.0	10.4	35.8	7.5	6.6	7.5	24.5	15.1	8.5	27.4	13.2	6.6	3.8
	40～49歳	(n=160)	83.8	10.6	36.3	6.9	4.4	8.1	27.5	12.5	6.3	35.0	11.3	5.6	5.0
	50～59歳	(n=217)	86.2	8.3	34.6	5.1	6.9	12.0	17.1	12.0	7.8	29.5	6.5	2.8	6.0
	60～69歳	(n=246)	87.8	10.2	28.5	3.3	5.7	13.0	17.5	13.4	6.9	28.9	6.9	6.9	6.1
	70～79歳	(n=292)	93.8	10.6	19.2	1.4	5.5	15.4	10.6	10.3	7.2	19.2	5.1	3.8	5.1
	80歳以上	(n=158)	91.1	8.2	8.2	2.5	1.9	17.1	5.1	10.8	2.5	20.3	3.8	3.2	5.1

※■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

単位：％

※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

【ライフステージ別】

ライフステージ別では、いずれのライフステージでも「奈良市内」が最も高くなっています。次いで、末子が小学校入学前または小学生、末子が学校教育終了またはその他では「大和郡山市」、その他のライフステージでは「大阪市」となっています。子どもなしでは、「奈良市内」が他のライフステージに比べると低めで、「大阪市」が高めになっています。

		奈良市内	生駒市	大和郡山市	橿原市	天理市	その他奈良県内	木津川市	京都市	その他京都府内	大阪市	その他大阪府内	三重県内	その他	無回答
全体	(n=1,271)	87.4	9.5	26.8	4.4	5.1	12.4	15.4	12.5	6.6	27.8	7.8	4.6	5.0	0.6
ライフ ス テ ー ジ	子どもなし	(n=302)	76.8	6.0	26.8	7.0	5.0	7.0	12.9	17.5	7.3	42.4	11.9	4.3	4.6
	末子が小学校入学前 または小学生	(n=149)	91.3	16.1	41.6	5.4	4.0	9.4	28.9	9.4	7.4	18.8	10.7	5.4	3.4
	末子が中学生 または高校生	(n=68)	86.8	11.8	29.4	2.9	4.4	8.8	22.1	8.8	8.8	30.9	7.4	2.9	7.4
	末子が専門学生 または大学生	(n=63)	90.5	9.5	25.4	6.3	3.2	14.3	19.0	12.7	7.9	36.5	6.3	6.3	3.2
	末子が学校教育終了 またはその他	(n=658)	92.1	9.7	24.3	3.2	5.5	15.5	13.1	11.6	6.1	22.3	5.8	4.4	5.6

※■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

単位：％

【通勤先別】

通勤先別では、いずれの通勤先でも「奈良市内」が最も高くなっています。次いで、奈良市内、奈良市以外の奈良県内、その他県外では「大和郡山市」、大阪府では「大阪市」、京都府では「大阪市」「木津川市」となっています。

		奈良市内	生駒市	大和郡山市	橿原市	天理市	その他奈良県内	木津川市	京都市	その他京都府内	大阪市	その他大阪府内	三重県内	その他	無回答
全体 (n=1,271)		87.4	9.5	26.8	4.4	5.1	12.4	15.4	12.5	6.6	27.8	7.8	4.6	5.0	0.6
通勤先	奈良市内 (n=278)	88.5	9.0	30.2	5.8	6.8	10.8	18.3	14.0	6.1	24.8	9.4	5.4	5.4	0.4
	奈良市以外の奈良県内 (n=76)	75.0	5.3	42.1	11.8	17.1	15.8	25.0	15.8	6.6	27.6	17.1	2.6	2.6	-
	大阪府 (n=143)	79.7	16.1	30.1	2.8	0.7	12.6	11.9	7.7	4.9	50.3	9.8	5.6	6.3	-
	京都府 (n=49)	85.7	4.1	26.5	6.1	2.0	8.2	30.6	24.5	8.2	30.6	4.1	4.1	2.0	-
	その他県外 (n=16)	75.0	12.5	43.8	18.8	18.8	31.3	18.8	6.3	12.5	12.5	12.5	18.8	12.5	-

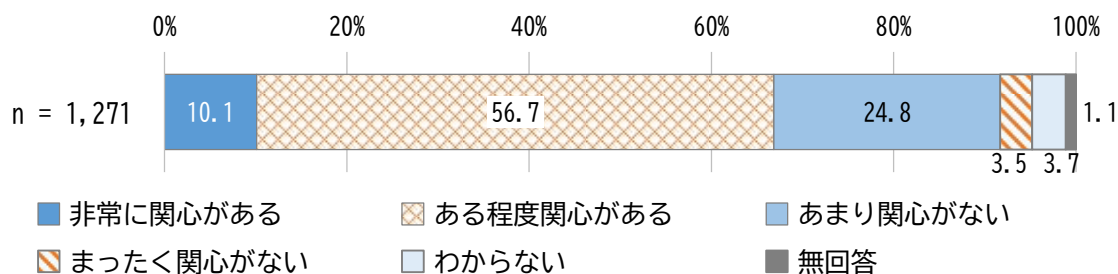
※ ■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

単位：％

3 市政について

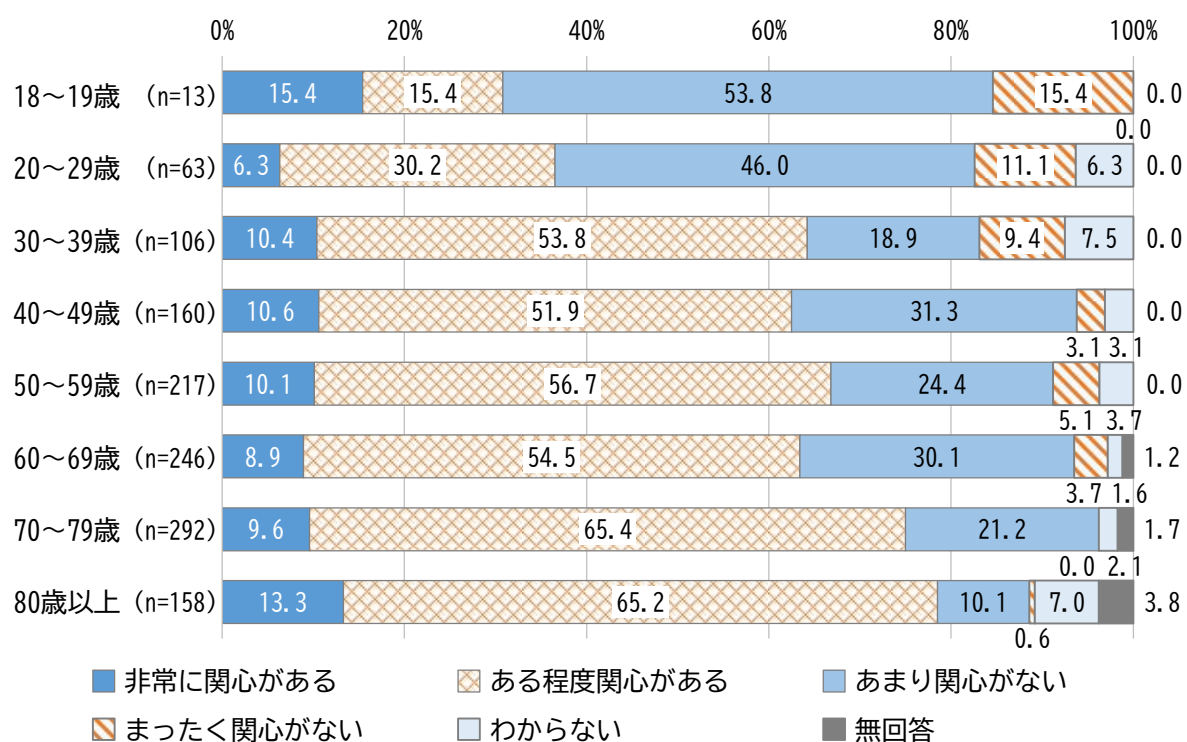
問9 あなたは、市政に関心がありますか。(○は1つ)

市政に関心があるかについて、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計が 66.8% となっています。



【年齢（10歳区分）別】

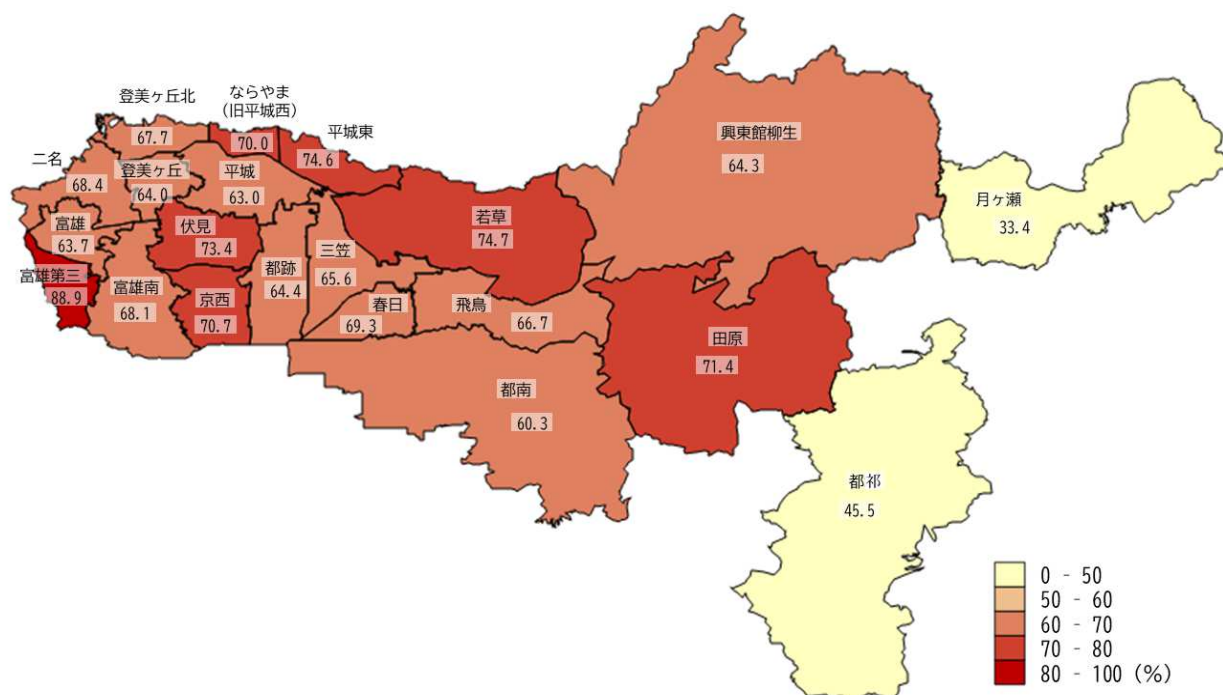
年齢別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計は、20～29歳では 36.5% と低くなっていますが、30～69歳では6割台、70歳以上では7割台となっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

【居住地域（中学校区）別】

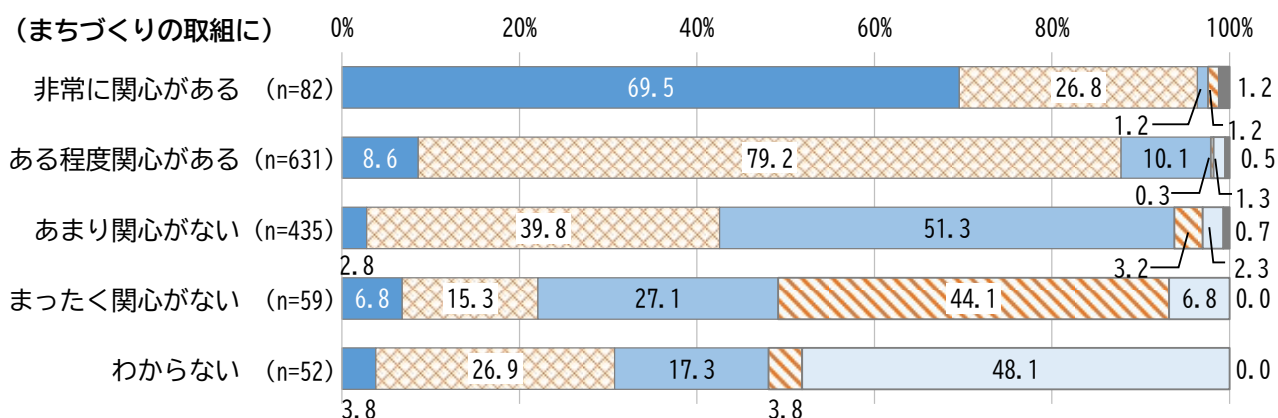
下図は居住地域別の「非常に関心がある」+「ある程度関心がある」と回答した割合です。富雄第三が88.9%と最も高くなっており、次いで若草と平城東で高くなっています。



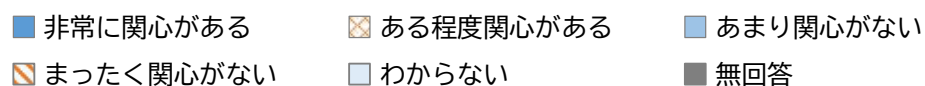
※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

【まちづくりの取組への関心別】

まちづくりの取組への関心別では、関心がある層ほど「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計が高くなっており、非常に関心があるで96.3%、まったく関心がないで22.1%となっています。

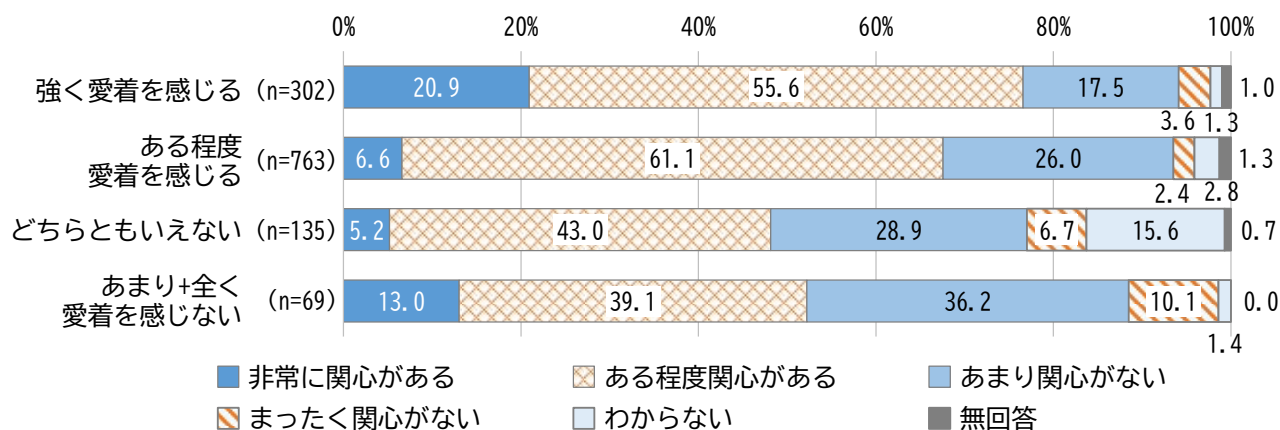


(市政に)



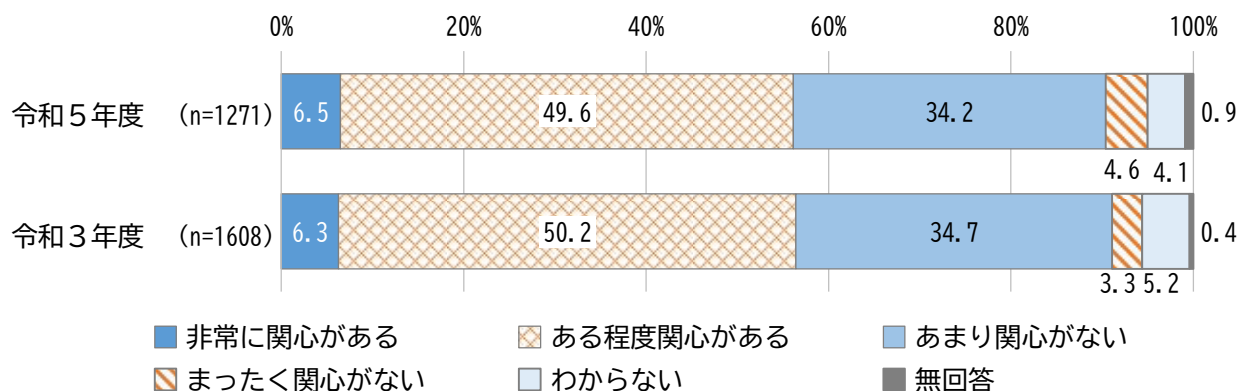
【奈良市への愛着別】

奈良市への愛着別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計は、強く愛着を感じるで 76.5%と最も高くなっており、どちらともいえないで 48.2%と最も低くなっています。



問10 あなたは、地域や市内で行われているまちづくりの取組^(※)に関心がありますか。
(○は1つ)

まちづくりの取組に関心があるかについて、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計が 56.1%で、令和3年度調査と同水準となっています。

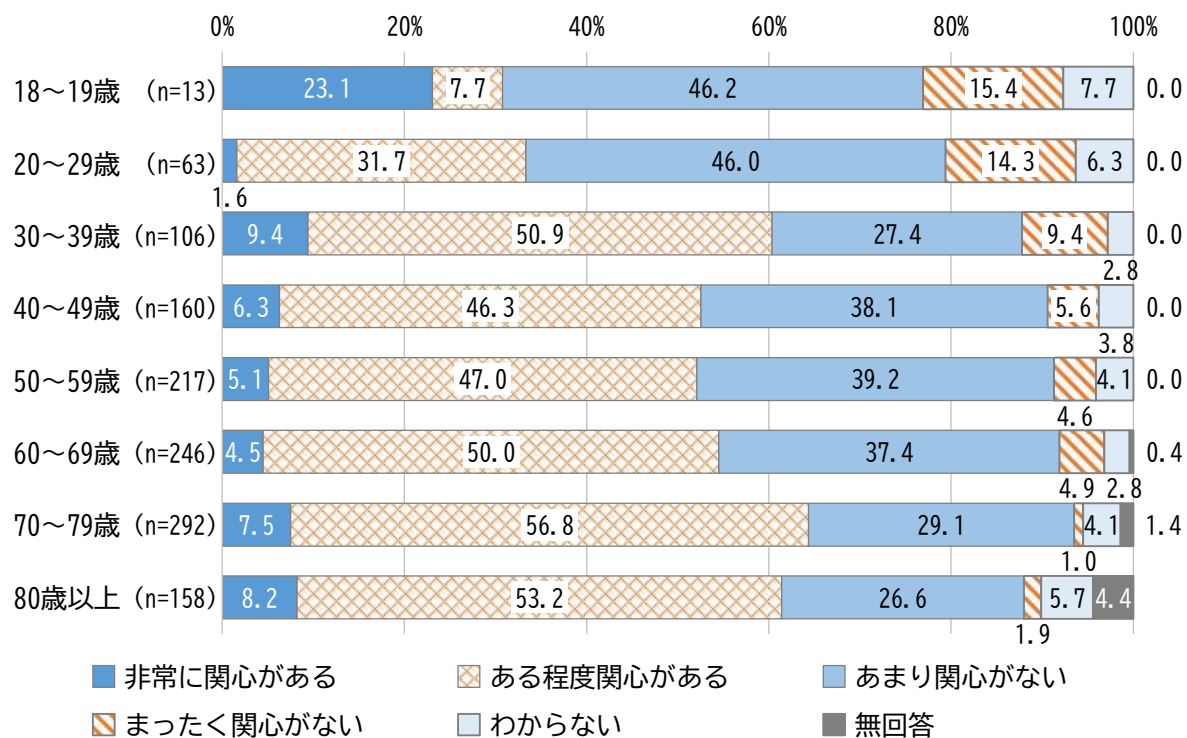


※まちづくりの取組

「地域おこしのイベント活動」「環境美化活動」「祭り等の伝統行事」「子ども会等の教育活動」「避難訓練等の防災活動」「懇親会、親睦会等コミュニティ活動」「交通安全に関する活動」「音楽・スポーツ等のサークル活動」「乳幼児保育に関する子育て活動」「高齢者、障がい者の支援等の福祉活動」「空き巣、放火防止等の防犯活動」「地域の活性化に関する活動」「自治会・町内会活動」等

【年齢（10 歳区分）別】

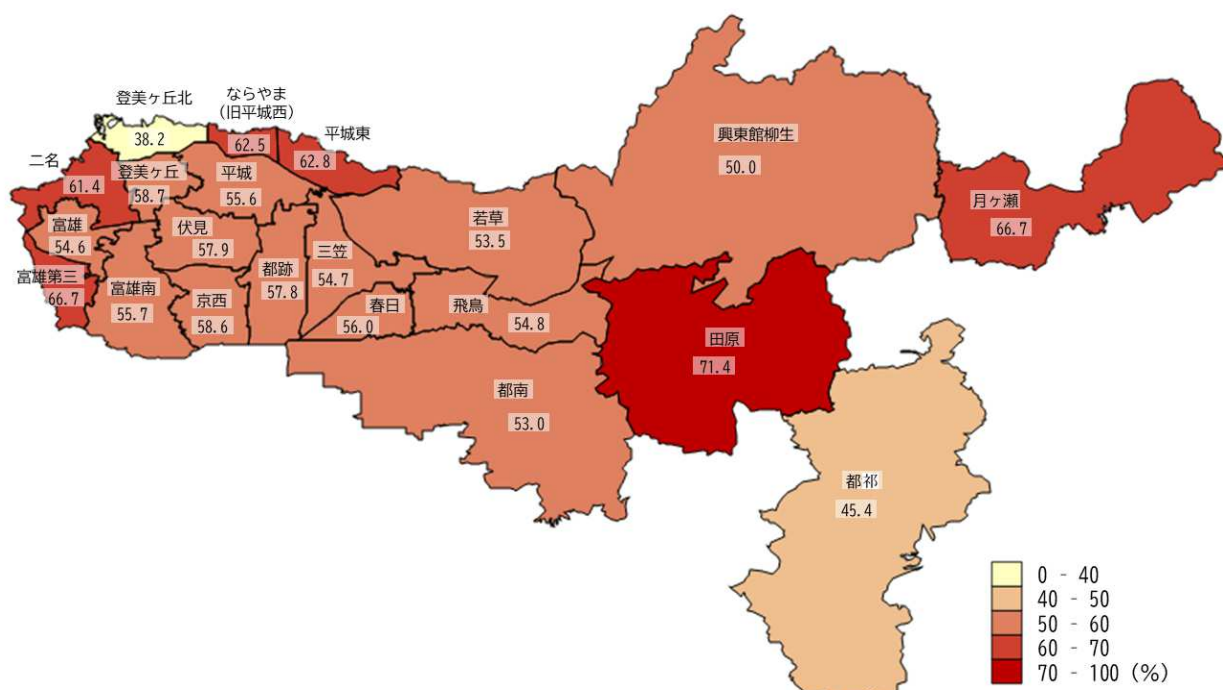
年齢別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計は、20～29 歳では 33.3%と低くなっていますが、40～69 歳では 5 割台、30～39 歳と 70 歳以上では 6 割台となっています。



※18～19 歳はサンプル数が少ないため参考値

【居住地域（中学校区）別】

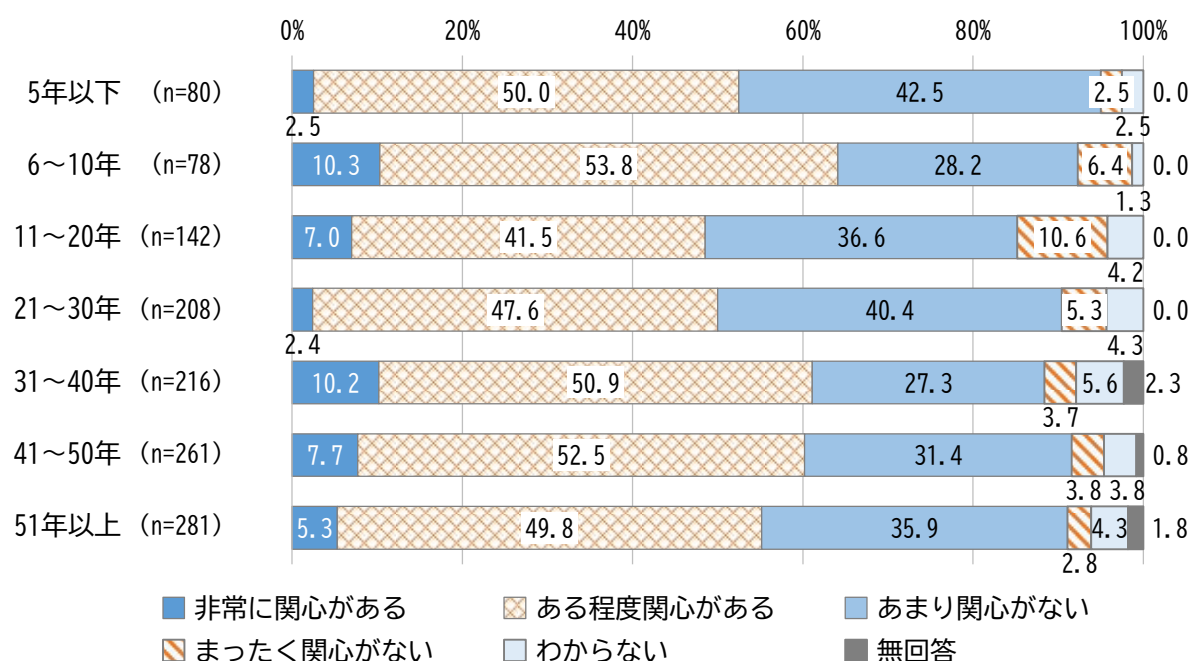
下図は居住地域別の「非常に関心がある」+「ある程度関心がある」と回答した割合です。田原が 71.4%と最も高くなっており、次いで富雄第三と月ヶ瀬で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

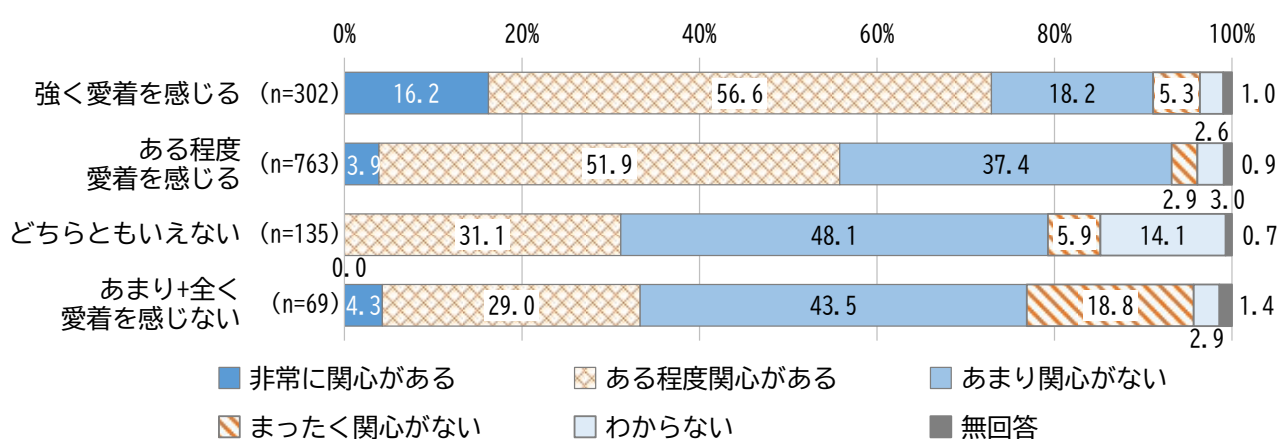
【居住年数別】

居住年数別では、「非常に関心がある」と「ある程度関心がある」の合計が、6～10年で64.1%と最も高くなっており、11～20年で48.5%と最も低くなっています。また、31～40年と41～50年も6割台で高くなっています。



【奈良市への愛着別】

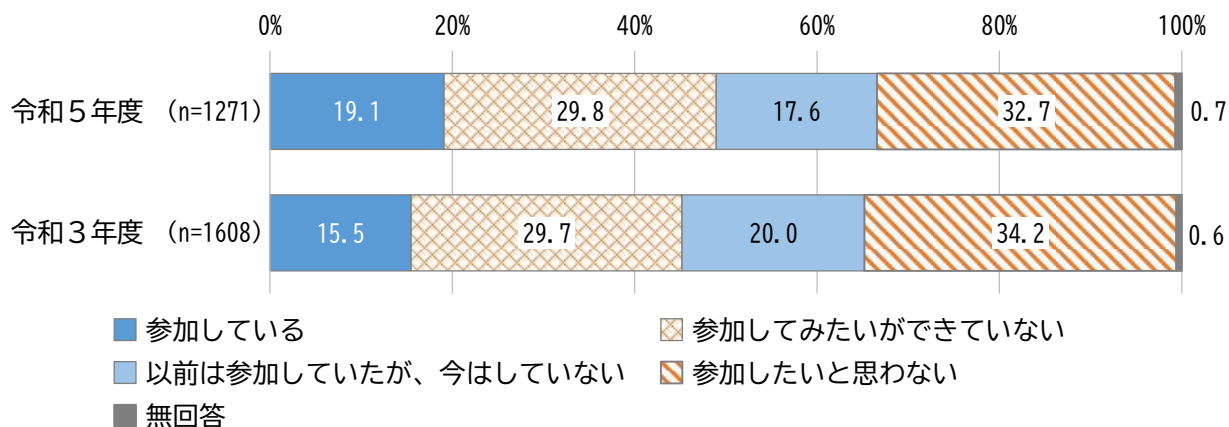
奈良市への愛着別では、強く愛着を感じるで72.8%と最も高く、次いで、ある程度愛着を感じるで55.8%となっています。どちらともいえないとあまり+全く愛着を感じないでは3割台で低くなっています。



問11 あなたは、地域や市内で行われているまちづくりの取組に参加していますか。
(○は1つ)

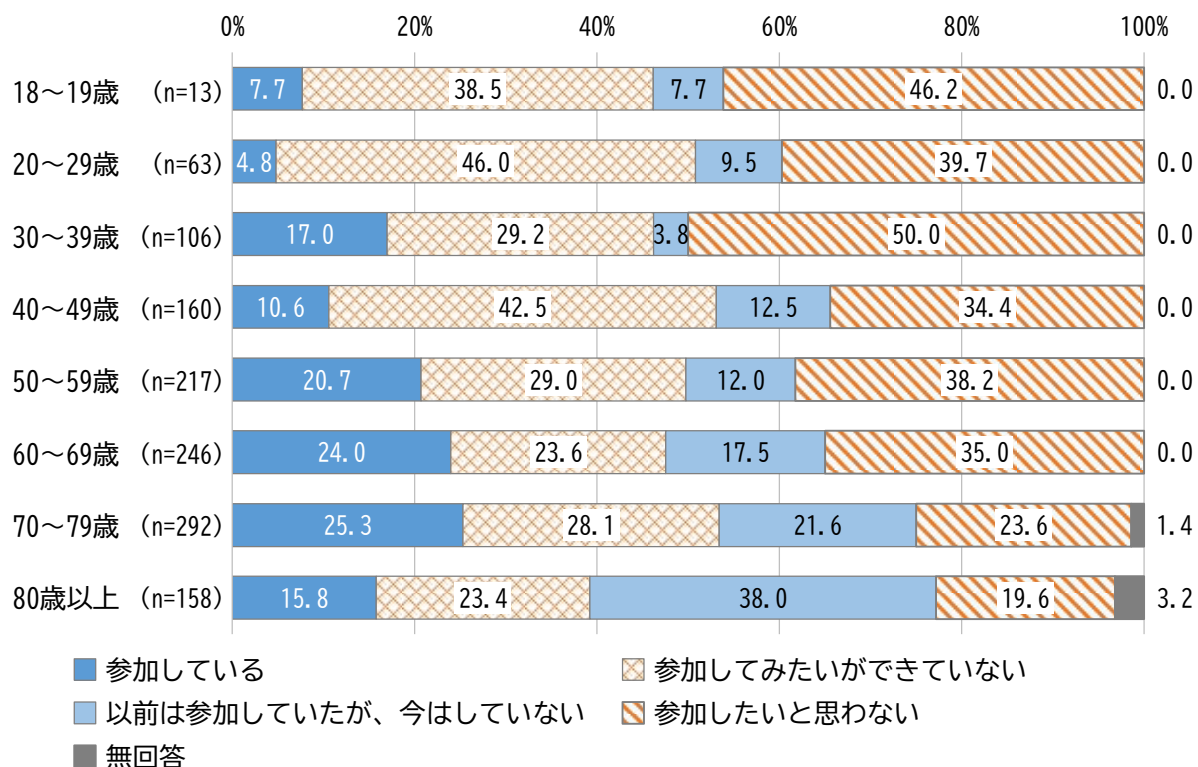
お住まいの地域や市内で行われているまちづくりの取組に参加しているかについて、「参加したいと思わない」が32.7%と最も高く、次いで「参加してみたいができていない」が29.8%となっています。

令和3年度調査と比べると、「参加している」が増加しています。



【年齢（10歳区分）別】

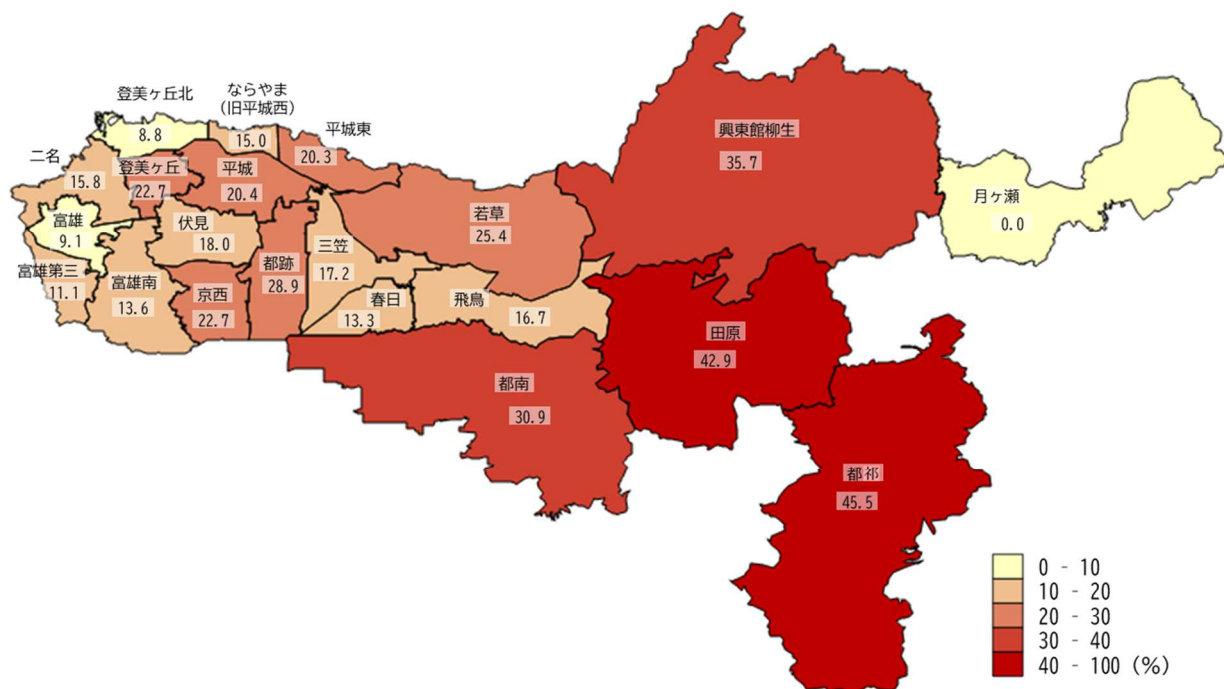
年齢別では、20～29歳、40～49歳、70～79歳では「参加してみたいができていない」が最も高く、特に20～29歳と40～49歳では4割台と高くなっています。30～39歳、50～69歳では「参加したいと思わない」が最も高く、特に30～39歳で50.0%と高くなっています。80歳以上では「以前は参加していたが、今はしていない」が38.0%で最も高くなっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

【居住地域（中学校区）別】

下図は居住地域別の「参加している」と回答した割合です。都祁が 45.5%と最も高くなっており、次いで田原と興東館柳生が高くなっています。

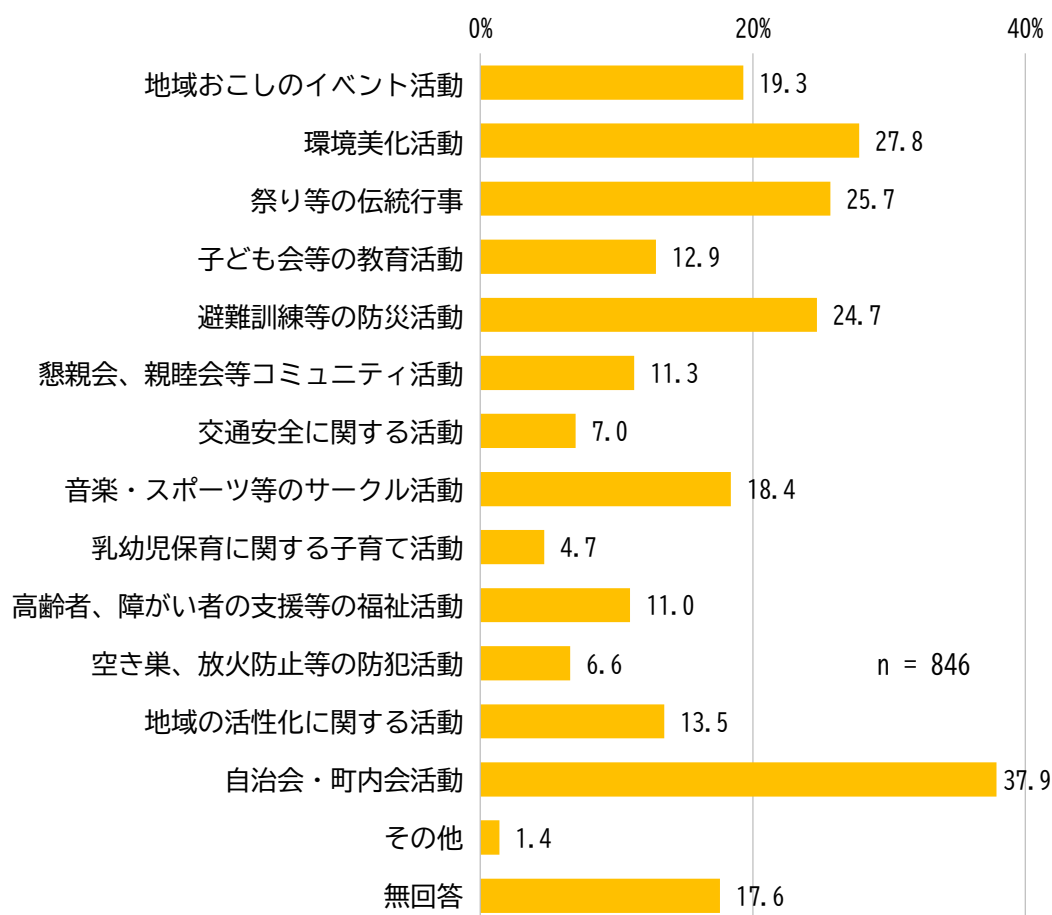


※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

問１２ 問１１で「1. 参加している」～「3. 以前は参加していたが、今はしていない」を選択した方のみにお聞きします。

あなたが参加している（又は参加していた）まちづくりの取組や、今後参加してみたいまちづくりの取組は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

参加しているまちづくりの取組や、今後参加してみたいまちづくりの取組は何かについて、「自治会・町内会活動」が 37.9%と最も高く、次いで「環境美化活動」が 27.8%、「祭り等の伝統行事」が 25.7%、「避難訓練等の防災活動」が 24.7%となっています。



【まちづくりの取組への参加状況別】

まちづくりの取組への参加状況別では、参加している人は「自治会・町内会活動」が 68.3%と高く、「避難訓練等の防災活動」「環境美化活動」が4割弱が続いています。参加してみたいができていない人は「無回答」が 35.9%と最も高く、「祭り等の伝統行事」「環境美化活動」が約2割となっています。以前は参加していたが、今はしていない人は「自治会・町内会活動」が 49.1%で最も高く、「避難訓練等の防災活動」「環境美化活動」「祭り等の伝統行事」が3割弱が続いています。

			地域おこしのイベント活動	環境美化活動	祭り等の伝統行事	子ども会等の教育活動	避難訓練等の防災活動	懇親会、親睦会等コミュニケーション活動	交通安全に関する活動	音楽・スポーツ等のサークル活動	乳幼児保育に関する子育て活動	高齢者、障がい者の支援等の福祉活動	空襲、放火防止等の防犯活動	地域の活性化に関する活動	自治会・町内会活動	その他	無回答	
全体			(n=846)	19.3	27.8	25.7	12.9	24.7	11.3	7.0	18.4	4.7	11.0	6.6	13.5	37.9	1.4	17.6
まちづくりの取組への参加状況	参加している	(n=243)	25.9	38.3	29.2	13.6	39.1	12.8	5.8	21.0	5.3	14.0	5.3	17.3	68.3	1.2	2.5	
	参加してみたいができていない	(n=379)	15.8	20.6	21.6	10.8	12.9	10.8	5.5	16.9	5.0	9.2	5.3	12.1	11.9	1.3	35.9	
	以前は参加していたが、今はしていない	(n=224)	17.9	28.6	28.6	15.6	29.0	10.7	10.7	18.3	3.6	10.7	10.3	11.6	49.1	1.8	3.1	

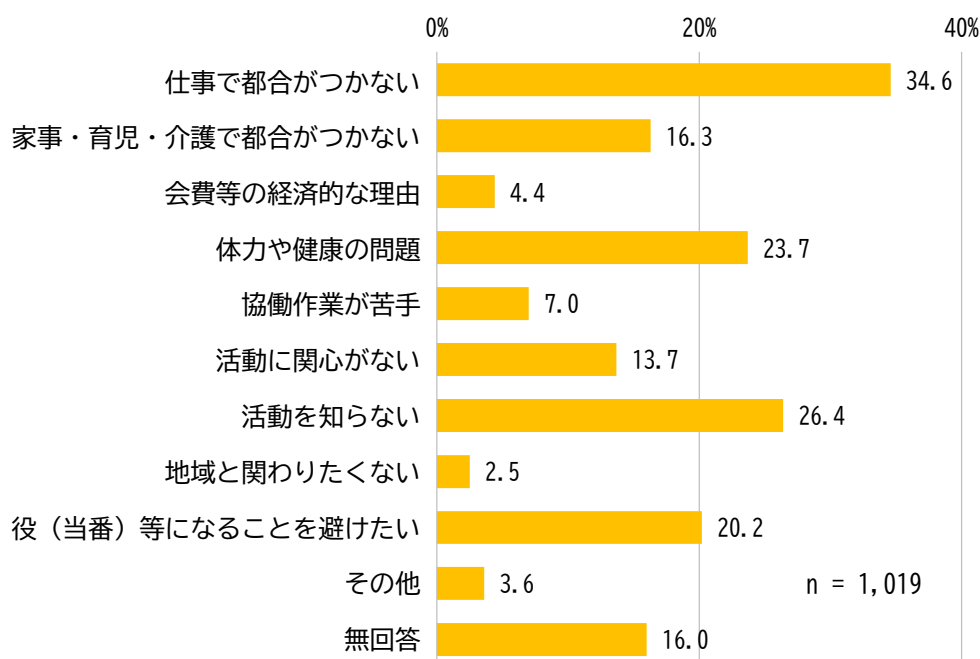
※■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

単位：％

問13 問11で「2. 参加してみたいができていない」～「4. 参加したいと思わない」を選択した方のみにお聞きします。

あなたがまちづくりの取組に参加していない主な理由は何ですか。(〇は3つまで)

まちづくりの取組に参加していない主な理由について、「仕事で都合がつかない」が34.6%と最も高く、次いで「活動を知らない」が26.4%、「体力や健康の問題」が23.7%となっています。



【まちづくりの取組への参加状況別】

まちづくりの取組への参加状況別では、参加してみたいができていない人、参加したいと思わない人は、「仕事で都合がつかない」が最も高く、次いで「活動を知らない」となっています。以前は参加していたが、今はしていない人は、「無回答」が半数近くになっていますが、次いで「体力や健康の問題」があがっています。

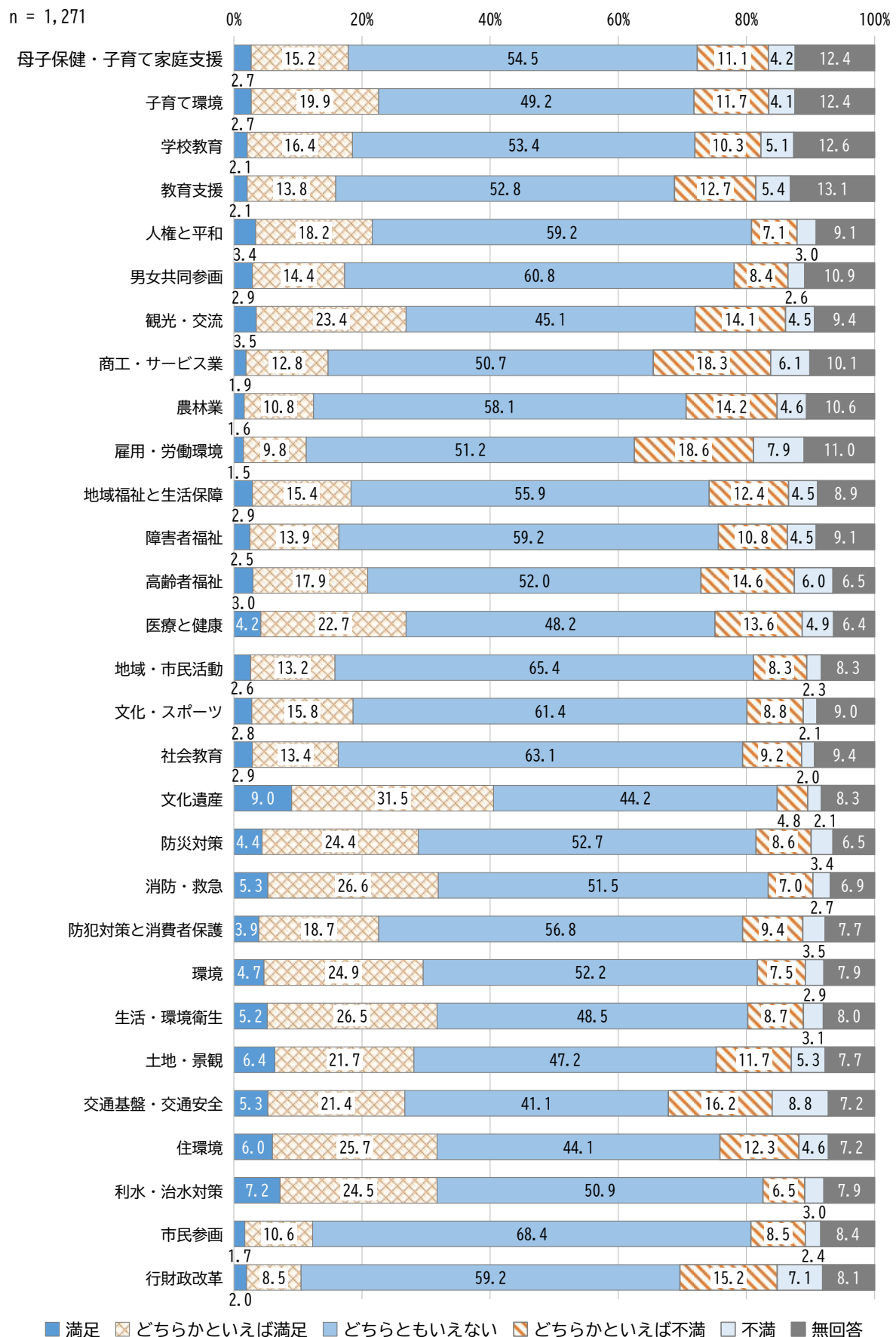
		仕事で都合がつかない	家事・育児・介護で都合がつかない	会費等の経済的な理由	体力や健康の問題	協働作業が苦手	活動に関心がない	活動を知らない	地域と関わりたくない	役(当番)等になることを避けたい	その他	無回答
全体	(n=1,019)	34.6	16.3	4.4	23.7	7.0	13.7	26.4	2.5	20.2	3.6	16.0
まちづくりの取組への参加状況	参加してみたいができていない (n=379)	47.2	21.9	4.5	25.1	4.5	2.4	33.2	-	16.6	4.0	3.7
	以前は参加していたが、今はしていない (n=224)	18.3	10.3	2.2	21.4	2.7	4.9	5.4	0.9	10.3	5.4	48.2
	参加したいと思わない (n=416)	32.0	14.4	5.5	23.8	11.5	28.8	31.5	5.5	28.8	2.4	9.9

※ ■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

単位：%

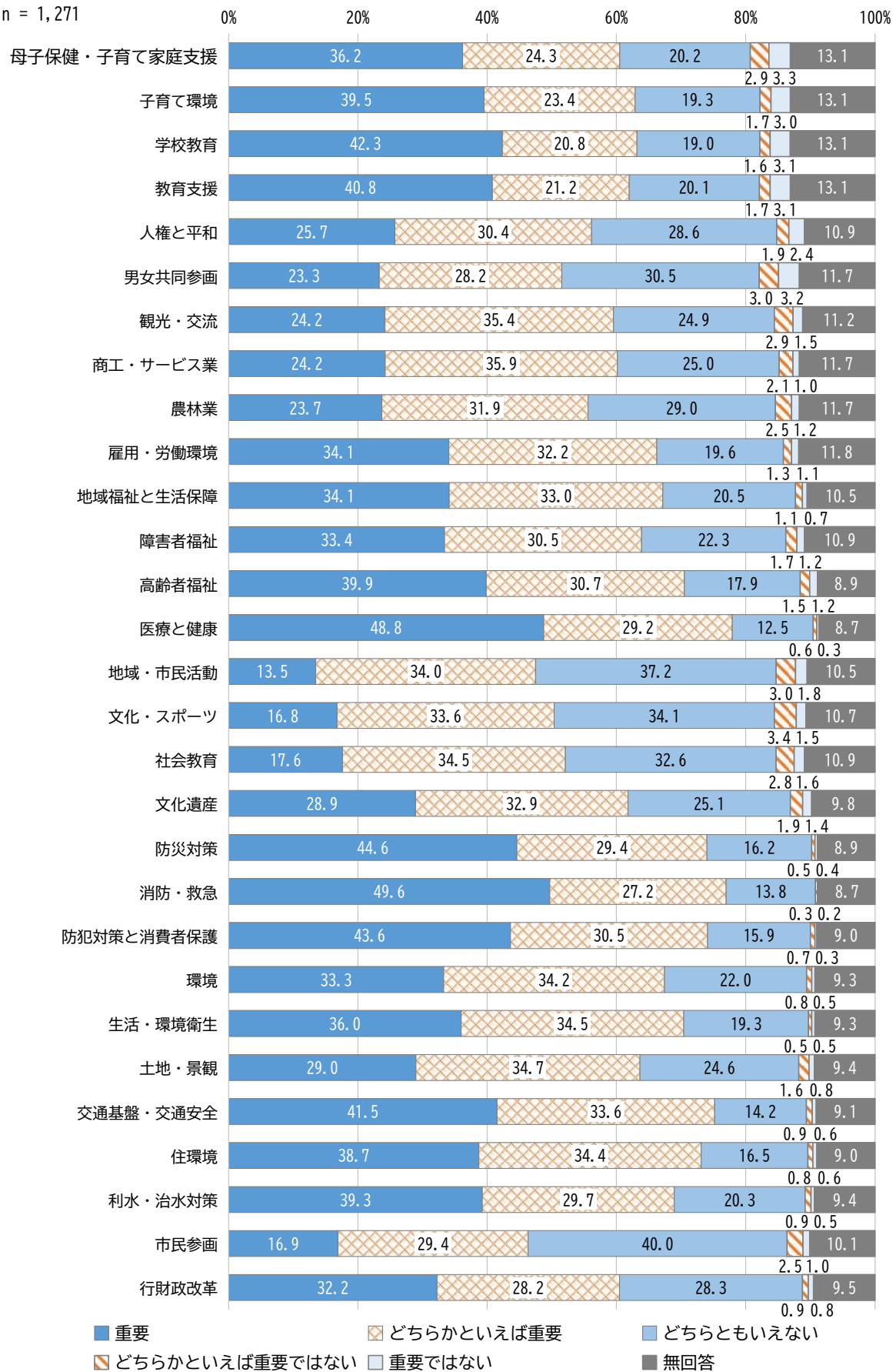
問14 奈良市の取組に対する、①あなたの満足度（評価）、②あなたにとっての重要度を次の項目ごとに選択してください。（〇はそれぞれ1つずつ）

①満足度（評価）



②重要度

n = 1,271



(1) 満足度・重要度調査の考察

満足度・重要度調査は、29 の政策に対する市民の満足度と重要度を把握し、政策に対する市民意識として今後の取り組みに反映させるものです。考察では平均値を出すにあたり「無回答」を除く、有効回答をもとに算出しています。

表. 満足度指数と重要度指数の算出方法

評価区分		点数	算 出 式 (満足度指数の算出式を例示します。重要度指数も同様)
満足度	重要度		
満足	重要	5	$M_i = (A_{i5} \times 5 + A_{i4} \times 4 + A_{i3} \times 3 + A_{i3} \times 2 + A_{i2} \times 2 + A_{i1} \times 1) / A_i$ M_i : 施策 i の満足度指数 A_i : 施策 i の回答者数（無回答を除く） A_{i5} : 施策 i を満足と評価した回答者数 A_{i4} : 施策 i をやや満足と評価した回答者数 A_{i3} : 施策 i をどちらともいえないと評価した回答者数 A_{i2} : 施策 i をやや不満と評価した回答者数 A_{i1} : 施策 i を不満と評価した回答者数
どちらかといえば満足	どちらかといえば重要	4	
どちらともいえない	どちらともいえない	3	
どちらかといえば不満	どちらかといえば重要ではない	2	
不満	重要ではない	1	

(2) 満足度重要度調査結果

各政策を満足度調査と重要度調査の平均評価点でランク付けすると、全政策の満足度調査の平均評価点は 3.07 点、全政策 29 項目のうち 15 項目が平均評価点を上回る結果となっています。重要度調査の平均評価点は 4.03 点、全政策 29 項目のうち 16 項目が平均評価点を上回る結果となっています。

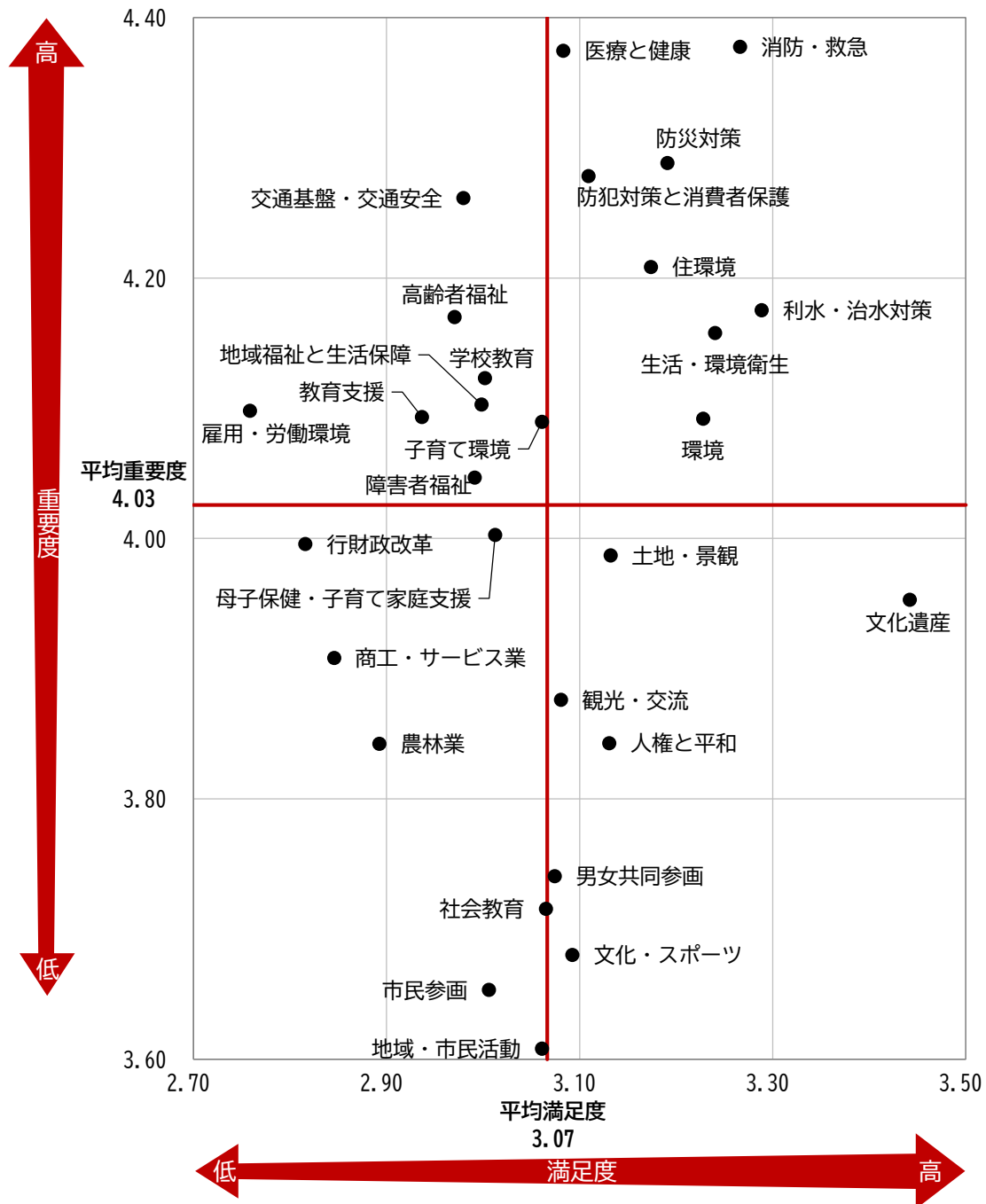
・満足度

順位	施策	平均 評価点	有効 回答者数
1	文化遺産	3.44	1,165
2	利水・治水対策	3.29	1,171
3	消防・救急	3.27	1,183
4	生活・環境衛生	3.24	1,169
5	環境	3.23	1,171
6	防災対策	3.19	1,188
7	住環境	3.17	1,179
8	土地・景観	3.13	1,173
9	人権と平和	3.13	1,155
10	防災対策と消費者保護	3.11	1,173
11	文化・スポーツ	3.09	1,156
12	医療と健康	3.08	1,190
13	観光・交流	3.08	1,151
14	男女共同参画	3.07	1,133
15	社会教育	3.07	1,152
16	子育て環境	3.06	1,113
17	地域・市民活動	3.06	1,166
18	母子保健・子育て家庭支援	3.01	1,114
19	市民参画	3.01	1,164
20	学校教育	3.00	1,111
21	地域福祉と生活保障	3.00	1,158
22	障害者福祉	2.99	1,155
23	交通基盤・交通安全	2.98	1,180
24	高齢者福祉	2.97	1,188
25	教育支援	2.94	1,105
26	農林業	2.89	1,136
27	商工・サービス業	2.85	1,142
28	行財政改革	2.82	1,168
29	雇用・労働環境	2.76	1,131
平均点		3.07	1,157

・重要度

順位	施策	平均 評価点	有効 回答者数
1	消防・救急	4.38	1,160
2	医療と健康	4.37	1,161
3	防災対策	4.29	1,158
4	防犯対策と消費者保護	4.28	1,157
5	交通基盤・交通安全	4.26	1,155
6	住環境	4.21	1,156
7	利水・治水対策	4.18	1,152
8	高齢者福祉	4.17	1,158
9	生活・環境衛生	4.16	1,153
10	学校教育	4.12	1,105
11	地域福祉と生活保障	4.10	1,137
12	雇用・労働環境	4.10	1,121
13	教育支援	4.09	1,104
14	環境	4.09	1,153
15	子育て環境	4.09	1,105
16	障害者福祉	4.05	1,132
17	母子保健・子育て家庭支援	4.00	1,105
18	行財政改革	4.00	1,150
19	土地・景観	3.99	1,152
20	文化遺産	3.95	1,146
21	商工・サービス業	3.91	1,122
22	観光・交流	3.88	1,129
23	人権と平和	3.84	1,132
24	農林業	3.84	1,122
25	男女共同参画	3.74	1,122
26	社会教育	3.72	1,132
27	文化・スポーツ	3.68	1,135
28	市民参画	3.65	1,142
29	地域・市民活動	3.61	1,138
平均点		4.03	1,138

(3) 満足度・重要度のクロス集計からみた政策に対する市民意識

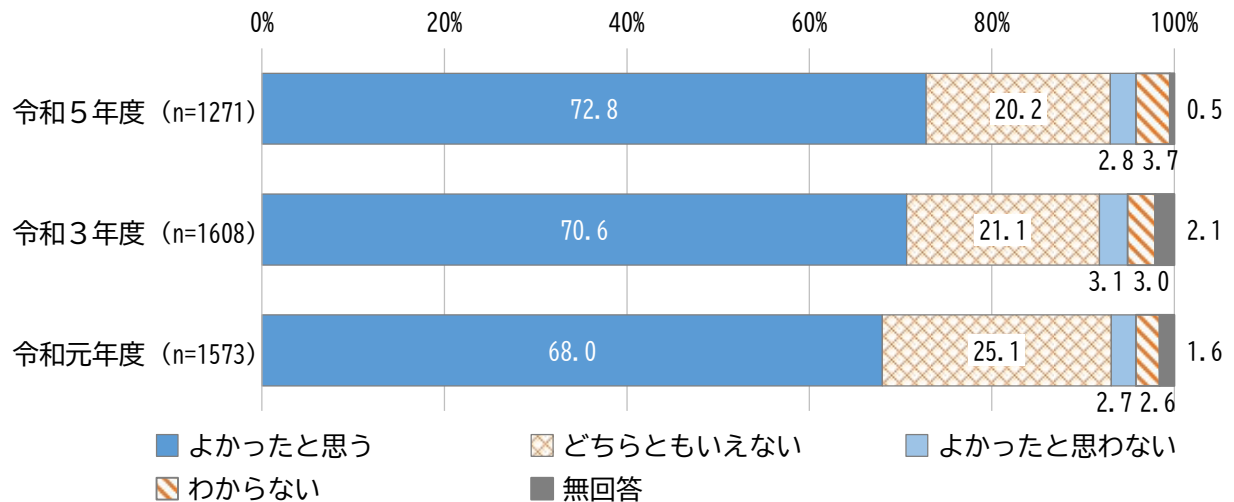


4 奈良市への愛着や誇りについて

問15 あなたは、奈良市に住んでよかったと思いますか。(○は1つ)

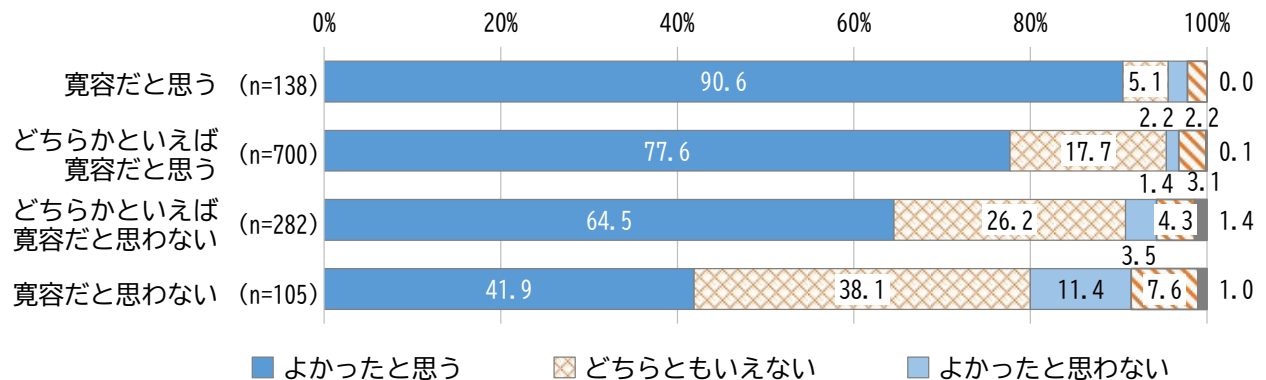
奈良市に住んでよかったと思うかについて、「よかったと思う」が72.8%と最も高くなっています。

過去の調査と比べると、「よかったと思う」は増加傾向となっています。



【地域の寛容さ別】

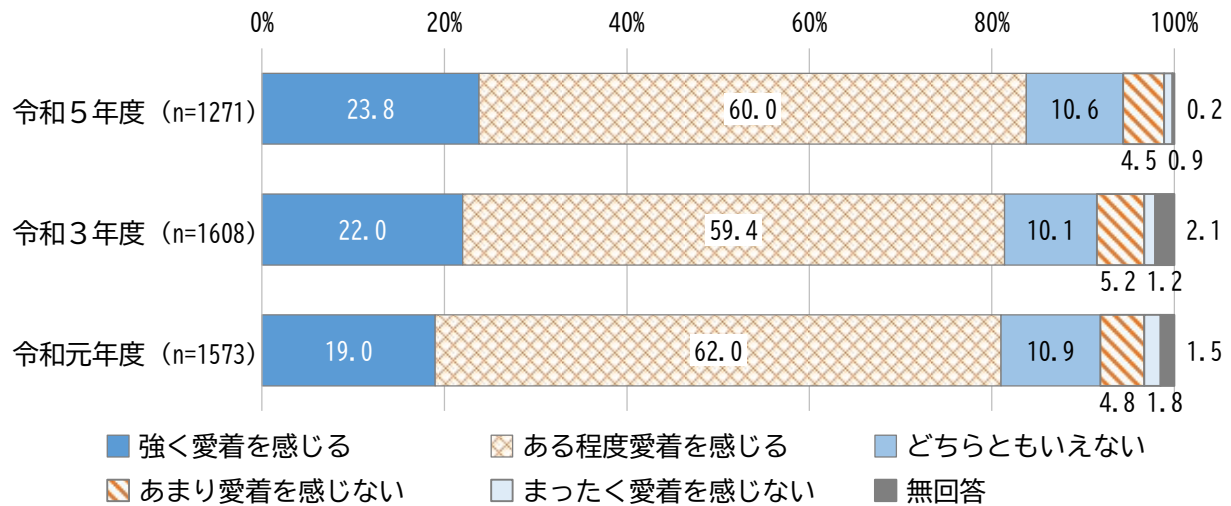
地域の寛容さ別では、寛容だと思う層ほど「よかったと思う」が高くなっており、寛容だと思うで90.6%、寛容だと思わないで41.9%となっています。



問16 あなたは、奈良市に愛着を感じていますか。(〇は1つ)

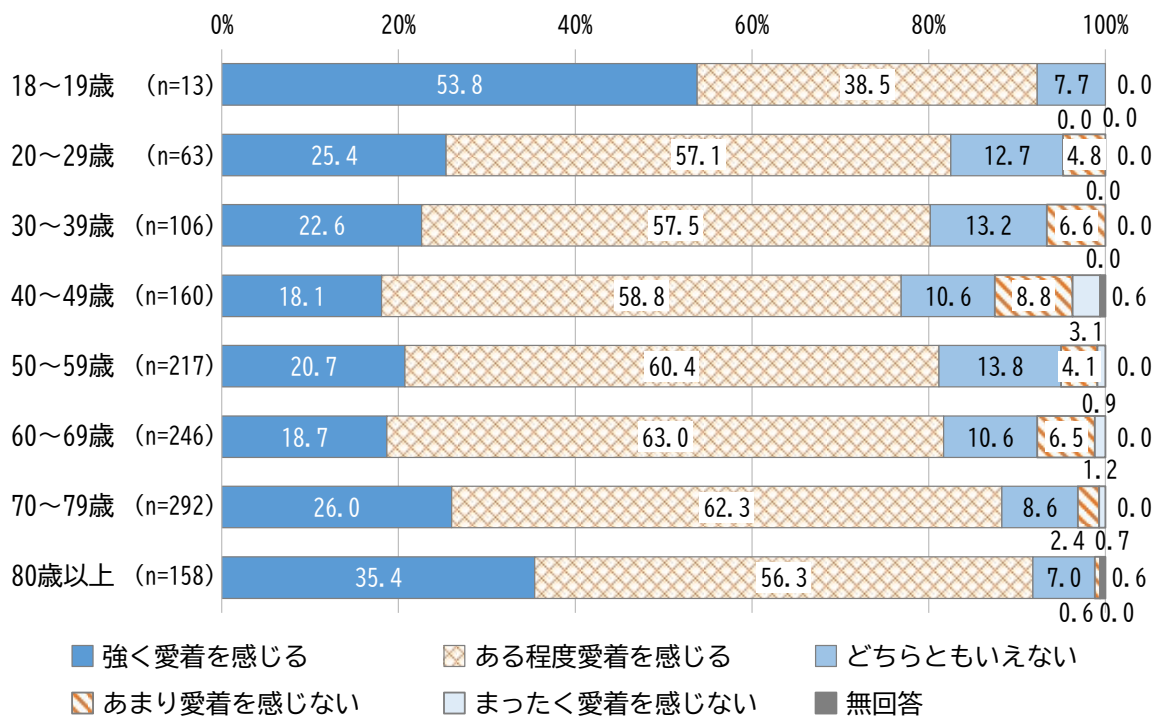
奈良市に愛着を感じているかについて、「強く愛着を感じる」と「ある程度愛着を感じる」の合計が83.8%となっています。

過去の調査と比べると、令和元年度と令和3年度は同程度でしたが、今回は令和3年度に比べてやや増加しています。



【年齢（10歳区分）別】

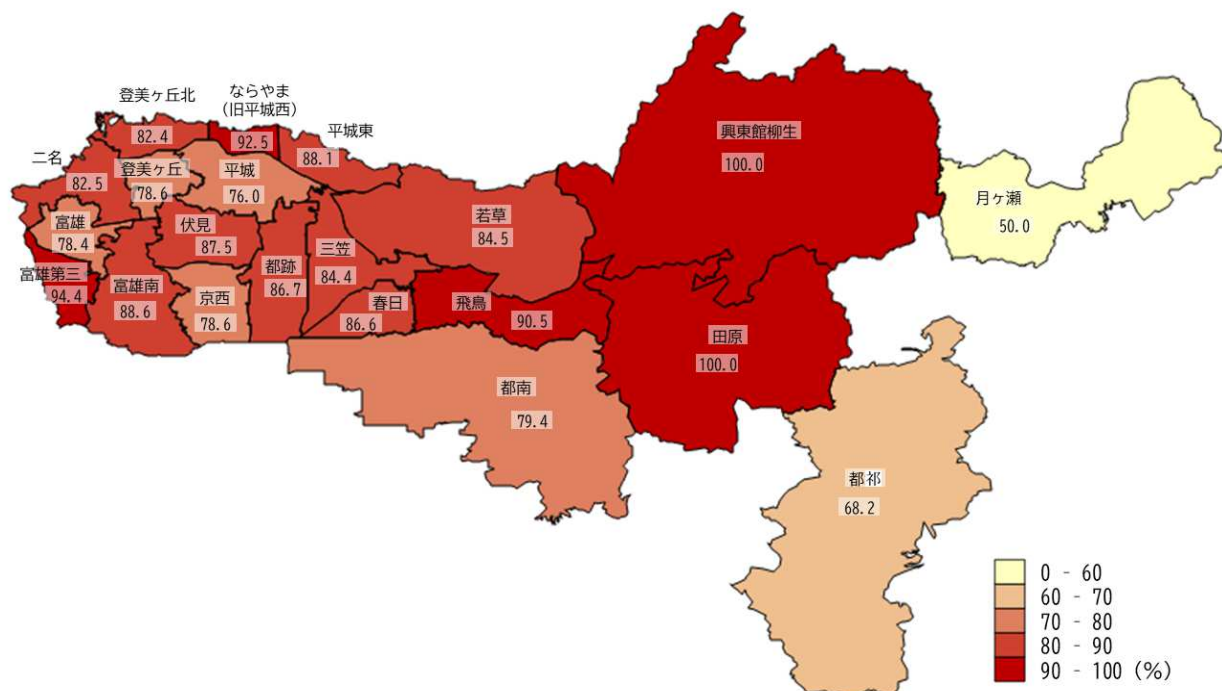
年齢別では、「強く愛着を感じる」と「ある程度愛着を感じる」の合計は、80歳以上で91.7%と最も高く、次いで70～79歳で88.3%となっています。いずれの年齢でも8～9割台ですが、40～49歳は76.9%と低くなっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

【居住地域（中学校区）別】

下図は居住地域別の「強く愛着を感じる」＋「ある程度愛着を感じる」と回答した割合です。興東館柳生と田原が100.0%と最も高くなっており、次いで富雄第三で94.4%となっています。

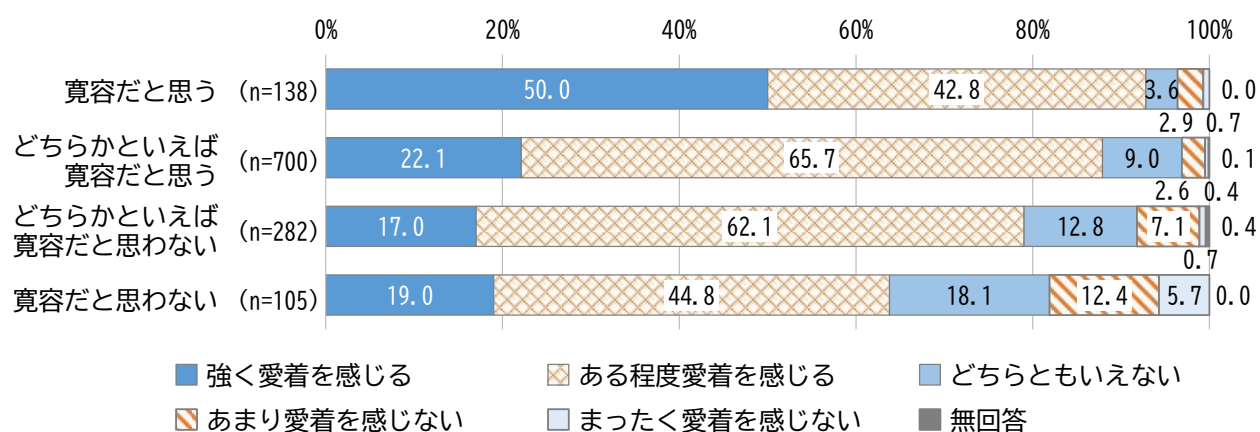


※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

【地域の寛容さ別】

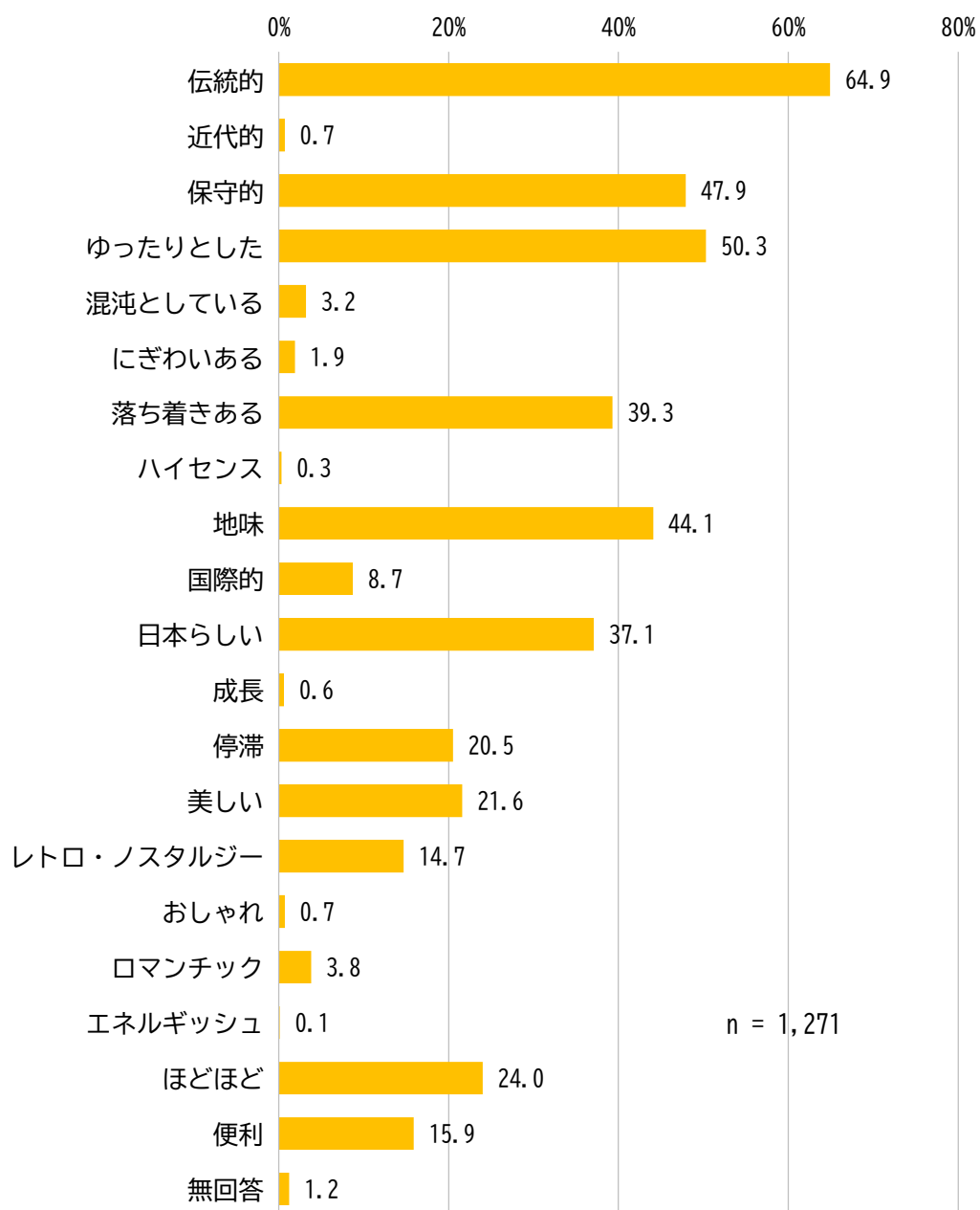
地域の寛容さ別では、寛容だと思う層ほど「強く愛着を感じる」と「ある程度愛着を感じる」の合計が高くなっており、寛容だと思うで92.8%、寛容だと思わないで63.8%となっています。

寛容だと思うでは「強く愛着を感じる」が5割と特に高くなっています。



問１８ あなたが奈良市にあてはまるイメージとして近いと思うものはどれですか。（あてはまるものすべてに○）

奈良市にあてはまるイメージについて、「伝統的」が64.9%と最も高く、次いで「ゆったりとした」が50.3%、「保守的」が47.9%となっています。

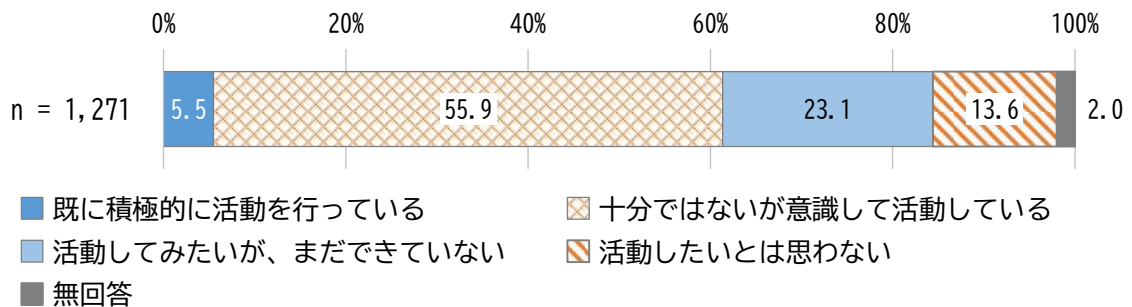


5 持続可能な社会について

問19 あなたは環境保全活動への参加^(※)についてどのようにお思いですか。(○は1つ)

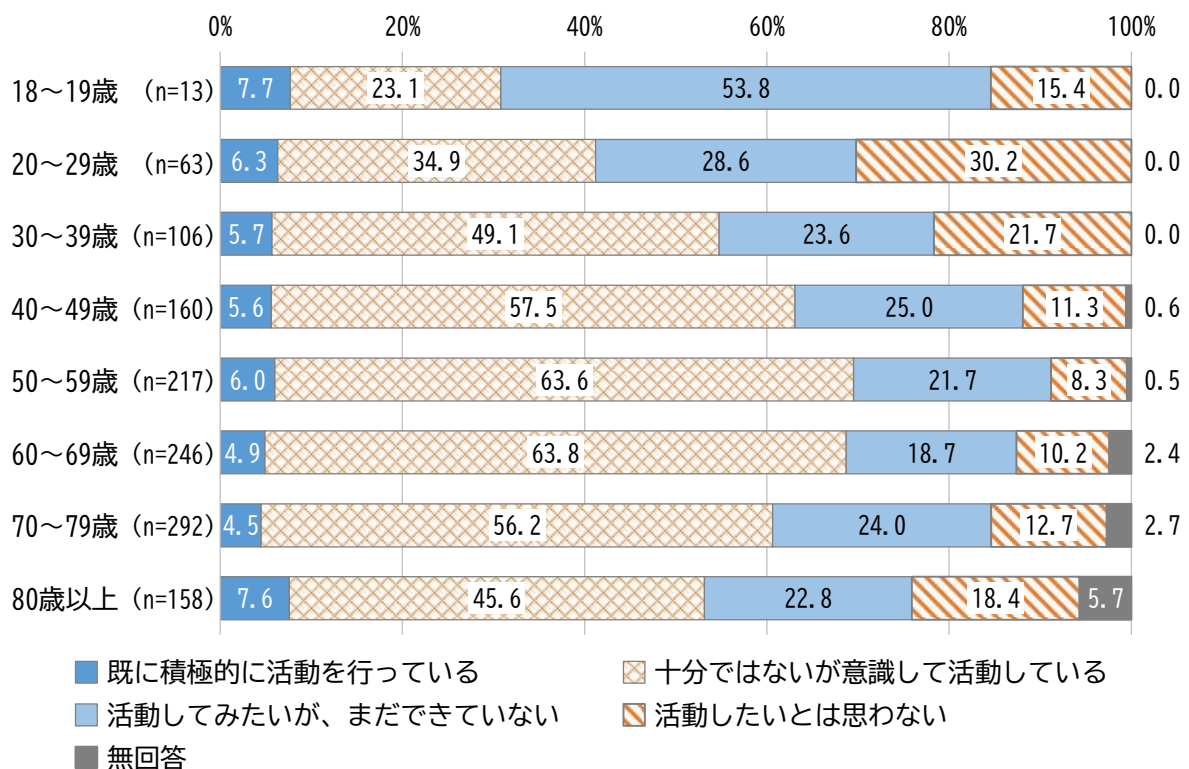
※環境保全活動への参加とは、環境美化、ごみの減量・分別、フードロス対策、省エネや再生可能エネルギー導入等の活動や 行動を団体又は個人で行うことを指します。

環境保全活動への参加については、「十分ではないが意識して活動している」が55.9%で最も高く、次いで「活動してみたいが、まだできていない」が23.1%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

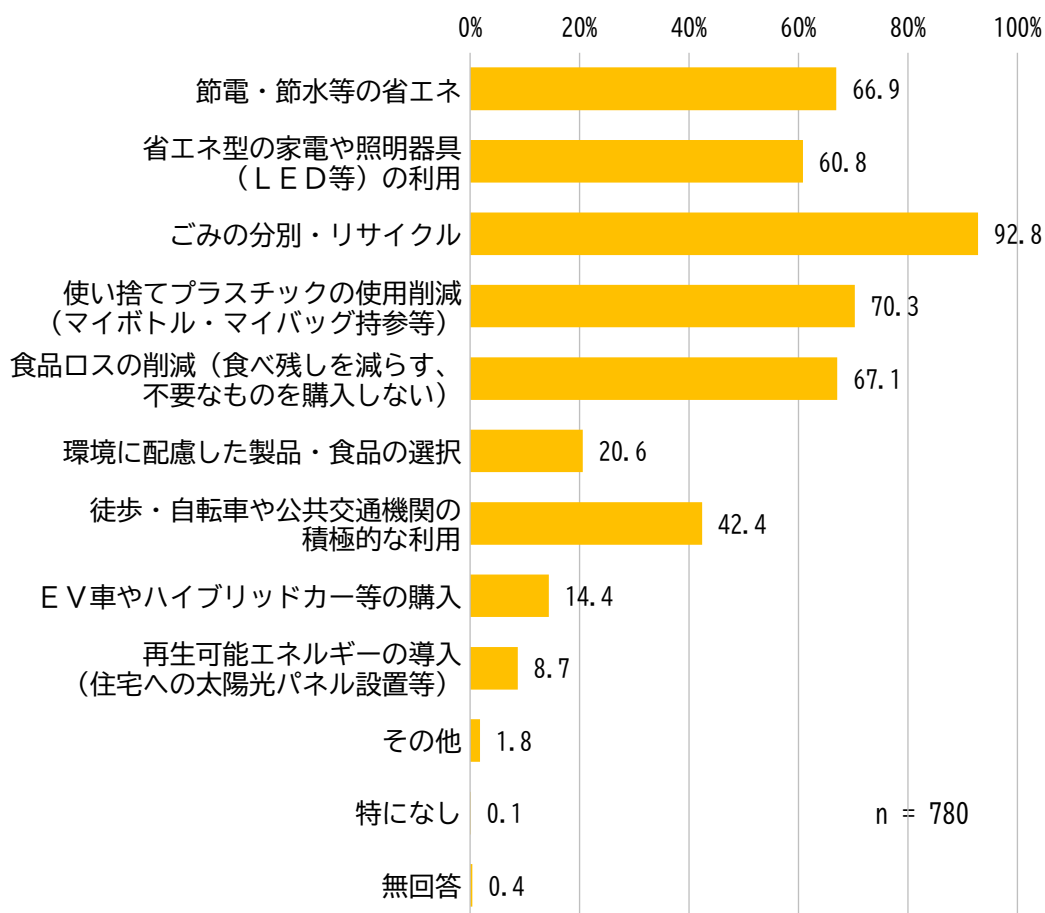
年齢別では、いずれの年齢でも「十分ではないが意識して活動している」が最も高くなっていますが、50～59歳で6割台と特に高くなっています。一方、20～29歳では34.9%と低めで、「活動したいとは思わない」が30.2%と高くなっています。また、「既に積極的に活動を行っている」はいずれの年齢でも4～8%となっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

問19-1 問19で「1.既に積極的に活動を行っている」「2.十分ではないが意識して活動している」を選択した方のみにお聞きします。
環境負荷を減らすための取組として、あなたが行っていることを選択してください。
(あてはまるものすべてに○)

環境負荷を減らすための取組として行っていることについて、「ごみの分別・リサイクル」が92.8%で最も高く、次いで「使い捨てプラスチックの使用削減(マイボトル・マイバッグ持参等)」が70.3%、「食品ロスの削減(食べ残しを減らす、不要なものを購入しない)」が67.1%、「節電・節水等の省エネ」が66.9%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

年齢別では、いずれの年齢でも「ごみの分別・リサイクル」が最も高くなっています。次いで、20～29歳では「食品ロスの削減（食べ残しを減らす、不要なものを購入しない）」、30～39歳では「節電・節水等の省エネ」、40～49歳では「節電・節水等の省エネ」と「使い捨てプラスチックの使用削減（マイボトル・マイバッグ持参等）」が同率、50歳以上では「使い捨てプラスチックの使用削減（マイボトル・マイバッグ持参等）」となっています。

		節電・節水等の省エネ	省エネ型家電や照明器具（LED等）の利用	ごみの分別・リサイクル	使い捨てプラスチックの削減（マイボトル・マイバッグ持参等）	食品ロスの削減（食べ残しを減らす、不要なものを購入しない）	環境に配慮した製品・食品の選択	徒歩・自転車や公共交通機関の積極的な利用	EV車やハイブリッドカー等の購入	再生可能エネルギーの導入（住宅への太陽光パネル設置等）	その他	特になし	無回答
全体	(n=780)	66.9	60.8	92.8	70.3	67.1	20.6	42.4	14.4	8.7	1.8	0.1	0.4
年齢（10歳区分）	18～19歳 (n=4)	75.0	25.0	75.0	50.0	50.0	-	-	-	25.0	-	-	-
	20～29歳 (n=26)	53.8	26.9	80.8	69.2	73.1	7.7	50.0	11.5	7.7	3.8	-	-
	30～39歳 (n=58)	63.8	51.7	91.4	56.9	62.1	20.7	31.0	17.2	13.8	-	-	-
	40～49歳 (n=101)	71.3	58.4	88.1	71.3	64.4	11.9	47.5	9.9	17.8	1.0	-	-
	50～59歳 (n=151)	70.2	64.2	96.0	70.9	68.2	13.9	39.1	17.2	6.0	2.6	-	0.7
	60～69歳 (n=169)	63.3	65.7	95.9	70.4	66.3	24.3	38.5	21.9	10.1	1.8	0.6	-
	70～79歳 (n=177)	68.9	64.4	93.2	74.0	68.4	24.9	43.5	11.9	4.0	1.1	-	1.1
	80歳以上 (n=84)	66.7	61.9	91.7	72.6	70.2	29.8	53.6	6.0	6.0	3.6	-	-

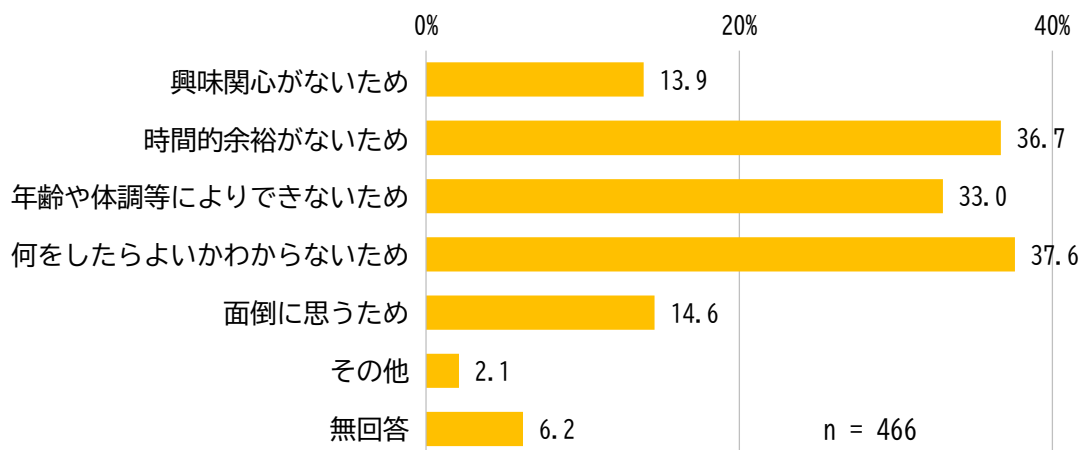
※■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

単位：％

※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

問19-2 問19で「3. 活動してみたいが、まだできていない」「4. 活動したいとは思わない」を選択した方のみにお聞きします。
理由としてあてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

活動できていない、したいと思わない理由について、「何をしたらよいかわからないため」が37.6%で最も高く、次いで「時間的余裕がないため」が36.7%、「年齢や体調等によりできないため」が33.0%となっています。



【環境保全活動への意識別】

環境保全活動への意識別では、活動してみたいが、まだできていない人は「何をしたらよいかわからないため」が50.5%で最も高く、活動したいとは思わない人は「年齢や体調等によりできないため」が35.3%で最も高くなっています。

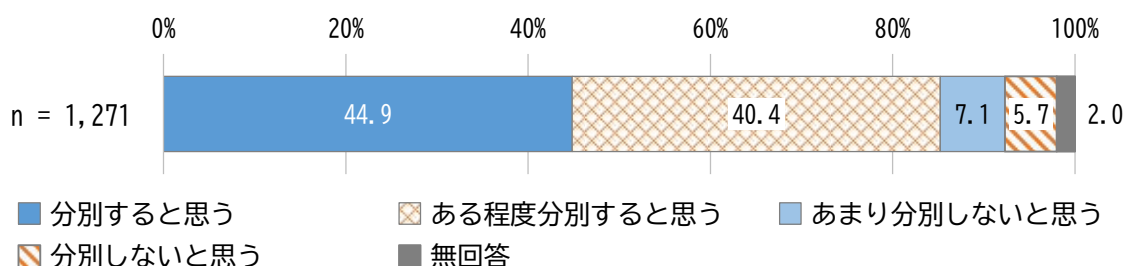
		興味関心がないため	時間的余裕がないため	年齢や体調等によりできないため	何をしたらよいかわからないため	面倒に思うため	その他	無回答
全体 (n=466)		13.9	36.7	33.0	37.6	14.6	2.1	6.2
環境保全活動への意識	活動してみたいが、まだできていない (n=293)	4.1	42.7	31.7	50.5	10.6	0.3	3.1
	活動したいとは思わない (n=173)	30.6	26.6	35.3	15.6	21.4	5.2	11.6

※ ■は回答の割合が最も高い項目、■は2番目に高い項目、■は3番目に高い項目

単位：%

問20 生ごみは、燃やせるごみと分別することで、たい肥等の資源として活用することができます。もし、生ごみを燃やせるごみと分別することになった場合、あなたは生ごみの分別をどの程度実施すると思いますか。(〇は1つ)

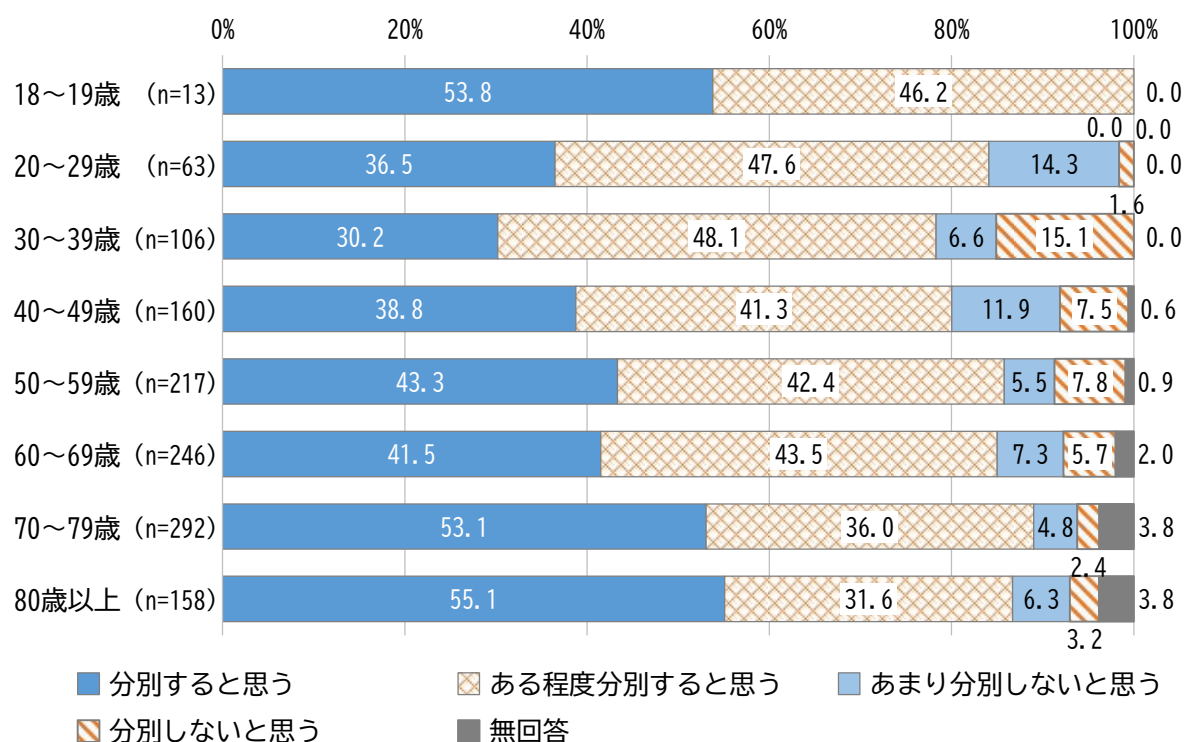
生ごみを燃やせるごみと分別することになった場合、生ごみの分別を実施するかについて、「分別すると思う」と「ある程度分別すると思う」の合計が85.3%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

年齢別では、「分別すると思う」は30～39歳で30.2%と最も低く、それ以降は概ね年齢が上がるほど高く、80歳以上で55.1%と最も高くなっています。

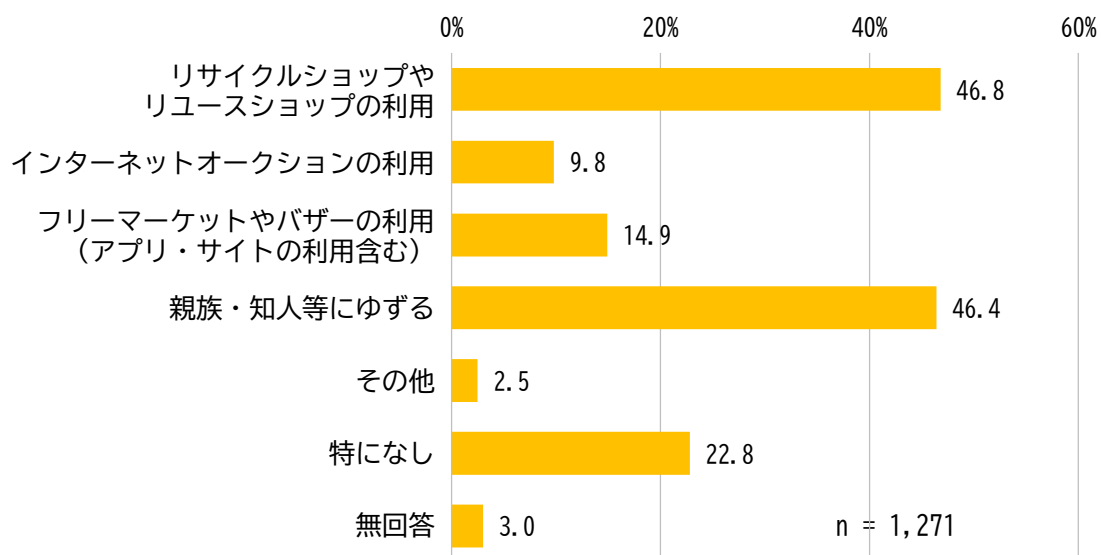
50～59歳、70～79歳と80歳以上では「分別すると思う」が最も高く、それ以外では「ある程度分別すると思う」が最も高くなっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

問2 1 家庭で出た不要品でも、まだ使えそうなものなら「リユース」という選択肢があります。下記のうち、あなたが実践していることに○をつけてください。
(あてはまるものすべてに○)

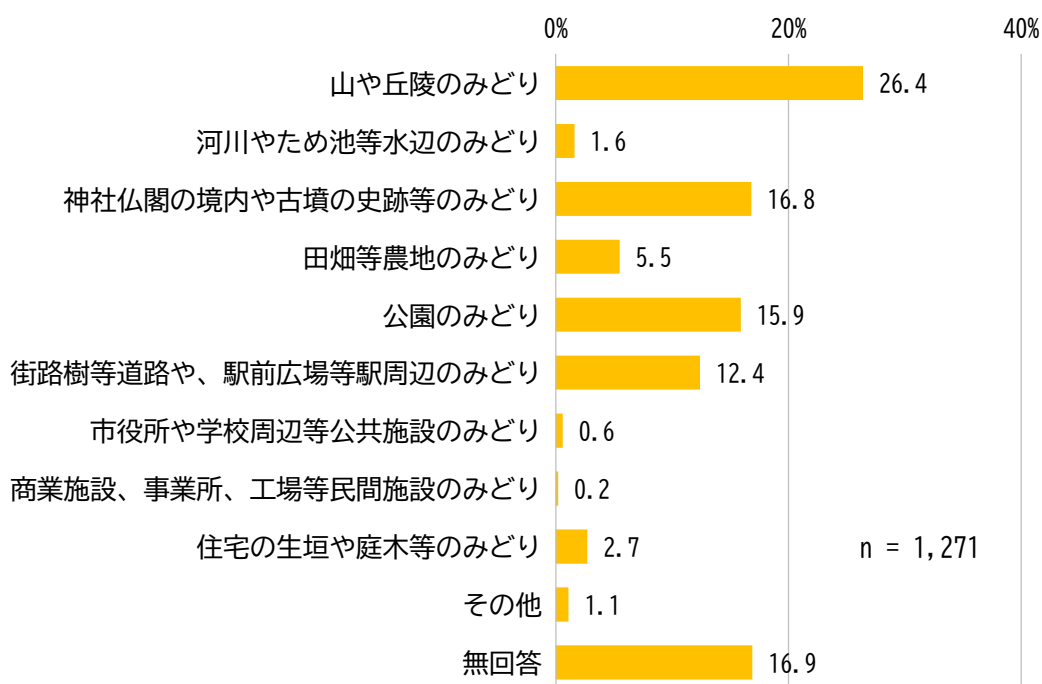
不要品のリユースで実践していることについて、「リサイクルショップやリユースショップの利用」が46.8%で最も高く、次いで「親族・知人等にゆずる」が46.4%となっています。



問2 2 奈良市では、みどりのまちづくりを推進するため、平成23年に策定した「奈良市緑の基本計画」に続く、新たな計画を策定することを予定しておりますが、あなたが奈良市の「みどり」と聞いてイメージするものは何ですか。(〇は1つ)

※ここで定義する「みどり」とは、いわゆる「緑」だけでなく、「緑」に人が関わることで得られる、心身の健康の向上等多くの価値観を包含する包括的な概念とします。

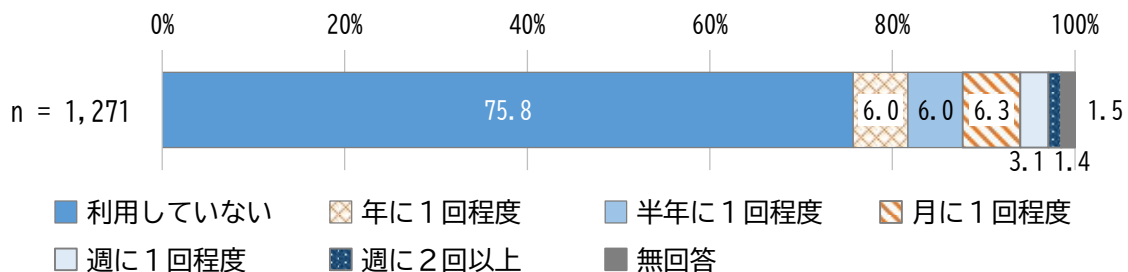
奈良市の「みどり」と聞いてイメージするものについて、「山や丘陵のみどり」が26.4%で最も高く、次いで「寺社仏閣の境内や古墳の史跡等のみどり」が16.8%、「公園のみどり」が15.9%となっています。



6 地域と社会教育・大学について

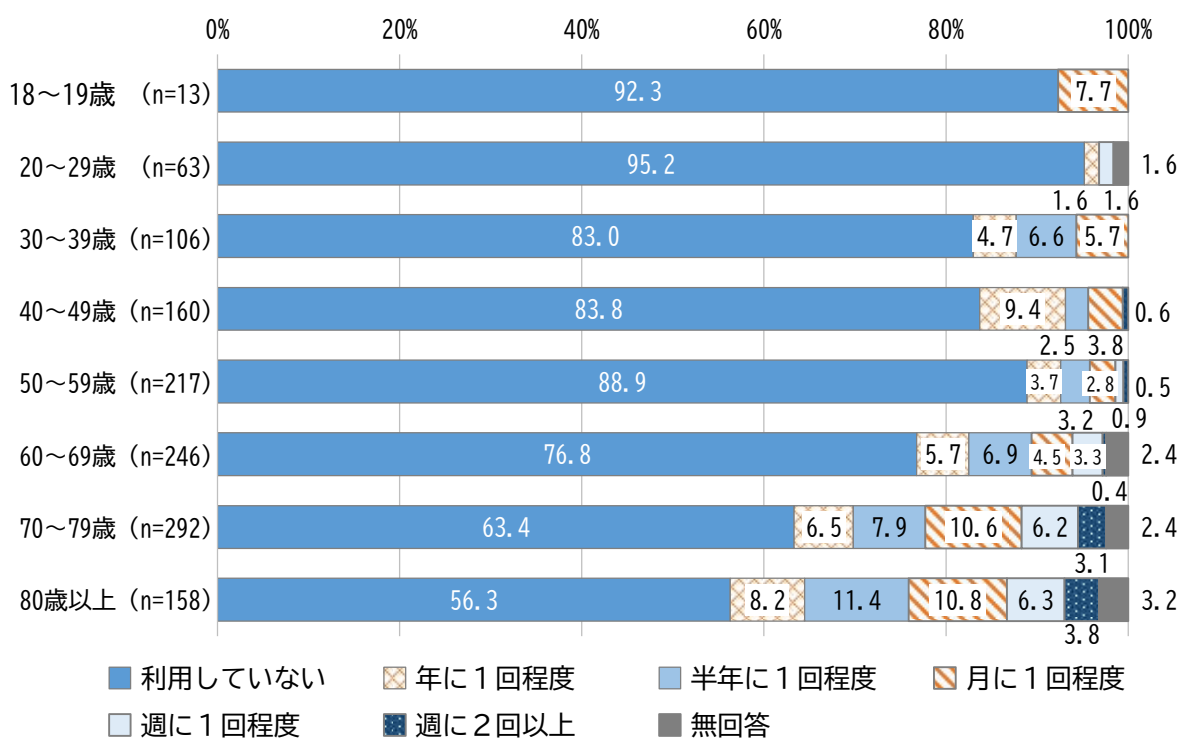
問23 あなたは公民館を利用していますか(選挙投票・避難所での利用を除く)。(○は1つ)

公民館を利用しているかについて、「利用していない」が75.8%と最も高くなっており、年に1回以上の利用率は22.8%となっています。



【年齢(10歳区分)別】

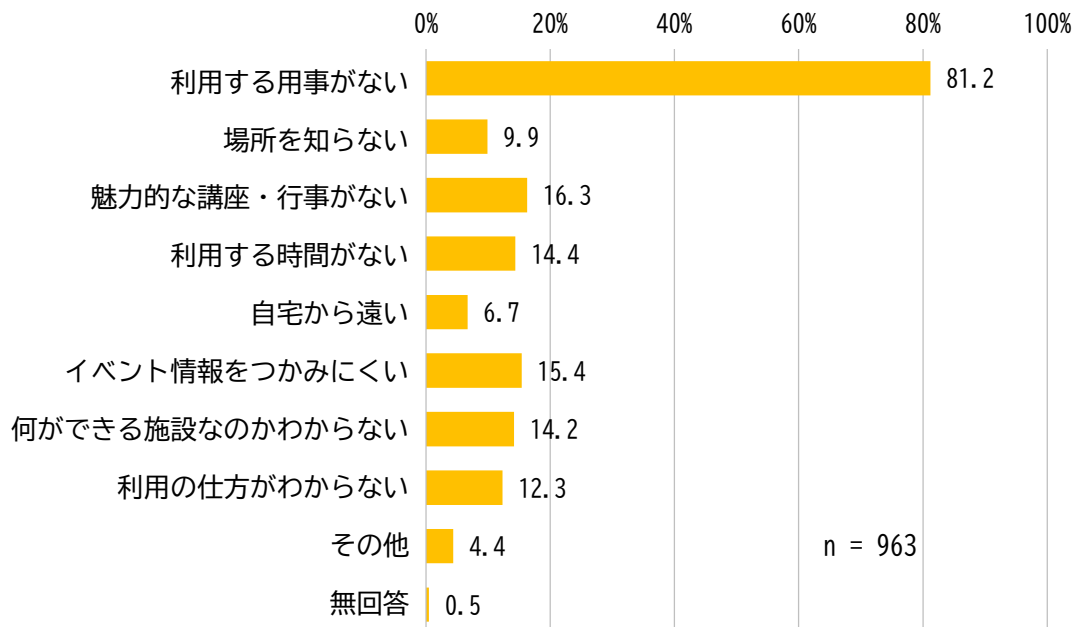
年齢別では、いずれの年齢でも「利用していない」が最も高くなっていますが、20～29歳で9割半、30～59歳で8割台と高くなっています。60歳以上では、年齢が上がるほど、年1回以上の利用率が高くなっており、80歳以上では約4割となっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

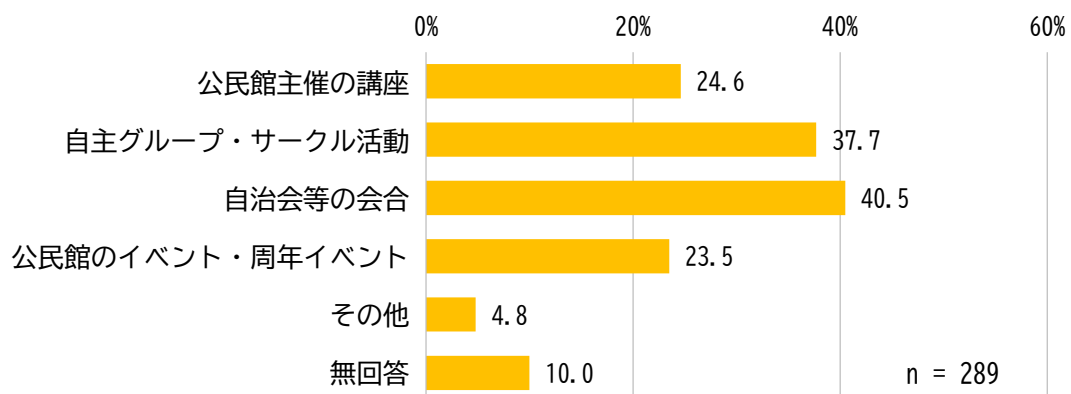
問23-1 問23で「1.利用していない」を選択した方のみにお聞きします。
公民館を利用しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

公民館を利用しない理由は、「利用する用事がない」が81.2%で最も高く、次いで「魅力的な講座・行事がない」が16.3%となっています。



問23-2 問23で「2.年に1回程度」～「6.週に2回以上」を選択した方のみにお聞きします。
公民館をどのようなことで利用したことがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

公民館の利用シーンについて、「自治会等の会合」が40.5%で最も高く、次いで「自主グループ・サークル活動」が37.7%となっています。



問24 あなたは奈良市内にある以下の8大学を知っていますか。(○は1つ)

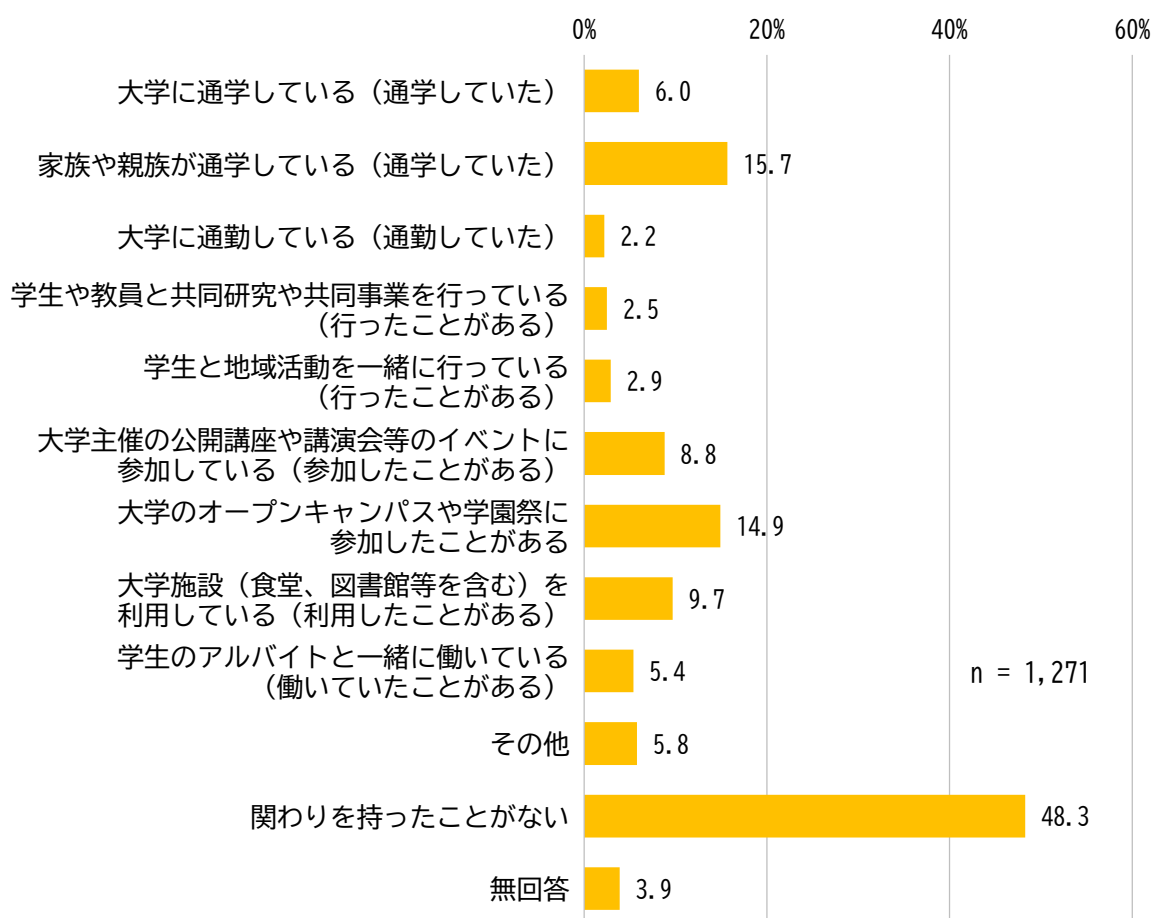
※近畿大学農学部キャンパス、帝塚山大学、奈良学園大学、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良佐保短期大学、奈良女子大学、奈良大学（五十音順）

奈良市内にある8大学を知っているかについて、「半分以上知っている」が44.2%で最も高く、次いで「すべて知っている」が38.2%となっています。



問25 あなたは上記の8大学とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

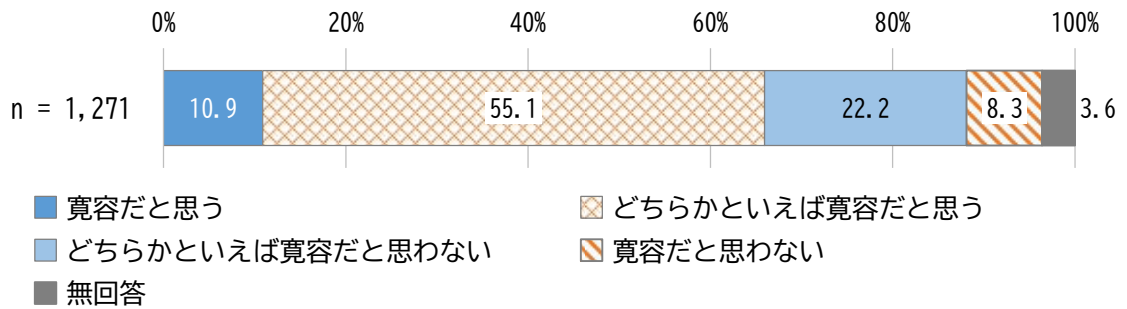
8大学との関わりについて、「関わりを持ったことがない」が48.3%で最も高く、「家族や親族が通学している（通学していた）」が15.7%、「大学のオープンキャンパスや学園祭に参加したことがある」が14.9%となっています。



7 地域の多様性と寛容性について

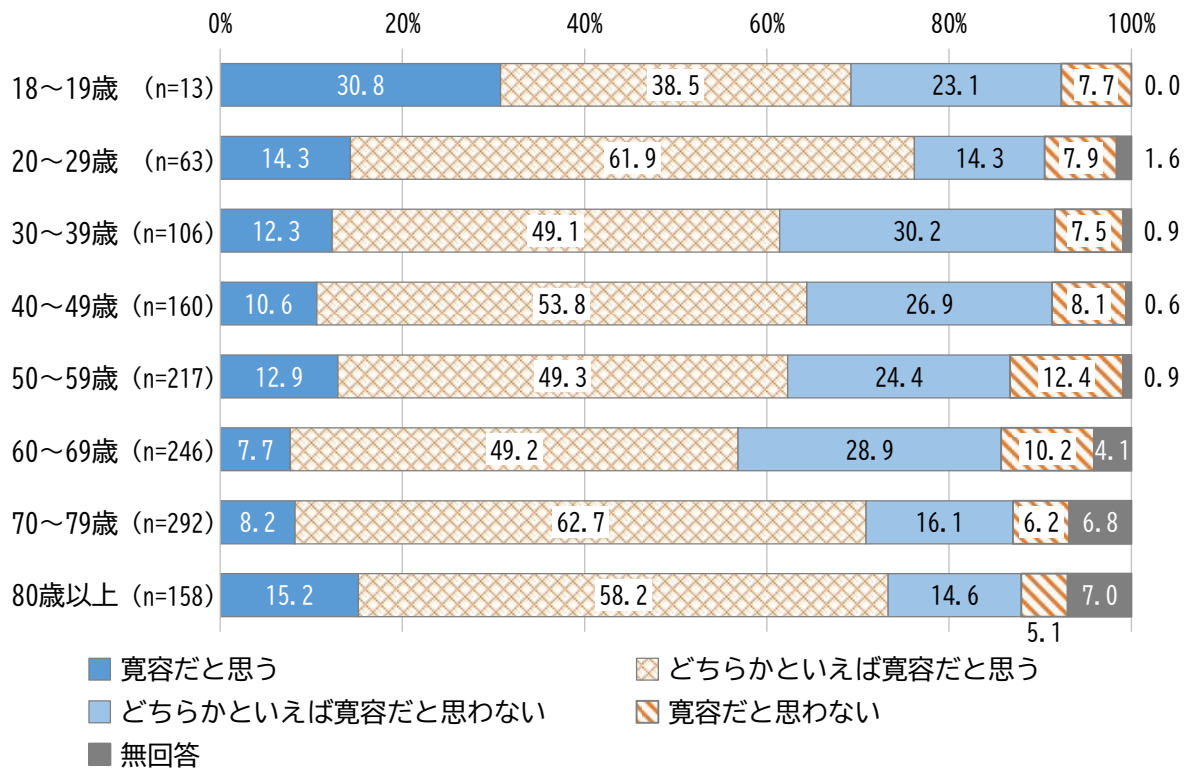
問26 あなたの住んでいる地域は、他者の様々な違い（年齢や性別、育った環境、考え方等）に寛容だと思いますか。（○は1つ）

住んでいる地域が他者との様々な違いに寛容だと思うかについて、「寛容だと思う」と「どちらかといえば寛容だと思う」の合計が66.0%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

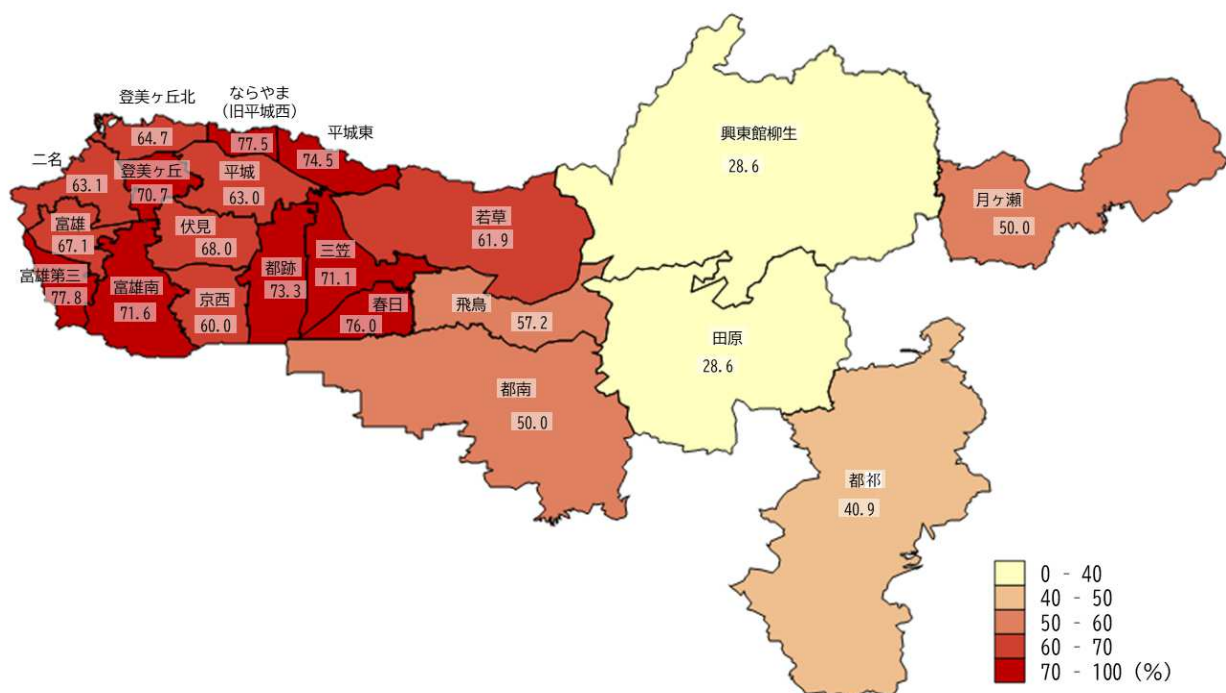
年齢別では、「寛容だと思う」と「どちらかといえば寛容だと思う」の合計は、20～29歳と70歳以上で7割台と高くなっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

【居住地域（中学校区）別】

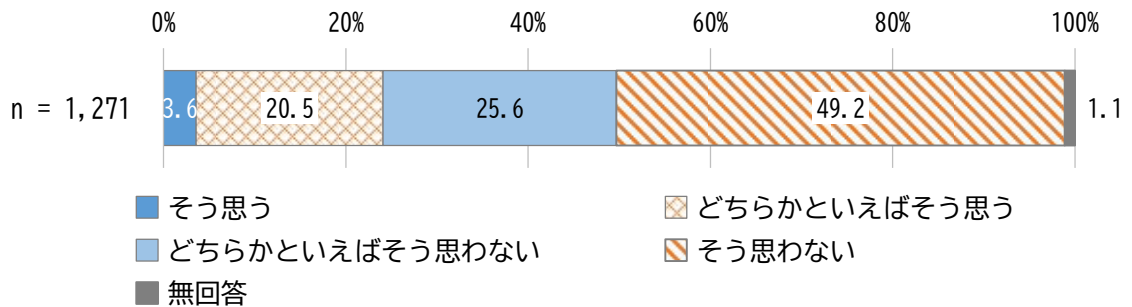
下図は居住地域別の「寛容だと思う」+「どちらかといえば寛容だと思う」と回答した割合です。富雄第三が 77.8%と最も高くなっており、次いでならやま（旧平城西）と春日で高くなっています。



※田原、興東館柳生、月ヶ瀬、都祁、富雄第三は回答者数が少ないことに注意してください。

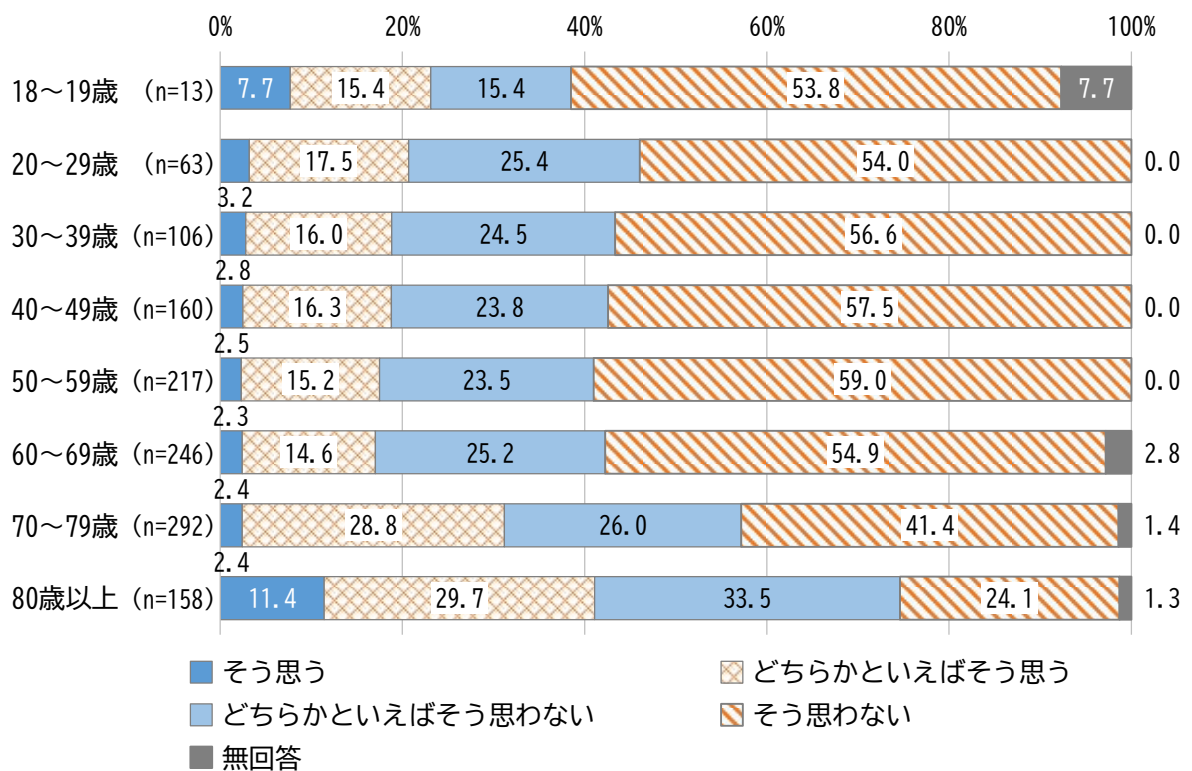
問27 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。
(○は1つ)

「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計が24.1%、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計が74.8%となっています。



【年齢（10歳区分）別】

年齢別では、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計は、20～69歳では約8割となっていますが、70～79歳では67.4%、80歳以上では57.6%と高くなっています。



※18～19歳はサンプル数が少ないため参考値

第3章 自由記述のまとめ

1 集計結果

『問17 奈良の魅力、市外の方におすすめしたい取組や場所等について』において、回答された意見を、「奈良の魅力」「おすすめしたい場所等」に分け、それぞれ意見から抜粋して記載しました。（件数は複数回答）

【奈良の魅力】429 件

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
自然	114	平城京より1300年余り美しい自然と景観を守って来た地域に感謝しています。日本の良さを体感できる素晴らしい地域、景観だと思います。
		自然環境が良い。
		自然が豊かで家からハイキングに出かけられる。四季が豊か。
		緑豊かでのんびりしているところ。住んでいる人も穏やかな人が多く、街並みも美しいところ。
		奈良公園の雄大さに毎日感動するし、毎日自然を感じながら散歩する老夫婦を見て、憧れを抱くことがある。奈良には自然の豊かさや、生物の命の尊さを感じられる魅力があると思う。
歴史・遺跡	125	歴史的な建物が多く、散歩のついでに文化に触れられる身近さはなかなかないと思うので、他府県の人におすすめしたい。
		世界遺産がある奈良をもっと多くの人に知ってほしい。
		世界文化遺産が身近にあり、歴史や非日常を感じる。
		歴史的な文化が受け継がれていて、派手さや煌びやかさは無いものの、落ち着いた趣きがある。
		文化遺産がたくさんあり、都会化していないので心癒される。平城旧跡など、広々として素晴らしい。飛鳥のロマンも良い。
災害	38	住まいの近くに古墳があったり、自転車で観光名所にも行けるところ。
		南海トラフがいつ起きるか分からない中、県外の友人にも「災害の少ない奈良」とアピールしています。日本の歴史が始まった地域だけあり、安全な所に人々が集まって日本が始まったのだと強く信じています。
住環境・治安	102	自然災害の心配をしなくてよい。川が氾濫することはないし、地震も津波もない。
		田舎であって都会の良さがある。利便性がある。日常生活に全く不安がない。
		交通の便が良く、静かな環境が保てている。文化遺産が多くあり、心の豊かさが得られる。
		道がきれい。定期的にゴミ拾いされている。
		人が温厚で治安が良い。
子育て	22	近鉄沿線は賑やかな街並みがあり、住宅地は静かながらも教育機関が充実している。
		治安が良く、自然も豊かで住み易い。近くに公園や学校があり、子育てにも最適。奈良公園が近く、自然に溢れている。
		子育てがしやすい環境だと思う。自然がすぐ近くにある。公園の駐車場も無料が多いが、住んでいる近くに大きな公園がなく困っている。

【おすすめしたい場所等】265 件

内容	件数	代表的な意見（抜粋）
奈良公園	72	奈良公園や春日大社等、自然と町が近くにあり、季節も感じる事ができるし、暮らしやすい。
		奈良公園があって、皆が自由にくつろげるイベントがたくさんあって、人が集まって来る。
		奈良公園。あれだけの寺社があり、豊かな自然があり鹿とたわむれることが出来る。他にないすばらしい場所だと思います。
		奈良公園や平城京跡はあまり費用をかけずに歴史を学んだり季節の移り変わりを感じる事ができる。
神社仏閣	67	歴史に残る数々の神社仏閣が多い。それらが後世にまで維持されている。
		歴史の街。四季折々の風情があり、神社仏閣にいつでも訪れる事ができ、気分転換ができること。
		自然豊かで寺社仏閣が昔のままの姿で残っていて素朴な良さがあると思います。平城京跡は美しく整備されているのでおすすめです。
		有名な神社仏閣が多数あり、参拝できることが魅力である。歴史を学び、古墳を見学することも楽しい。奈良公園は近くに春日大社や東大寺があり、四季折々の景観も美しい。
東大寺・春日大社	34	教科書にも出る歴史的建造物が日常的に見ることができるという点で、魅力的だと感じます。ぜひ、東大寺浮見堂は特に、紅葉の時景色がきれいなのでぜひ訪れてほしいスポットです。
		奈良公園、東大寺、二月堂、春日大社など歩いて行ける名所が近くに集まっていて、都会にはない美しい所だと思います。
		東大寺、春日大社、興福寺の五重塔、平城宮跡等、「歴史」というお金では買えない素晴らしい価値を有する場所が多々あります。だからこそ、その魅力をうまく経済の発展に繋げたいと思います。
ならまち	16	世界文化遺産をはじめとする古都の文化財やならまちなどの古い街並みを活かした店などの観光資源。
		ならまちや近鉄奈良駅付近の商店街ではカフェ巡りをするのがおすすめです。

第4章 資料編

この数字はインターネットを通じて回答いただく場合に必要となります。
宛名の方の個人情報と紐づけたものではありません。

オンライン回答用 ID :

奈良市役所から 市民意識アンケートへのご協力をお願い

市民の皆様には、日頃より市政の推進にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

奈良市では、市民の皆様に日頃の生活で感じていることや市政についてのご意見等をお尋ねし、これからの市政のあり方を考えていくにあたっての基礎資料とするため、「奈良市民意識アンケート」を実施しています。

今回は、「奈良市での生活」や「市政」のほか、「持続可能な社会」、「地域と社会教育・大学」、「地域の多様性と寛容性」等についてお尋ねします。

今回の調査対象者は、奈良市にお住まいの18歳以上の男女3,000人の方を無作為に抽出しましたので、対象者に選定されたことに特別な理由はありません。

この調査は無記名でお答えいただき、回答内容はすべて統計的に処理しますので、個人が特定されることはありません。なお、調査結果は広く活用いただけるよう、公開させていただきます。

この調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力くださいますようよろしくお願いします。

令和5年11月
奈良市長 仲川 げん

〔ご回答にあたって〕

1. この調査は、次ページから始まる調査票にご記入のうえ郵送いただくか、パソコンやスマートフォン等でインターネットを通じて回答いただくことも可能です。
2. ご回答にあたっては、封筒の宛名のご本人がご記入ください。なお、ご本人がお答えいただけない場合は、ご家族の方（18歳以上）が代わってお答えいただいても結構です。その場合は、代わって記入される方の立場でお答えください。
3. 設問によっては、○を付ける数が異なりますので、注意書きに従ってお答えください。
4. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れて、**令和5年12月15日（金）**までに、切手を貼らずにご投函ください。封筒、調査票ともに住所や氏名は記入しないでください。

調査票郵送による回答

インターネットによる回答

次ページにお進みください。

13ページにお進みください。

5. ご回答いただく上でご不明な点、調査に関するお問い合わせは、下記までお問合せください。

奈良市 総合政策部 総合政策課（市民意識調査担当）
TEL. 0742-34-4786 E-mail: sougouseisaku@city.nara.lg.jp

奈良市民意識アンケート 調査票

奈良市での生活について

問1 あなたは、奈良市に住んで通算で何年になりますか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 5年以下 | 2. 6～10年 | 3. 11～20年 |
| 4. 21～30年 | 5. 31～40年 | 6. 41～50年 |
| 7. 51年以上 | | |

問2 あなたが現住所の直前に住んでいたのはどちらでしたか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 生まれてからずっと現住所に住んでいる | 2. 奈良市内の別の地域 |
| 3. 生駒市 | 4. 大和郡山市 |
| 5. 橿原市 | 6. 天理市 |
| 7. その他奈良県内 | 8. 木津川市 |
| 9. 京都市 | 10. その他京都府内 |
| 11. 大阪市 | 12. その他大阪府内 |
| 13. 東京都特別区 | 14. その他国内（ ）都・道・県 |
| 15. 海外 | |

問2-1 問2で「2」～「15」を選択した方のみにお聞きします。

① 転居のきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | | |
|------------|--------------|----------------|
| 1. 進学・転校 | 2. 就職・転勤 | 3. 結婚 |
| 4. 出産 | 5. 子どもの成長・独立 | 6. 住宅・マンションの購入 |
| 7. 退職・廃業 | 8. 親や子と同居・近居 | 9. 特に理由はない |
| 10. その他（ ） | | |

② 現住所を転居先に選んだ理由は何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------|--------------------------|
| 1. 生まれ育った場所だから | 2. 自分や家族の持ち家だから |
| 3. 寮や社宅に住むから | 4. 親や子、親族がいるから |
| 5. 家賃や住宅の価格が手ごろだから | 6. 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから |
| 7. 日ごろの買い物等が便利だから | 8. 子育て環境がよいから |
| 9. 学校等の教育環境がよいから | 10. 文化・スポーツ施設等が近くにあるから |
| 11. 病院・医院が近くにあるから | 12. 住まいの周辺が静かだから |
| 13. 自然環境が身近にあるから | 14. 街並みや景観がよいから |
| 15. にぎわいや活気があるから | 16. 治安がよいから |
| 17. 街のイメージがよいから | 18. 奈良が好きだから |
| 19. 市民の気質や感性が自分と合うから | 20. その他（ ） |

問3 あなたが住んでいる地域は住みやすいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|------------------|
| 1. 住みやすい | 2. どちらかといえば住みやすい |
| 3. どちらともいえない | 4. どちらかというに住みにくい |
| 5. 住みにくい | |

問4 あなたは、現在住んでいるところにこれからも住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 現在の場所に住み続けたい | 2. 市内で引っ越したい |
| 3. 市外へ引っ越したい | 4. わからない |

問4-1 問4で「3.市外へ引っ越したい」を選択した方のみにお聞きします。

① 市外へ引越する場合、そのきっかけは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|-----------|--------------|----------------|
| 1. 進学・転校 | 2. 就職・転勤 | 3. 結婚 |
| 4. 出産 | 5. 子どもの成長・独立 | 6. 住宅・マンションの購入 |
| 7. 退職・廃業 | 8. 親や子と同居・近居 | 9. 特に理由はない |
| 10. その他 (| |) |

② 転居先として奈良市を選ばない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 郷里に帰るから | 2. 転居先の自分や家族の持ち家に住むから |
| 3. 転居先の寮や社宅に住むから | 4. 親や子、親族がいないから |
| 5. 家賃や住宅の価格が高いから | 6. 交通(通勤・通学・買い物等)の便がよいから |
| 7. 日ごろの買い物等が不便だから | 8. 子育て環境がよいから |
| 9. 学校等の教育環境がよいから | 10. 文化・スポーツ施設等が近くにないから |
| 11. 病院・医院が近くにないから | 12. 住まいの周辺が静かではないから |
| 13. 自然環境が身近にないから | 14. 街並みや景観がよいから |
| 15. にぎわいや活気がないから | 16. 治安がよいから |
| 17. 街のイメージがよいから | 18. 奈良が好きではないから |
| 19. 市民の気質や感性が自分と合わないから | 20. その他 (|
| |) |

日ごろの生活について

問5 あなたは、次の項目について、今の生活に満足していますか。(○はそれぞれ1つずつ)

	不 満	い え ば 不 満 ど ち ら か と	い え な い ど ち ら と も	い え ば 満 足 ど ち ら か と	満 足
① 健康のこと	1	2	3	4	5
② 住まいのこと	1	2	3	4	5
③ 収入や生活費のこと	1	2	3	4	5
④ 仕事や学校のこと	1	2	3	4	5
⑤ 家族の生活のこと	1	2	3	4	5
⑥ 子どもの成長や教育のこと	1	2	3	4	5
⑦ 友人や近隣のこと	1	2	3	4	5
⑧ 治安のこと	1	2	3	4	5
⑨ 災害や防災のこと	1	2	3	4	5

問6 あなたは、今の生活全般に満足していますか。(○は1つ)

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 満足 | 2. どちらかといえば満足 | 3. どちらともいえない |
| 4. どちらかといえば不満 | 5. 不満 | |

問7 あなたは、相談ごとがあるとき、どなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親族	2. 職場の上司や同僚
3. 学校や幼稚園・保育園等の先生	4. 医師や看護師・ヘルパー等
5. 地域の民生委員・児童委員等	6. 隣近所の人や知人・友人
7. 市役所やはぐくみセンター（保健所）	8. インターネットや SNS
9. 相談相手がいない	10. 相談することは特にない
11. その他（	）

問8 あなたが休日の余暇（買い物やレジャー等）を過ごすのに普段よく行く場所はどこあたりですか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 奈良市内	2. 生駒市	3. 大和郡山市
4. 橿原市	5. 天理市	6. その他奈良県内
7. 木津川市	8. 京都市	9. その他京都府内
10. 大阪市	11. その他大阪府内	12. 三重県内
13. その他（		）

市政について

問 9 あなたは、市政に関心がありますか。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. まったく関心がない | 5. わからない | |

問 10 あなたは、地域や市内で行われているまちづくりの取組（※）に関心がありますか。

(○は1つ)

※まちづくりの取組・・・地域おこしのイベント活動、環境美化活動、自治会活動、その他問12の選択肢に掲げる項目等

- | | | |
|--------------|--------------|-------------|
| 1. 非常に関心がある | 2. ある程度関心がある | 3. あまり関心がない |
| 4. まったく関心がない | 5. わからない | |

問 11 あなたは、地域や市内で行われているまちづくりの取組に参加していますか。(○は1つ)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 参加している | 2. 参加してみたいができていない |
| 3. 以前は参加していたが、今はしていない | 4. 参加したいと思わない |

問 12 問11で「1.参加している」～「3.以前は参加していたが、今はしていない」を選択した方のみにお聞きします。

あなたが参加している（又は参加していた）まちづくりの取組や、今後参加してみたいまちづくりの取組は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|-----------------------|
| 1. 地域おこしのイベント活動 | 2. 環境美化活動 |
| 3. 祭り等の伝統行事 | 4. 子ども会等の教育活動 |
| 5. 避難訓練等の防災活動 | 6. 懇親会、親睦会等コミュニティ活動 |
| 7. 交通安全に関する活動 | 8. 音楽・スポーツ等のサークル活動 |
| 9. 乳幼児保育に関する子育て活動 | 10. 高齢者、障がい者の支援等の福祉活動 |
| 11. 空き巣、放火防止等の防犯活動 | 12. 地域の活性化に関する活動 |
| 13. 自治会・町内会活動 | 14. その他（ ） |

問 13 問11で「2.参加してみたいができていない」～「4.参加したいと思わない」を選択した方のみにお聞きします。

あなたがまちづくりの取組に参加していない主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1. 仕事で都合がつかない | 2. 家事・育児・介護で都合がつかない |
| 3. 会費等の経済的な理由 | 4. 体力や健康の問題 |
| 5. 協働作業が苦手 | 6. 活動に関心がない |
| 7. 活動を知らない | 8. 地域と関わりたくない |
| 9. 役（当番）等になることを避けたい | 10. その他（ ） |

問14 奈良市の取組に対する、①あなたの満足度（評価）、②あなたにとっての重要度を次の項目ごとに選択してください。（○はそれぞれ1つずつ）

		①満足度（評価）					②重要度				
		不満	どちらかといえば不満	どちらともいえない	どちらかといえば満足	満足	重要ではない	どちらかといえば重要ではない	どちらともいえない	どちらかといえば重要	重要
子育て・教育	1. 母子保健・子育て家庭支援 （安心して産み育てられるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	2. 子育て環境 （すべての子どもが健やかに育つための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	3. 学校教育 （未来に生きる力を育むための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	4. 教育支援 （子どもの学びを支えるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
人権	5. 人権と平和 （互いを認めあい自分らしく生きられるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	6. 男女共同参画 （性別にとらわれず活躍できるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
産業・雇用	7. 観光・交流 （多様な人が集い活気あるまちとなるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	8. 商工・サービス業 （活力ある企業活動でまちが賑わうための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	9. 農林業 （地域資源をより生かすための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	10. 雇用・労働環境 （自分らしい働き方ができるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
福祉・医療	11. 地域福祉と生活保障 （つながり助け合い安心して暮らせるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	12. 障害者福祉 （障害の有無にかかわらずともに生きるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	13. 高齢者福祉 （住み慣れた地域で暮らし続けるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	14. 医療と健康 （心もからだも元気で健康に暮らせるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

		①満足度（評価）					②重要度				
		不満	どちらかといえば不満	どちらともいえない	どちらかといえば満足	満足	重要ではない	どちらかといえば重要ではない	どちらともいえない	どちらかといえば重要	重要
地域活動・文化	15. 地域・市民活動 （身近な課題への関心を行動につなげるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	16. 文化・スポーツ （心身ともに生き生きと暮らせるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	17. 社会教育 （学がよここびを感じられるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	18. 文化遺産 （歴史と文化を守り伝え生かすための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
安全・安心	19. 防災対策 （災害から身を守るための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	20. 消防・救急 （命や財産を守るための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	21. 防犯対策と消費者保護 （犯罪やトラブルに巻き込まれないための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
環境	22. 環境 （環境と生活の調和を保つための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	23. 生活・環境衛生 （身近な環境を清潔に保つための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
景観・インフラ	24. 土地・景観 （まちの価値をより高めるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	25. 交通基盤・交通安全 （自由で安全に出かけられるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	26. 住環境 （住み続けたいと思えるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	27. 利水・治水対策 （安全で安心な水環境を実現するための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
協働・行財政	28. 市民参画 （まちのことが自分ごとになるための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
	29. 行財政改革 （持続可能な行財政運営のための取組）	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

奈良市への愛着や誇りについて

問15 あなたは、奈良市に住んでよかったと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. よかったと思う | 2. どちらともいえない |
| 3. よかったと思わない | 4. わからない |

問16 あなたは、奈良市に愛着を感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|---------------|
| 1. 強く愛着を感じる | 2. ある程度愛着を感じる |
| 3. どちらともいえない | 4. あまり愛着を感じない |
| 5. まったく愛着を感じない | |

問17 お住まいの地域であなたが感じる奈良の魅力、市外の方におすすめしたい取組や場所等について、下の欄にご自由にお書きください。

問18 あなたが奈良市にあてはまるイメージとして近いと思うものはどれですか。

(あてはまるものすべてに○)

- | | | |
|------------|------------|----------------|
| 1. 伝統的 | 2. 近代的 | 3. 保守的 |
| 4. ゆったりとした | 5. 混沌としている | 6. にぎわいある |
| 7. 落ち着きある | 8. ハイセンス | 9. 地味 |
| 10. 国際的 | 11. 日本らしい | 12. 成長 |
| 13. 停滞 | 14. 美しい | 15. レトロ・ノスタルジー |
| 16. おしゃれ | 17. ロマンチック | 18. エネルギッシュ |
| 19. ほどほど | 20. 便利 | |

持続可能な社会について

問19 あなたは環境保全活動への参加(※)についてどのようにお思いですか。(○は1つ)

※環境保全活動への参加とは、環境美化、ごみの減量・分別、フードロス対策、省エネや再生可能エネルギー導入等の活動や行動を団体又は個人で行うことを指します。

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. 既に積極的に活動を行っている | 2. 十分ではないが意識して活動している |
| 3. 活動してみたいが、まだできていない | 4. 活動したいとは思わない |

問19-1 問19で「1. 既に積極的に活動を行っている」「2. 十分ではないが意識して活動している」を選択した方のみにお聞きます。

環境負荷を減らすための取組として、あなたが行っていることを選択してください。

(あてはまるものすべてに○)

1. 節電・節水等の省エネ
2. 省エネ型の家電や照明器具(LED等)の利用
3. ごみの分別・リサイクル
4. 使い捨てプラスチックの使用削減(マイボトル・マイバッグ持参等)
5. 食品ロスの削減(食べ残しを減らす、不要なものを購入しない)
6. 環境に配慮した製品・食品の選択
7. 徒歩・自転車や公共交通機関の積極的な利用
8. EV車やハイブリッドカー等の購入
9. 再生可能エネルギーの導入(住宅への太陽光パネル設置等)
10. その他()
11. 特になし

問19-2 問19で「3. 活動してみたいが、まだできていない」「4. 活動したいとは思わない」を選択した方のみにお聞きます。

理由としてあてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|--------------------|
| 1. 興味関心がないため | 2. 時間的余裕がないため |
| 3. 年齢や体調等によりできないため | 4. 何をしたらよいかわからないため |
| 5. 面倒に思うため | 6. その他() |

問20 生ごみは、燃やせるごみと分別することで、たい肥等の資源として活用することができます。もし、生ごみを燃やせるごみと分別することになった場合、あなたは生ごみの分別をどの程度実施すると思いますか。(○は1つ)

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. 分別すると思う | 2. ある程度分別すると思う |
| 3. あまり分別しないと思う | 4. 分別しないと思う |

問21 家庭で出た不要品でも、まだ使えそうなものなら「リユース」という選択肢があります。下記のうち、あなたが実践していることに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

1. リサイクルショップやリユースショップの利用
2. インターネットオークションの利用
3. フリーマーケットやバザーの利用(アプリ・サイトの利用含む)
4. 親族・知人等にゆずる
5. その他()
6. 特になし

問22 奈良市では、みどりのまちづくりを推進するため、平成23年に策定した「奈良市緑の基本計画」に続く、新たな計画を策定することを予定しておりますが、あなたが奈良市の「みどり」と聞いてイメージするものは何ですか（○は1つ）

※ここで定義する「みどり」とは、いわゆる「緑」だけでなく、「緑」に人が関わることで得られる、心身の健康の向上等多くの価値観を包含する包括的な概念とします。

1. 山や丘陵のみどり
2. 河川やため池等水辺のみどり
3. 神社仏閣の境内や古墳の史跡等のみどり
4. 田畑等農地のみどり
5. 公園のみどり
6. 街路樹等道路や、駅前広場等駅周辺のみどり
7. 市役所や学校周辺等公共施設のみどり
8. 商業施設、事業所、工場等民間施設のみどり
9. 住宅の生垣や庭木等のみどり
10. その他（ ）

地域と社会教育・大学について

問23 あなたは公民館を利用していますか（選挙投票・避難所での利用を除く）。（○は1つ）

- | | | |
|------------|-----------|------------|
| 1. 利用していない | 2. 年に1回程度 | 3. 半年に1回程度 |
| 4. 月に1回程度 | 5. 週に1回程度 | 6. 週に2回以上 |

問23-1 問23で「1. 利用していない」を選択した方のみにお聞きます。

公民館を利用しない理由は何ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1. 利用する用事がない | 2. 場所を知らない |
| 3. 魅力的な講座・行事がない | 4. 利用する時間がない |
| 5. 自宅から遠い | 6. イベント情報をつかみにくい |
| 7. 何ができる施設なのかわからない | 8. 利用の仕方がわからない |
| 9. その他（ ） | |

問23-2 問23で「2. 年に1回程度」～「6. 週に2回以上」を選択した方のみにお聞きます。

公民館をどのようなことで利用したことがありますか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|-------------|--------------------|
| 1. 公民館主催の講座 | 2. 自主グループ・サークル活動 |
| 3. 自治会等の会合 | 4. 公民館のイベント・周年イベント |
| 5. その他（ ） | |

問24 あなたは奈良市内にある以下の8大学を知っていますか。(○は1つ)

※近畿大学農学部キャンパス、帝塚山大学、奈良学園大学、奈良教育大学、奈良県立大学、奈良佐保短期大学、奈良女子大学、奈良大学(五十音順)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. すべて知っている | 2. 半分以上知っている |
| 3. 半分も知らない | 4. すべて知らない |

問25 あなたは上記の8大学とどのような関わりがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|---|
| 1. 大学に通学している(通学していた) |
| 2. 家族や親族が通学している(通学していた) |
| 3. 大学に通勤している(通勤していた) |
| 4. 学生や教員と共同研究や共同事業を行っている(行ったことがある) |
| 5. 学生と地域活動を一緒に行っている(行ったことがある) |
| 6. 大学主催の公開講座や講演会等のイベントに参加にしている(参加したことがある) |
| 7. 大学のオープンキャンパスや学園祭に参加したことがある |
| 8. 大学施設(食堂、図書館等を含む)を利用している(利用したことがある) |
| 9. 学生のアルバイトと一緒に働いている(働いていたことがある) |
| 10. その他() |
| 11. 関わりを持ったことがない |

地域の多様性と寛容性について

問26 あなたの住んでいる地域は、他者の様々な違い(年齢や性別、育った環境、考え方等)に寛容だと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 寛容だと思う | 2. どちらかといえば寛容だと思う |
| 3. どちらかといえば寛容だと思わない | 4. 寛容だと思わない |

問27 「男性は仕事、女性は家庭」という考え方について、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|-----------------|
| 1. そう思う | 2. どちらかといえばそう思う |
| 3. どちらかといえばそう思わない | 4. そう思わない |

最後に、あなた自身のことについてうかがいます。

F 1 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|--------|-----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 答えたくない |
|-------|-------|--------|-----------|

F 2 あなたの10月1日時点の年齢を教えてください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 18～19歳 | 2. 20～24歳 | 3. 25～29歳 |
| 4. 30～34歳 | 5. 35～39歳 | 6. 40～44歳 |
| 7. 45～49歳 | 8. 50～54歳 | 9. 55～59歳 |
| 10. 60～64歳 | 11. 65～69歳 | 12. 70～74歳 |
| 13. 75～79歳 | 14. 80歳以上 | |

F 3 あなたの同居家族の構成を教えてください。(○は1つ)

- | | |
|-------------|-----------------|
| 1. ひとり暮らし | 2. 配偶者・パートナーのみ |
| 3. 親と子(2世代) | 4. 祖父母と親と子(3世代) |
| 5. その他() | |

F 4 あなたは結婚していますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------------|------------|-------|
| 1. 既婚(配偶者・パートナー有) | 2. 既婚(離死別) | 3. 未婚 |
|-------------------|------------|-------|

F 5 あなた自身にお子さんはいますか。同居・別居は問いません。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 5-1 F 5で「1. いる」を選択した方にお聞きます。

お子さんは次のどれにあてはまりますか。別居しているお子さんも含め、すべてのお子さんについてお答えください。孫は含みません。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. 小学校入学前 | 2. 小学校在学中 |
| 3. 中学校在学中 | 4. 高校在学中 |
| 5. 各種専修・専門学校在学中 | 6. 短大・大学・大学院在学中 |
| 7. 学校教育終了・未婚・同居 | 8. 学校教育終了・未婚・別居 |
| 9. 学校教育終了・既婚・同居 | 10. 学校教育終了・既婚・別居 |
| 11. その他() | |

F 6 あなた自身も含めて、同居のご家族に65歳以上の方はいますか。(○は1つ)

- | | |
|-------|--------|
| 1. いる | 2. いない |
|-------|--------|

F 7 あなたの職業を教えてください。複数ある場合は、主なものをお答えください。(○は1つ)

- | | | |
|--------------|---------------|--------------|
| 1. 自営業・家業手伝い | 2. 役員・正規職員、社員 | 3. パート・アルバイト |
| 4. 学生 | 5. 専業主婦(夫) | 6. 無職 |
| 7. その他() | | |

F7-1 F7で「1.自営業・家業手伝い」～「3.パート・アルバイト」を選択した方にお聞きします。

あなたの業種を教えてください。(複数ある場合は、主なもの1つに○)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. 農業・林業・漁業 | 2. 鉱業 |
| 3. 建設業 | 4. 製造業 |
| 5. 電気・ガス・熱供給・水道業 | 6. 情報通信業 |
| 7. 運輸業 | 8. 卸売・小売業 |
| 9. 金融・保険業 | 10. 不動産業 |
| 11. 飲食店・宿泊業 | 12. 医療・福祉 |
| 13. 教育・学習支援業 | 14. 複合サービス事業 |
| 15. その他サービス業 | 16. 公務、その他上記以外の業種 |

F7-2 F7で「1. 自営業・家業手伝い」～「4. 学生」を選択した方にお聞きます。

① あなたの通勤先・通学先は、次のうちどちらですか。(複数ある場合は、主なもの1つに○)

- | | | |
|---------|----------------|--------|
| 1. 奈良市内 | 2. 奈良市以外の奈良県内 | 3. 大阪府 |
| 4. 京都府 | 5. 兵庫県 | 6. 滋賀県 |
| 7. 三重県 | 8. その他県外（
県 | |

② 自宅からの通勤・通学時間（徒歩・交通機関等の合計）は片道でどのくらいですか。

()時間 ()分

F 8 あなたがふだんよく使う移動手段を教えてください。(あてはまるものにすべてに○)

- | | | |
|---------|------------|---------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. 自家用車 |
| 4. バイク | 5. 電車 | 6. バス |
| 7. タクシー | 8. その他 () | |

F9 あなたがお住まいの地域（中学校区）はどちらですか。

- | | | | | |
|-----------|--------|----------|---------|---------|
| 1. 春日 | 2. 三笠 | 3. 若草 | 4. 伏見 | 5. 富雄 |
| 6. 都南 | 7. 田原 | 8. 興東館柳生 | 9. 登美ヶ丘 | 10. 平城西 |
| 11. 二名 | 12. 京西 | 13. 富雄南 | 14. 平城 | 15. 飛鳥 |
| 16. 登美ヶ丘北 | 17. 都跡 | 18. 平城東 | 19. 月ヶ瀬 | 20. 都祁 |
| 21. 富雄第三 | | | | |

※地域名がわからない場合は、ご住所の町名を記入してください。

(ご住所：奈良市)

記入例) 奈良市〇〇町三丁目、奈良市△△町、奈良市□□台二丁目等

アンケートは以上です。最後までご記入いただきありがとうございました。

ご記入いただいた調査票は、12月15日（金）までに、同封の返信用封筒に

入れて、無記名で切手を貼らずに、郵便ポストに投函してください。

※ すでにパソコン・スマートフォン・タブレット等を利用し、インターネット

回答をされている方は、この調査票へのご記入や投函は不要です。

インターネットによる回答方法

今回のアンケートでは、紙の調査票に記入して郵送する方法と、以下のインターネットのアドレスにアクセスして、インターネット上で回答する2種類の回答方法をご用意しています。

回答は、いずれか一方を選んでください。紙とインターネットの両方とも回答する必要はありません。双方に回答された場合は、一方の回答が無効となります。

<インターネット回答 トップページURL>

https://ntnlights.post-survey.com/r5_nara/



1. まず、ブラウザ上で上記URLを入力、もしくは右上のQRコードを読み取ってください。

この調査の委託事業者（※株式会社エム・アールビジネス：大阪市中
央区）が管理する回答専用ページに移動します。

2. 続いて、最初の画面で、**調査票表紙の右上に記載されているオンライン回答用 ID（半角英数5桁）**を入力してください。

※オンライン回答用 ID は、重複回答を防ぐためにランダムに付与したものです。宛名の方の個人情報と紐づけたものではありません。

3. 回答は途中で中断することが可能です。

アンケートの開始・中断や再開の手順は次ページをご覧ください。

4. インターネットでの回答は1回限りです。回答を送信されるとその後の修正はできませんので、ご注意ください。

インターネットで回答される方は、
12月15日（金）までにご回答をお願いします。

以下の手順にしたがって、アンケートの開始・中断・保存をしてください。

STEP1 アンケート開始

奈良市民意識調査

調査票左上に記載されているオンライン回答用ID（半角英数5桁）をご入力ください。

ID:

調査票の右上の5桁のIDを入力

注意事項

回答中にブラウザの「戻る」を使用しないでください。
 回答は、各ページ60分以内に送信をしてください。
 JavaScriptおよびCookieを有効にしてください。

STEP2 アンケートを中断する場合

※「次へ」を押すと回答した設問までが自動で保存されます

奈良市での生活について

[必須]

問1 あなたは、奈良市に住んで何年になりますか。

☐ 5年以下

☐ 6～10年

☐ 11～20年

☐ 21～30年

☐ 31～40年

☐ 41～50年

☐ 51年以上

回答したら「次へ」をクリック

次へ

STEP3 アンケートの再開

アンケート開始時と同様に、トップページにアクセスして、再度調査票の右上の5桁のIDを入力してください。

「次へ」ボタンで進んだページから自動的に再開されます。

奈良市

市民意識調査結果報告書

発行日	令和6年3月
発行	奈良市
編集	奈良市 総合政策部 総合政策課
住所	〒630-8580 奈良市二条大路南一丁目1番1号
電話	0742-34-4786